NTT docomo

XPERIA 10 II SO-41A

取扱説明書

本書は「Android™ 11」をベースに記載しており、OS バージョンアップにより変更が入ったアプリや機能などについて「Android 12 による変更点」にまとめて記載しています。
Android 12 にバージョンアップしたお客様は「Android 12 による変更点」をご確認ください。

はじめに

「SO-41A」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

●**『クイックスタートガイド』（本体付属品）**
各部の名称と機能について説明しています。

●**『取扱説明書』アプリ（eトリセツ）（本端末のアプリ）**
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。

【ご利用方法】
ホーム画面で▶［取扱説明書］

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従って本アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。
- 「my daiz」から「取扱説明書」（eトリセツ）アプリを呼び出すこともできます。



- 『取扱説明書』アプリをアンインストールした場合は、PlayストアでGoogle Playにアクセスして再インストールできます。ホーム画面で［Playストア］をタップし、『取扱説明書』アプリを検索して選択し、画面の指示に従って操作します。

●**『取扱説明書』（PDFファイル）**
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

❖注意

- SO-41Aに関する重要なお知らせを次のホームページに掲載しております。ご利用の前に必ずご確認ください。
https://xperia.sony.jp/support/

操作説明文の表記について

本書では、キーアイコン（P.51）を◀、●、□と表記しています。
また、キー操作や画面に表示されるアイコン・項目の選択操作などを次のように表記して説明しています。

表　記	操作内容
電源キーを1秒以上押す	本体側面の電源キーを1秒以上押す
ホーム画面で▶ダイヤルをタップ	ホーム画面で▶をタップして、次に表示された画面でダイヤルをタップする
ホーム画面で▶［設定］▶［画面設定］	ホーム画面で▶をタップして、次に表示された画面で「設定」を、さらに表示された画面で「画面設定」をタップする
アイコンをロングタッチ	画面上のアイコンを長めに（1～2秒間）触れたままにする

❖お知らせ

- 本書においては、「SO-41A」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、初期状態の内容を記載しています。

- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定の操作について、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- お客様のご契約内容により、ドコモへのお問い合わせ先が異なります。お問い合わせ先について詳しくは、裏表紙をご覧ください。
- 本書はホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています（P.74）。別のアプリを設定している場合などは、操作手順が説明と異なることがあります。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

- SO-41A本体



- クイックスタートガイド
- ご利用にあたっての注意事項

本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html

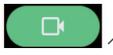
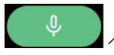
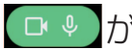
Android 12による変更点

Android 12による変更

Android 12にバージョンアップを行うことで変更される主な箇所について説明します。
本書は「Android 11」をベースに記載しておりますのでP.2以降は基本的に「Android 11」の記載です。
本項目に記載がない場合は、P.2以降の項目でご確認ください。

- 操作に大きく影響しない変更やデザインのみの変更など、一部変更点については説明を省略している場合があります。
- バージョンアップ後のアプリや機能の更新状況などによっては、本端末の動作と説明が異なる場合があります。

追加・変更項目一覧

項目	内容	説明ページ
全般	オン／オフボタンやスライダなど、設定や操作を実行するためのアイコンのデザインや色が一部変更されます。 • アプリや機能などによっては、変更されない場合があります。	—
全般	電話や+メッセージ、カメラなどのアプリがカメラやマイクにアクセスすると、アクセスをお知らせする／／が約1秒間表示された後、ステータスバーにが表示されるようになります。通知パネルやクイック設定パネルでアクセス中のアプリを確認できます。	P.S-9
各部の名称と機能	電源キーを1秒以上押して表示されるメニューに「強制再起動ガイド」が追加されます。本端末を強制的に再起動する方法を確認できます。	—
電源を切る	電源を切る／再起動の操作が変更されます。 電源を切る／再起動するには、電源キーを1秒以上押し、［電源を切る］／［再起動］をタップします。	—
初期設定	初期設定で行う設定が一部変更されます。画面の指示に従って操作してください。	—

項目	内容	説明ページ
マナーモード	音量キーを押して表示される音量調節バーの が に変更されます。	—
マナーモード	マナーモード（バイブレーション／ミュート）を設定する操作が変更されます。	P.S-8
スクリーンショット	スクリーンショットの撮影方法が変更され、電源キーと音量キーの下を同時に押すと撮影できるようになります。 また、撮影後の画面下部に表示されるサムネイルとメニューは、左右にスワイプ（フリック）しても表示を消すことができるようになります。	—
スクリーンショット	スクリーンショットで撮影した画面の撮影範囲を変更して、静止画を保存できるようになります。	P.S-8
スクリーンレコード	スクリーンレコードの録画を停止する操作が変更されます。 停止するには、録画中にステータスバーを下にドラッグ▶「スクリーンレコーダー」の通知の［停止］をタップします。	—
利用するアプリの選択	アプリを選択する画面で「常時」に設定したアプリを解除する操作が変更されます。 解除するには、ホーム画面で▶［設定］▶［アプリ］▶［XX個のアプリをすべて表示］▶設定を解除するアプリをタップ▶［デフォルトで開く］▶［デフォルトの設定をクリア］をタップします。	—
文字入力	Gboardのデザインが変更されます。文字入力の操作に変更はありません。	—
ステータスバー	アプリがカメラやマイクにアクセス中は、ステータスバーに が表示されるようになります。 また、 の表示中に通知パネルやクイック設定パネルを表示すると、アクセス中のアプリを確認できます。	P.S-9
通知パネル	通知パネルのデザインが変更されます。また、機能が一部変更されたり、追加されたりします。	P.S-9
クイック設定パネル	クイック設定パネルのデザインが変更されます。また、機能が一部変更されたり、追加されたりします。	P.S-9
タスクマネージャ	画面下部に「マルチウィンドウスイッチ」のメニューが追加され、タップするとマルチウィンドウスイッチを利用できます。	—
片手モード	片手モードの動作や設定が変更されます。	P.S-10

項目	内容	説明ページ
Google検索	Google検索ウィジェットなどにGoogleレンズのアイコンが追加されます。 また、Google検索ウィジェットや「Google」アプリの検索結果画面などから、検索の設定画面を表示する操作が変更されます。 設定画面を表示するには、検索結果画面などでGoogleアカウントメニューを表示▶［設定］をタップします。	—
ホームアプリ	ホームアプリの切り替えかたが変更されます。	P.S-10
Xperiaホーム	Xperiaホームのウィジェットを追加する操作が一部変更されます。 ウィジェットを追加するには、ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ▶［ウィジェット］▶説明画面が表示された場合は［OK］▶ウィジェットの種類をタップ▶追加するウィジェットをロングタッチします。	—
アプリ一覧	ダウンロードが完了していないときにグレーで表示されていたアプリアイコンが、2重枠で囲まれたアプリアイコンに変更されます。	—
電話	ホーム画面などから着信音量や通話音量などを調節する操作が変更されます。 • ホーム画面などで音量キーの上または下を押し、•••をタップすると、着信音量や通話音量などを調節できます。	—
電話	通話設定の「通話アカウント」の設定内容が変更されます。	—
Chrome	Chromeの設定項目の「同期とGoogleサービス」が「同期を有効にする」と「Googleのサービス」に分割されます。	—
おサイフケータイ	非接触型決済の設定項目が一部変更されます。	P.S-11
ドコモデータコピー	ホーム画面で▶［データコピー］▶［バックアップ&復元］をタップしたときに、暗号化設定の画面が表示される場合があります。暗号化設定はバックアップデータにパスワード設定と暗号化を行うように設定できます。注意事項をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。	—
本体設定	設定メニューの項目が一部変更されたり、追加されたりします。また、並び順が変更されます。	P.S-11
本体設定	「ネットワークとインターネット」の項目が一部変更されたり、追加されたりします。	P.S-12
本体設定	「Wi-Fiテザリング」の項目が一部変更されます。	P.S-13
本体設定	「アプリと通知」が「アプリ」と「通知」に分割されます。また、項目が一部変更されたり、追加されたりします。	P.S-13、 P.S-14
本体設定	「バッテリー」の項目が一部変更されます。	P.S-15

項目	内容	説明ページ
本体設定	「ストレージ」でUSBストレージ／microSDカードを操作する方法が一部変更されます。	P.S-15
本体設定	「画面設定」の項目が一部変更されたり、追加されたりします。	P.S-16
本体設定	「外観」の「壁紙」が、設定メニューの第一階層に移動されます。機能の変更はありません。 また、「マルチ画面と操作の活用ガイド」が追加されます。サイドセンスや分割画面（マルチウィンドウ）の活用ガイドを確認できます。	—
本体設定	「ユーザー補助」の項目が一部変更されたり、追加されたりします。	P.S-16
本体設定	「セキュリティ」の項目が一部変更されたり、追加されたりします。	P.S-17
本体設定	「プライバシー」の項目が一部変更されたり、追加されたりします。	P.S-18
本体設定	「位置情報」の項目が一部変更されたり、追加されたりします。	P.S-18
本体設定	設定メニューの第一階層に「緊急情報と緊急通報」が追加されます。	P.S-19
本体設定	「ドコモのサービス／クラウド」の「端末アプリ情報送信」の項目名が、「端末情報送信」に変更されます。端末情報をドコモが管理するサーバに送信するかどうかを設定します。	—
本体設定	「アカウント」の項目名が「パスワードとアカウント」に変更され、項目が追加されます。	P.S-19
本体設定	「Google」でBluetooth機器を使用して音声検索を行うための設定の操作が変更されます。 設定するには、ホーム画面で▶［設定］▶［Google］▶［Googleアプリの設定］▶［検索、アシスタントと音声］▶［音声］▶「Bluetoothでの録音」の をタップします。	—
本体設定	「システム」の項目が一部変更されたり、追加されたりします。	P.S-20
本体設定	「デバイス情報」に「お客様のXperia ID」が追加されます。お使いの端末の識別子が表示されます。 また、設定メニューの第一階層に追加された「緊急情報と緊急通報」に「緊急時情報」が移動されます。	—
ファイル操作	「ファイル」アプリが「Files」アプリに変更されます。	P.S-21

項目	内容	説明ページ
海外利用	国際ローミング中に本端末の時刻や時差が補正される条件の項目が一部変更されます。 「日付と時刻」の「日時を自動的に設定」、「タイムゾーンを自動的に設定」がオンの場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。	—
トラブルシューティング	「時計がずれる」場合の対処として、オンになっているかを確認する項目名が変更されます。 時計がずれる場合は、「日時を自動的に設定」「タイムゾーンを自動的に設定」「言語／地域で一般的な形式を使用する」がオンになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。	P.S-20
ソフトウェアアップデート	本体設定から更新を開始する場合、操作が一部変更されます。 更新を開始するには、ホーム画面で▶［設定］▶［システム］▶［システム アップデート］をタップします。	—

削除項目一覧

項目	内容	説明ページ
サイドセンス	サイドセンスメニューから、クイック設定ツールが削除されます。	P.49
スクリーンショット	電源キーを1秒以上押して表示されるメニューから、「画面の保存」が削除されます。	P.53
通知パネル	通知パネルの「サイレント」以外のセクションや、通知の が表示されなくなります。また、通知を左右にドラッグしたときに が表示されなくなります。	P.65
電話	通話設定から「ドコモへのお問合せ」が削除されます。	P.103
本体設定	設定メニューからおすすめの設定の表示や、各設定画面の が表示されなくなります。また、各設定画面の「詳細設定」が削除されます。	P.152
本体設定	「Wi-Fi設定」（変更後は「ネットワーク設定」）から、「ネットワーク評価プロバイダ」が削除されます。	P.156
本体設定	「モバイルネットワーク」の「モバイルデータ」から、／ をタップしたときに表示された、［OK］をタップする操作が削除されます。	P.157
本体設定	「Wi-Fiテザリング」から、「ネットワーク名の公開」が削除されます。	P.161
本体設定	「アプリと通知」（変更後は「アプリ」）の「特別なアプリアクセス」から、「省電力機能」が削除されます。	P.170
本体設定	「アプリと通知」から、「権限マネージャ」が削除されます。	P.165
本体設定	「通知の設定」（変更後は「通知」）から、「通知を最近送信したアプリ」「過去7日間をすべて表示」「通知音」が削除されます。	P.168、P.169
本体設定	「バッテリー」から、「アプリは正常に実行されています」「前回のフル充電」「フル充電からの画面使用」が削除されます。	P.170
本体設定	「画面設定」から以下の項目が削除されます。 • 「ロック画面」の「ロックダウンオプションの表示」が削除されます。「画面のロック」を「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定すると、電源キーを1秒以上押して表示されるメニューに「ロックダウン」が表示されるようになります。 • 「サイドセンス」の「サイドセンスを一時的に無効にする」「ロック画面でサイドセンスを使用する」「アプリの予測精度を高める」が削除されます。	P.172、P.173、P.174

項目	内容	説明ページ
本体設定	「セキュリティ」の「暗号化と認証情報」から、「ストレージのタイプ」が削除されます。	P.179
本体設定	「ドコモのサービス／クラウド」から、「ドコモクラウド」が削除されます。	P.183
本体設定	「ジェスチャー」から、「電源メニュー」や「サイドセンス」の「サイドセンスを一時的に無効にする」「ロック画面でサイドセンスを使用する」「アプリの予測精度を高める」が削除されます。	P.190

追加・変更箇所詳細

Android 12へのバージョンアップに伴う追加・変更箇所の詳細な内容を説明します。

マナーモードを設定する

マナーモード（バイブレーション）を設定する

1 音量キーの上または下を押す
- 音量調節バーが表示されます。

2 ▶ をタップ
- 音量調節バーのアイコンが に変わります。

マナーモード（ミュート）を設定する

1 音量キーの上または下を押す
- 音量調節バーが表示されます。

2 ▶ をタップ
- 音量調節バーのアイコンが に変わります。

スクリーンショットの撮影範囲を変更する

スクリーンショットで上下にスクロールできる画面を撮影したとき、メニューに「キャプチャ範囲を拡大」が表示された場合は、撮影範囲を変更した静止画を保存できます。

1 撮影する画面で電源キーと音量キーの下を同時に押す
- 静止画が保存され、画面下部にサムネイルとメニューが一定時間表示されます。

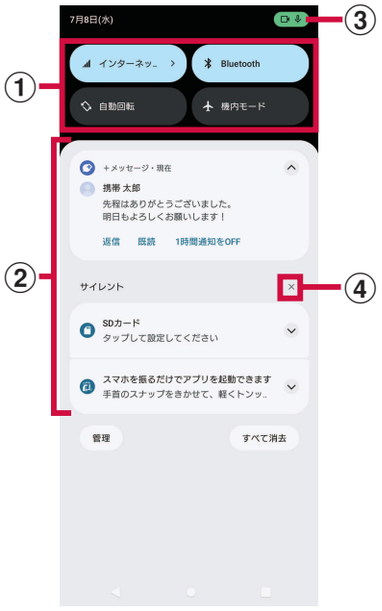
2 [キャプチャ範囲を拡大]

3 枠をドラッグして撮影範囲を指定▶[保存]
- 指定した範囲の静止画が保存されます。

通知パネル

通知パネルのデザインが変更され、以下の機能が変更／追加されます。

1 ステータスバーを下にドラッグ



① クイック設定ツール
- 表示されるクイック設定ツールが4つになります。

② 通知
- 表示されるセクションが「サイレント」のみになります。

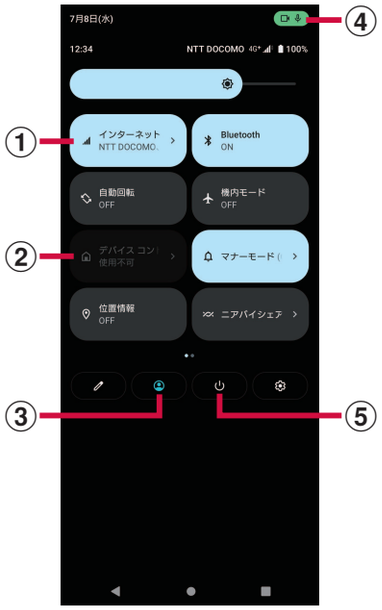
③ カメラやマイクへのアクセス通知
- アプリがカメラやマイクにアクセスしているときに表示されます。
- ／／をタップすると通知が表示され、アクセス中のアプリを確認できます。また、が表示された通知をタップするとアプリの権限画面が表示され、権限の設定を変更できます。

④ 通知の消去
- 削除できる通知があるときに表示され、「サイレント」のセクションに振り分けられた通知をすべて削除できます。ただし、通知によっては削除できない場合があります。

クイック設定パネル

クイック設定パネルのデザインが変更され、以下の機能が変更／追加されます。

1 2本の指でステータスバーを下にドラッグ



① インターネット
- 項目名が「Wi-Fi」から「インターネット」に変更されます。インターネットに接続するネットワークを切り替えたり、「モバイルデータ」や「Wi-Fi」のオン／オフを設定したりできます。

② デバイスコントロール
- 項目が追加されます。本端末に接続されているスマートホームデバイス（市販品）などのコントロールを表示して操作できます。

③ 複数ユーザー
- タップして表示される「詳細設定」の項目名が「ユーザー設定」に変更されます。

④ カメラやマイクへのアクセス通知（P.S-9）

⑤ メニューの表示
- アイコンが追加されます。タップするとメニューが表示され、「緊急通報」「電源を切る」「再起動」「緊急省電力モード」「強制再起動ガイド」の操作ができます。

片手モード

片手モードを使用すると画面が下方向にスライドされるようになり、画面上部に指が届きやすくなります。

片手モードの設定をする

1 ホーム画面で▶［設定］▶［画面設定］▶［片手モード］

2 「片手モードの使用」の をタップ

❖お知らせ
- 「ホームをダブルタップで」欄を「通知を表示する」に設定すると、をダブルタップしたときに通知パネルが表示されます。
- ［片手モードショートカット］をタップすると、片手モードを使用するためのショートカット操作を設定できます。

片手モードを使用する

1 をダブルタップ
- 画面が下方向へスライドされます。

❖お知らせ
- 片手モードを終了するには、画面上部の「片手モードの使用」が表示されたエリアをタップします。
- 片手モードを使用中に何も操作しないまま一定の時間が経過したときや、画面が消灯したとき、横画面表示に切り替わったときなど、操作状況によっては片手モードが自動的に終了する場合があります。

ホームアプリの切り替えかた

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アプリ］

2 ［標準のアプリ］▶［ホームアプリ］

3 ［かんたんホーム］／［docomo LIVE UX］／［Xperiaホーム］のいずれかをタップ
- 「かんたんホーム」を選択した場合は、内容を確認して［OK］をタップします。

非接触型決済

非接触型決済の設定項目が変更されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［機器接続］▶［接続の設定］

2 ［NFC／おサイフケータイ］▶［非接触型決済］

3 ［デフォルトのお支払いアプリ］▶アプリを選択▶◀

4 ［デフォルトのアプリを使用］▶［別の決済アプリが起動されている場合を除く］／［常時］

5 本端末のマークを非接触型決済マークのある読み取り機にかざす

設定メニュー

項目が一部変更されたり、追加されたりします。また、並び順が変更されます。設定メニューの第一階層では、以下の項目が変更／追加されます。

- 設定メニューの第二階層以降でも、変更／追加されたり、並び順が変更されたりする項目があります。
- 設定メニューの第二階層以降に表示されていた「詳細設定」が削除され、項目が一覧で表示されるようになります。

1 ホーム画面で▶［設定］

■ 変更される項目

アプリ	「アプリと通知」が分割され、「アプリと通知」の項目が「アプリ」または「通知」のどちらかに移動されます（P.S-13、P.S-14）。
通知	
パスワードとアカウント	項目名が「アカウント」から「パスワードとアカウント」に変更されます（P.S-19）。

■ 追加される項目

壁紙	「外観」の「壁紙」が設定メニューの第一階層に移動されます。機能の変更はありません。
緊急情報と緊急通報	P.S-19

ネットワークとインターネット

以下の項目が変更／追加されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］

インターネット		項目が追加されます。「ネットワークとインターネット」の「Wi-Fi」が移動されたり、項目が変更／追加されたりします（P.S-12）。
通話とSMS		項目が追加されます。通話と＋メッセージ（SMS）で使用するSIMカードの名称が表示されます。
モバイルネットワーク	**データ設定**	項目が追加されます。モバイルデータ通信や通話、＋メッセージ（SMS）で使用するSIMカードの名称が表示されます。
	通話の設定	
	SMSの設定	

インターネット

「インターネット」には以下の項目が表示されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［インターネット］

NTT DOCOMO※	項目が追加されます。使用するSIMカードの名称が表示され、タップするとインターネット接続をモバイルネットワークに切り替えられます。 • ⚙をタップすると、モバイルネットワークに関する設定／確認ができます。
Wi-Fi	「インターネット」内に移動されます。機能の変更はありません。
ネットワークを追加	「インターネット」内に移動されます。セキュリティタイプの「WPA/WPA2/WPA3-Enterprise」が、「WPA/WPA2-Enterprise」と「WPA3-Enterprise」に変更されます。
ネットワーク設定	項目名が「Wi-Fi設定」から「ネットワーク設定」に変更され、「インターネット」内に移動されます。また、以下の項目が変更されます。機能の変更はありません。 •「パブリックネットワークを通知する」の項目名が「利用可能なパブリックネットワークを通知する」に変更されます。 •「証明書のインストール」の項目名が「証明書をインストール」に変更されます。
保存済みネットワーク	「インターネット」内に移動されます。機能の変更はありません。

モバイルデータ以外の通信量	項目名が「Wi-Fiデータ使用量」から「モバイルデータ以外の通信量」に変更され、「インターネット」内に移動されます。モバイルデータ通信以外でのデータ使用量を確認できます。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

Wi-Fiテザリング

以下の項目が変更されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［テザリング］▶［Wi-Fiテザリング］

Wi-Fiアクセスポイントの使用	項目名が「OFF」／「ON」から「Wi-Fiアクセスポイントの使用」に変更されます。機能の変更はありません。
アクセスポイント名	初期状態のアクセスポイント名が「Xperia_（ランダムな4桁の数字）」に変更されます。
Wi-Fiテザリングを自動的にOFFにする	設定がオン／オフの切り替えに変更されます。オンにすると、無線LAN対応機器の接続がないまま約10分経過したとき、Wi-Fiテザリングが自動的にオフになります。

アプリ

「アプリ」には以下の項目が表示されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アプリ］

最近開いたアプリ※	機能の変更はありません。
XX個のアプリをすべて表示※	各アプリをタップして表示されるアプリ情報画面の項目が一部変更されたり、追加されたりします。 • アプリ情報画面で［バッテリー］をタップすると、バッテリーの利用方法を「制限なし」「最適化」「制限」から選択して設定できるようになります。 • アプリ情報画面に「権限を削除して空き容量を増やす」が追加されます。数か月使用されていないアプリがある場合、アプリの権限を削除して本端末の空き容量を増やします。
標準のアプリ	機能の変更はありません。
利用時間	
使用されていないアプリ	項目が追加されます。使用されていないアプリを確認できます。
特別なアプリアクセス	項目が一部変更／追加されます。本端末の機能や情報にアクセスするアプリなどの設定を確認／変更できます。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

通知

「通知」には以下の項目が表示されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［通知］

アプリの設定	項目が追加されます。アプリごとに通知のオン／オフなどを設定します。
通知履歴	機能の変更はありません。
会話	
バブル	
デバイスとアプリの通知	項目が追加されます。通知を読み取るデバイスとアプリに、通知へのアクセスを許可するかどうかを設定します。
ロック画面上の通知	機能の変更はありません。
機密性の高い通知※	
通知表示の維持	
サイレント モード	「クイック設定の期間」の項目名が「クイック設定の持続時間」に変更されます。機能の変更はありません。
緊急速報メール	機能の変更はありません。
ステータスバーにサイレント通知を表示しない	
通知のスヌーズを許可	スヌーズを設定する操作が変更されます。設定するには、通知パネルで通知を開き、⏰をタップします。
アプリアイコン上の通知ドット	機能の変更はありません。
通知着信時のLED点滅	
拡張通知	項目名が「操作や返信の候補」から「拡張通知」に変更されます。機能の変更はありません。

※「画面のロック」を「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定している場合に表示されます。

バッテリー

以下の項目が変更されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［バッテリー］

バッテリー使用量	ホーム画面で▶［設定］▶［バッテリー］▶⋮をタップして表示された「電池使用量」が移動され、項目名が「バッテリー使用量」に変更されます。表示されたアプリをタップすると、バッテリーの利用方法を「制限なし」「最適化」「制限」から選択して設定できるようになります。
STAMINAモード	以下の項目が変更されます。機能の変更はありません。 •「今すぐONにする」／「今すぐOFFにする」の設定が、「STAMINAモードの使用」をオン／オフに切り替える操作に変更されます。 •「スケジュールの設定」の「残量に基づく」の項目名が「残量に応じて自動でON」に変更されます。 •「充電時にオフにする」の項目名が「充電時にOFFにする」に変更されます。
バッテリー残量	項目名が「電池残量」から「バッテリー残量」に変更されます。機能の変更はありません。

ストレージ

USBストレージ／microSDカードを操作する方法が変更されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ストレージ］

2 ［このデバイス］▶［USBドライブ］／［SDカード］

• USBストレージ／microSDカードのストレージ画面が表示されます。

■ データを管理する

1 USBストレージ／microSDカードのストレージ画面で［ファイル］

■ 認識を解除する

1 USBストレージ／microSDカードのストレージ画面で⋮▶［取り出し］

• 再度認識させる場合は、ホーム画面で▶［設定］▶［ストレージ］▶［このデバイス］▶［USBドライブ］／［SDカード］▶⋮▶［マウント］をタップします。

■ フォーマットする

1 USBストレージ／microSDカードのストレージ画面で⋮▶［フォーマット］▶［USBドライブをフォーマット］／［SDカードをフォーマット］

画面設定

以下の項目が変更／追加されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［画面設定］

ダークモード		項目名が「ダークテーマ」から「ダークモード」に変更されます。機能の変更はありません。
ロック画面	キー操作で画面を点灯	項目が追加されます。スリープモード中に音量キーを押して画面を点灯できるようにするかどうかを設定します。
	ロック画面からユーザーを追加	「画面のロック」の設定が「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」以外に設定されている場合でも表示されるようになります。
サイドセンス		「サイドセンスの活用ガイドを見る」が追加されます。サイドセンスの活用ガイドを確認できます。 また、「サイドセンスバーの感度調整」に「スライドの速さ」が追加されます。スライド操作の速さを設定します。
片手モード		片手モードの動作や設定が変更されます（P.S-10）。

ユーザー補助

以下の項目が変更／追加されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ユーザー補助］

テキストと表示	フォントサイズ	「テキストと表示」内に移動されます。機能の変更はありません。
	表示サイズ	
	テキストを太字にする	項目が追加されます。文字を太字で表示するように設定します。
	色補正	「テキストと表示」内に移動されます。機能の変更はありません。
	色反転	
	アニメーションを無効化	
	大きなマウスポインター	
	高コントラストテキスト	
さらに輝度を下げる		項目が追加されます。「明るさのレベル」で設定できる最低限の明るさよりも画面を暗くすることができます。
ダークモード		項目名が「ダークテーマ」から「ダークモード」に変更されます。機能の変更はありません。

タイミングの管理	**長押し感知までの時間**	「タイミングの管理」内に移動されます。機能の変更はありません。
	操作までの時間（ユーザー補助タイムアウト）	
	マウスポインターが停止したらクリック	
システム操作	**システムナビゲーション**	「システム操作」内に移動されます。機能の変更はありません。
	片手モード	項目が追加されます。片手モードの設定をします（P.S-10）。
	電源ボタンで通話を終了	「システム操作」内に移動されます。機能の変更はありません。
	画面の自動回転	
音声の調整	**モノラル音声**	「音声の調整」内に移動されます。機能の変更はありません。
	オーディオバランス	

ユーザー補助機能のショートカット	**ユーザー補助機能ボタン**	項目が追加されます。ユーザー補助機能ボタンの表示を設定します。
	ロック画面からのショートカット	「ユーザー補助機能のショートカット」内に移動されます。機能の変更はありません。

セキュリティ

以下の項目が変更／追加されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［セキュリティ］

画面のロック		以下の項目が変更されます。機能の変更はありません。 • ⚙をタップして表示される「画面消灯後にロック」の項目名が、「画面消灯後からロックまでの時間」に変更されます。 • 画面ロックの解除方法を「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」から「なし」に変更するときのボタンが、「無効にする」から「削除」に変更されます。
暗号化と認証情報	**証明書管理アプリ**	項目が追加されます。証明書管理アプリを確認します。

プライバシー

以下の項目が変更／追加されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［プライバシー］

プライバシーダッシュボード	項目が追加されます。権限を最近使用したアプリを確認したり、権限の設定を変更したりできます。
権限マネージャー	項目名が「権限マネージャ」から「権限マネージャー」に変更されます。機能の変更はありません。
ロック画面上の通知	項目名が「通知内容の表示」から「ロック画面上の通知」に変更されます。機能の変更はありません。
クリップボードへのアクセスを表示	項目が追加されます。クリップボードにコピーしたテキストや画像などにアプリがアクセスしたとき、メッセージを表示して通知するかどうかを設定します。
広告	広告IDを削除／取得できるようになります。

位置情報

以下の項目が変更／追加されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［位置情報］

位置情報を使用	項目名が「位置情報の使用」から「位置情報を使用」に変更されます。機能の変更はありません。
最近のアクセス	表示が「最近の位置情報リクエスト」から「最近のアクセス」に変更されます。機能の変更はありません。
アプリへの位置情報の利用許可	項目名が「位置情報へのアプリのアクセス」から「アプリへの位置情報の利用許可」に変更されます。また、アプリごとの権限の設定に「正確な位置情報を使用」が追加され、正確な位置情報の使用を許可するかどうかを設定できます。

位置情報サービス	**Googleロケーション履歴**	「位置情報サービス」内に移動されます。機能の変更はありません。
	Google位置情報の精度	
	Google現在地の共有機能	「位置情報サービス」内に移動されます。現在地の共有状況を確認したり、共有を無効にしたりします。
	緊急位置情報サービス	「位置情報サービス」内に移動されます。機能の変更はありません。
	Wi-Fiスキャン	「Wi-FiのスキャンとBluetoothのスキャン」が「Wi-Fiスキャン」と「Bluetoothのスキャン」に分割され、「位置情報サービス」内に移動されます。機能の変更はありません。
	Bluetoothのスキャン	

緊急情報と緊急通報

「緊急情報と緊急通報」には以下の項目が表示されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［緊急情報と緊急通報］

緊急時情報を開く	緊急時の初期対応で役立つ血液型などの情報や、緊急時の連絡先を登録／表示します。
緊急時情報	
緊急SOS	緊急SOSを使用するかどうかを設定したり、緊急SOSを使用したときの動作を設定したりします。
緊急位置情報サービス	緊急位置情報サービス（ELS）を利用するかどうかを設定します。
緊急速報メール	緊急速報「エリアメール」の設定をします。
運転中の通知をサイレントにする※	運転中にマナーモードが自動的に設定されるようにします。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

パスワードとアカウント

以下の項目が追加されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［パスワードとアカウント］

パスワード	項目が追加されます。パスワードマネージャーの設定をします。
自動入力サービス	「システム」の「言語と入力」から移動されます。機能の変更はありません。

システム

以下の項目が変更／追加されます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［システム］

言語と入力		以下の項目が変更／追加されます。 •「画面上のキーボード」にGoogle音声入力の項目が2つ表示されるようになります。音声入力の設定を変更できます。 •「自動入力サービス」が「パスワードとアカウント」（P.S-19）内に移動されます。
ジェスチャー	**サイドセンス**	「サイドセンスの活用ガイドを見る」が追加されます。サイドセンスの活用ガイドを確認できます。 また、「サイドセンスバーの感度調整」に「スライドの速さ」が追加されます。スライド操作の速さを設定します。
	片手モード	片手モードの動作や設定が変更されます（P.S-10）。
	キー操作で画面を点灯	項目が追加されます。スリープモード中に音量キーを押して画面を点灯できるようにするかどうかを設定します。
日付と時刻	**日時を自動的に設定**	項目名が「ネットワークの時刻を使用する」から「日時を自動的に設定」に変更されます。機能の変更はありません。
	タイムゾーンを自動的に設定	項目名が「ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する」から「タイムゾーンを自動的に設定」に変更されます。機能の変更はありません。
	言語／地域で一般的な形式を使用する	項目名が「言語／地域のデフォルトを使用する」から「言語／地域で一般的な形式を使用する」に変更されます。機能の変更はありません。
バックアップ		バックアップを行うGoogleアカウントの追加操作や、バックアップを行うかどうかの設定が変更されます。画面の指示に従って操作してください。
複数ユーザー	**複数ユーザーの使用**	項目名が「OFF」／「ON」から「複数ユーザーの使用」に変更されます。機能の変更はありません。
	ロック画面からユーザーを追加	「画面のロック」の設定が「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」以外に設定されている場合でも表示されるようになります。
リセットオプション	**全データを消去（出荷時リセット）**	項目名が「すべてのデータを消去（出荷時リセット）」から「全データを消去（出荷時リセット）」に変更されます。機能の変更はありません。

ファイル操作

「ファイル」アプリが「Files」アプリに変更されます。

1 ホーム画面で▶［Files］
- 最近使用したファイル、カテゴリ、コレクション、ストレージ デバイスが表示されます。

2 「ストレージ デバイス」の［内部ストレージ］
- 本端末の内部ストレージが表示されます。
- microSDカードを取り付けている場合は、「ストレージ デバイス」に「SDカード」が表示されます。

3 必要に応じてフォルダをタップ

4 ファイルをタップ
- データが表示されます。

❖お知らせ
- データを検索する場合は、手順2で🔍をタップしてファイル名を入力し、ソフトウェアキーボードの🔍をタップします。

■ フォルダを作成する

1 ホーム画面で▶［Files］

2 ストレージをタップ

3 必要に応じてフォルダをタップ

4 ⋮▶［新しいフォルダを追加］

5 フォルダ名を入力▶［フォルダを作成］

■ フォルダまたはファイルの名前を変更する

1 ホーム画面で▶［Files］

2 ストレージをタップ

3 必要に応じてフォルダをタップ

4 名前を変更するフォルダまたはファイルをロングタッチ

5 ⋮▶［名前を変更］▶名前を入力▶［OK］

■ フォルダまたはファイルを削除する

1 ホーム画面で▶［Files］

2 ストレージをタップ

3 必要に応じてフォルダをタップ

4 削除するフォルダまたはファイルをロングタッチ

5 ⋮▶［完全に削除］▶［削除］

フォルダまたはファイルをコピー／移動する

1. **ホーム画面で▶［Files］**
2. **ストレージをタップ**
3. **必要に応じてフォルダをタップ**
4. **コピー／移動するフォルダまたはファイルをロングタッチ**
5. **▶［コピー］／［移動］**
6. **コピー先／移動先のストレージをタップ**
7. **任意の場所で［ここにコピー］／［ここに移動］**

ahamoプランをご契約のお客様向け

ahamoプランをご契約のお客様向け

ページ	変更前	変更後
全般	ドコモnanoUIMカード	nanoUIMカード
「共通のお願い」（P.17） • 1	修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。	修理につきましては、「保証とアフターサービス」（P.221）をご確認ください。
「共通のお願い」（P.17） • 2	• 破損や変形など、外観上に異常がみられた場合は、防水／防塵性能が維持できない場合があります。その場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。	• 破損や変形など、外観上に異常がみられた場合は、防水／防塵性能が維持できない場合があります。その場合は、「保証とアフターサービス」（P.221）をご確認の上、お問い合わせください。
「本端末についてのお願い」（P.18） • 13	内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。	内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」（P.221）をご確認ください。
「Bluetooth®機能を利用する場合のお願い」（P.21） 「• Bluetooth機器使用上の注意事項」-3	その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。	その他、ご不明な点につきましては、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

ページ	変更前	変更後
「無線LAN（WLAN）についてのお願い」（P.22）「• 2.4GHz機器使用上の注意事項」-2	万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。	万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
「無線LAN（WLAN）についてのお願い」（P.22）「• 2.4GHz機器使用上の注意事項」-3	その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。	その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。
「防水／防塵性能を維持するために」（P.25）	防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。	防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて端末をお預かりして有料にて承ります。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。
「ご使用にあたっての注意事項」（P.27）• 11	• ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。	• nanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。対処については、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

ページ	変更前	変更後
「ご使用にあたっての注意事項」（P.27） • 12	• ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にて部品をお取り替えください。	• nanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて部品をお取り替えください。端末の状態によっては有料での修理となる場合がございますので、ご注意ください。
「ドコモnanoUIMカード」（P.31） • 3	• ドコモnanoUIMカードについて詳しくは、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。	• nanoUIMカードについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
「本端末で利用する暗証番号について」（P.44） 「■各種暗証番号に関するご注意」• 3	• 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。	• 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、nanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。
「本端末で利用する暗証番号について」（P.44） 「■各種暗証番号に関するご注意」• 4	• PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。	• PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。

ページ	変更前	変更後
「「おサイフケータイ対応サービス」を利用する」（P.140） 「お知らせ」・5	• spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部の機能が利用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。	• spモード以外での通信において、ご利用のおサイフケータイ対応サービスによっては一部機能がご利用になれない場合がございますので、あらかじめご了承ください。 なお、ahamoプランはspモードに対応しておりません。
「データ使用量の警告と制限を設定する」（P.158） 「お知らせ」・1	• 表示されるモバイルデータ使用量は目安であり、実際の使用量とは異なる場合があります。実際のモバイルデータ使用量はMy docomoからご確認いただけます。	• 表示されるモバイルデータ使用量は目安であり、実際の使用量とは異なる場合があります。 **ahamoプラン以外をご契約のお客様** ご利用のモバイルデータ使用量はMy docomoからご確認いただけます。 **ahamoプランをご契約のお客様** ご利用のモバイルデータ使用量はahamoのホームページからご確認いただけます。
「アクセスポイントを設定する」（P.158） リード文	インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。 spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。 https://www.docomo.ne.jp/service/spmode/	インターネットに接続するためのアクセスポイント（spmode.ne.jp）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。 spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。 https://www.docomo.ne.jp/service/spmode/
「出発前の確認」（P.202） 「■ご契約について」・1	• WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。	• WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。
「出発前の確認」（P.202） 「■ご契約について」・2	—	• ahamoプランでご利用になる場合、WORLD WINGのお申し込みは不要で廃止はできません。

ページ	変更前	変更後
「出発前の確認」（P.202）「■料金について」・1	• 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。	• 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。また、ahamoプランでご利用になる際は、必ずahamoのホームページで詳細をご確認ください。
「お問い合わせについて」（P.204）・3	—	• ahamoプランをご利用の場合、ahamoのホームページからお問い合わせください。
「故障かな？と思ったら」（P.210）・3	• 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。	• 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。
「故障かな？と思ったら」（P.210）「■端末操作」の「電池の使用時間が短い」・3	• 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。	• 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」（P.221）をご確認ください。
「エラーメッセージ」（P.217）「通信サービスなし／通信サービスはありません」・2	• ドコモnanoUIMカードが正しく機能していません。 ドコモnanoUIMカードを取り付け直すことで改善する可能性があります。 改善しない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。	• nanoUIMカードが正しく機能していません。 nanoUIMカードを取り付け直すことで改善する可能性があります。 改善しない場合は、裏表紙のお問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

ページ	変更前	変更後
「ソフトウェアアップデートについて」（P.218）「ご利用条件」・1	• Xi／FOMAでのパケット通信をご利用の場合、モバイルネットワーク設定でアクセスポイントをspモードもしくはmopera Uに設定してください。	• Xi／FOMAでのパケット通信をご利用の場合、モバイルネットワーク設定でアクセスポイントをspmode.ne.jpもしくはmopera Uに設定してください。
「ソフトウェアアップデートを行う」（P.219）「更新の流れ」手順1	※通信料金が発生すると表示される場合がありますが、spモードもしくはmopera Uに設定の場合、通信料金は発生しません。	※通信料金が発生すると表示される場合がありますが、spmode.ne.jpもしくはmopera Uに設定の場合、通信料金は発生しません。
「ソフトウェアアップデートを行う」（P.219）「注意事項」・6	• ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口もしくはオンライン修理受付サービスまでご相談ください。	• ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。
「保証について」（P.221）※3	—	※お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
「保証について」（P.221）「無料修理規定」②	6. ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。	6. ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合。
「アフターサービスについて」（P.222）「調子が悪い場合」	修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.210）をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。	修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.210）をご覧になってお調べください。

ページ	変更前	変更後
「アフターサービスについて」（P.222） 「お問い合わせの結果、修理が必要な場合」	お問い合わせの結果、修理が必要な場合ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。	修理が必要な場合 ドコモ指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理を受付いたします。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
「アフターサービスについて」（P.222） 「■部品の保有期間は」	修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。 ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。	修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。 ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。
「アフターサービスについて」（P.222） 「お願い」●5	● 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。	● 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

目　次

■本体付属品 1

Android 12による変更点 ..S-1

Android 12による変更.....S-1

ahamoプランをご契約のお客様向け . A-1

ahamoプランをご契約のお客様向け.....A-1

注意事項 4

本端末のご利用について.....4
おすすめ機能.....7
安全上のご注意（必ずお守りください）.....8
取り扱い上のご注意.....17
防水／防塵性能.....24

ご使用前の準備 30

各部の名称と機能.....30
ドコモnanoUIMカード.....31
microSDカード.....34
充電.....37
電源を入れる／切る.....41
初期設定.....42
本端末で利用する暗証番号について.....44

基本操作 47

基本操作.....47
文字入力.....56
通知LED.....62
画面表示とアイコン.....62
タスクマネージャ.....67
分割画面.....68
スグアプ.....69
片手モード.....73
本端末内やウェブサイトの情報を検索する.....73

ホーム画面 74

ホームアプリの切り替えかた.....74
docomo LIVE UX.....74
Xperiaホーム画面.....81
かんたんホーム画面.....84
アプリ画面.....87
アプリ一覧.....89

電話／電話帳 95

電話をかける／受ける.....95
通話中の操作.....100
通話履歴.....101
通話設定.....103
電話帳.....105

メール／ウェブブラウザ ... 110

ドコモメール.....110
＋メッセージ.....110
Gmail.....116
緊急速報「エリアメール」.....117
Chrome.....119

カメラ／フォト 123

カメラ.....123
フォト.....135

アプリ 136

dメニュー 136
dマーケット 136
Playストア 137
おサイフケータイ 138
ミュージック 142
位置情報サービスについて 143
スケジュール 146
時計 147
ドコモデータコピー 149

本体設定 152

設定メニューを表示する 152
ネットワークとインターネット 153
機器接続 164
外観 165
アプリと通知 165
バッテリー 170
画面設定 171
音設定 174
ストレージ 176
プライバシー 177
位置情報 178
セキュリティ 178
ドコモのサービス／クラウド 183
アカウント 184
Xperiaアシスト 185
ユーザー補助 185
Digital Wellbeingと保護者による使用制限 187
Google 188
システム 188
デバイス情報 193

ファイル管理 194

ストレージ構成 194
ファイル操作 194

データ通信 196

Bluetooth機能 196

外部機器接続 199

パソコンとの接続 199

海外利用 201

国際ローミング（WORLD WING）の概要 201
海外で利用可能なサービス 201
海外でご利用になる前に 202
滞在先で電話をかける／受ける 205
国際ローミングの設定 207
帰国後の確認 209

付録 210

トラブルシューティング 210
ソフトウェアアップデート 218
保証とアフターサービス 221
あんしん遠隔サポート 224
主な仕様 225
認証および準拠について 229
携帯電話機の比吸収率などについて 229
ソフトウェア使用許諾契約書 236
輸出管理規制について 241
知的財産権について 242
SIMロック解除 245

索引 246

注意事項

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末はユーザーやゲストが利用できる機能に対応していますが、ユーザーを切り替えた際にサービスやアプリによっては同一のお客様として取り扱われる場合があります。本機能の利用により発生したお客様、または第三者の損害やトラブルに関して、当社としては一切の責任を負いかねます(P.191)。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi®通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや内部ストレージの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください（P.179）。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- 本端末は有機ELディスプレイを使用しています。長時間同じ画像を表示させるとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止のため、長時間同じ画像を表示し続けないようにしてください。
- 画面の明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変化する場合があります。また、見る方向によって色や明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

おすすめ機能

カメラ

本端末のカメラは、「カメラ」アプリのアイコン、ロック画面のカメラアイコンから起動できます。トリプルレンズカメラ搭載により、「超広角」「標準」「望遠」の3つのレンズで同じシーンでも思いのままに撮影ができます。
シーンとコンディションを自動で判断し、最適な設定を選択して撮影できるプレミアムおまかせオートや、夜景などの暗いシーンでも簡単に美しい写真が撮れるナイトモード、撮影しながらエフェクトを調整できるポートレートセルフィーなど、カメラまかせで簡単にきれいな写真を撮ることができます。→P.123

マルチウィンドウ

「動画を見ながら、SNSに投稿したい」「ネットで調べながら、メールを書きたい」そんなときは、マルチウィンドウ機能が便利です。画面を2分割にしてそれぞれで異なるアプリを操作することができます。本端末は21:9の大画面で見られる情報量が増えたので、マルチウィンドウをより快適に利用することができます。
ウィジェットのやサイドセンスメニューからマルチウィンドウメニューを表示することができます。→P.50、P.68
また、マルチウィンドウスイッチ機能により、2分割した上下それぞれの画面を横にスワイプするだけで、アプリを切り替えることができます。→P.68

機能の詳細についてはXperia™のホームページ（https://xperia.sony.jp/myxperia/）をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ **ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。**

■ **ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。**

■ **次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ **次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。**

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

1. 本端末、アダプタ、ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険


禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
⇒P.24「防水／防塵性能」


禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒P.24「防水／防塵性能」


禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ ご注意いただきたい例
- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む


禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

本端末の背面パネルを取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒P.24「防水／防塵性能」


水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒P.24「防水／防塵性能」


指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告


禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。


指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。


指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。


指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。


指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
・電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く。
・本端末の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意


禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。


禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
⇒P.24「防水／防塵性能」

禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。

禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
ドコモnanoUIMカード／microSDカードのトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。

指示

本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。

アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

2. 本端末の取り扱いについて

⚠危険

禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

禁止

フラッシュ／フォトライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてフラッシュ／フォトライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。


禁止

本端末内のドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。


指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。


指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。


指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。


指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。


指示

ディスプレイ部や背面パネル、カメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。


指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。


指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意


禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。


禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。


禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。


禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。


指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については以下をご参照ください。
⇒P.17「材質一覧」



本端末の受話口／スピーカー部、スピーカー部、バイブレータ部（背面右下）に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。



子供や監督を必要とする方などの手の届くところに置かないでください。
本端末は磁石を使用しています。磁石を飲み込むと、窒息の危険性や腸などを傷つけ深刻な症状を引き起こすおそれがあります。磁石を飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



医療機器に近づけないでください。
本端末は磁石を使用しているため、ペースメーカ、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与えるおそれがあります。本端末をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本端末のご使用前に担当医師にご相談ください。



ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

3. アダプタの取り扱いについて

⚠警告



アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。



コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。


禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）


指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。


指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

アダプタをコンセントやアクセサリーソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意


禁止

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

4. ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

⚠注意


指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告


指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

6. 材質一覧

■ 本体

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース（上部、下部、側面部、ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバー）	ポリアミド樹脂（ガラス繊維入り）	塗装処理
外装ケース（音量キー／ズームキー）	ポリカーボネート樹脂	塗装処理
外装ケース（背面カメラリング）	アルミニウム合金	アルマイト処理
透明板（ディスプレイ、背面パネル）	強化ガラス	AFP処理
透明板（カメラレンズ）	強化ガラス	AFP処理＋AR処理
電源キー／画面ロックキー／指紋センサー	IC＋エポキシ樹脂	塗装処理
受話口／スピーカー（上部）パネル	ポリエステル樹脂	染色
ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーのゴムパッキン	シリコンゴム	—
ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーの内側部	ポリカーボネート樹脂＋エラストマー樹脂	—
ドコモnanoUIMカード／microSDカードのトレイ	ポリアセタール樹脂	—

取り扱い上のご注意

■ 共通のお願い

- **SO-41Aは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。**

  アダプタ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **破損や変形など、外観上に異常がみられた場合は、防水／防塵性能が維持できない場合があります。その場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。**
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。

- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- **端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
  端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
  また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- **オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
  指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。

■ 本端末についてのお願い

- **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
  万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

- **通常はドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーを閉じた状態でご使用ください。**
  水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
  指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
  また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- **本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。**
  近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
  近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
  ⇒P.30「各部の名称と機能」
- **内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。**
  内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
  十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

  なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

■ アダプタについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- **充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  故障の原因となります。

■ ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- **ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
  IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
  万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
  故障の原因となります。

Bluetooth®機能を利用する場合のお願い

- **本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **周波数帯について**

  本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が利用する周波数帯は、次のとおりです。



2.4： 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。

FH/XX/DS/OF： 変調方式がFH-SS、その他の方式、DS-SS、OFDMであることを示します。

4： 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

8： 想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。

■■■： 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国／地域により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- **Bluetooth機器使用上の注意事項**

  本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

  - 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  - 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  - その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。**
- **無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **無線LANについて**

  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

- **2.4GHz機器使用上の注意事項**

  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  - この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  - その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

- **5GHz機器使用上の注意事項**

  本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の3種類の帯域を利用できます。

  - 5.2GHz帯（W52／36、40、44、48ch）
  - 5.3GHz帯（W53／52、56、60、64ch）
  - 5.6GHz帯（W56／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch）

  5.2/5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント/中継局と通信する場合を除く）。

FeliCa®およびNFCリーダー／ライター機能についてのお願い

- **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。**
  また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- **航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国／地域によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。**

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**

  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク㊣」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、ホーム画面で▶［設定］▶［デバイス情報］▶［認証］をタップしてご確認いただけます。
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

  法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- **耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。**



- **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。**
  海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

SO-41Aは、ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。

※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。

※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SO-41Aが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
  - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーの開閉はしないでください。
- 汚れたり水道水以外が付着したりした場合に洗い流すことができます。
  - やや弱めの水流（6L／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
  - 洗うときはドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーを開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください（P.28）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 風呂場で使用できます。
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（P.28）で水抜きしてください。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
  - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
  - 急激な温度の変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
  - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

防水／防塵性能を維持するために

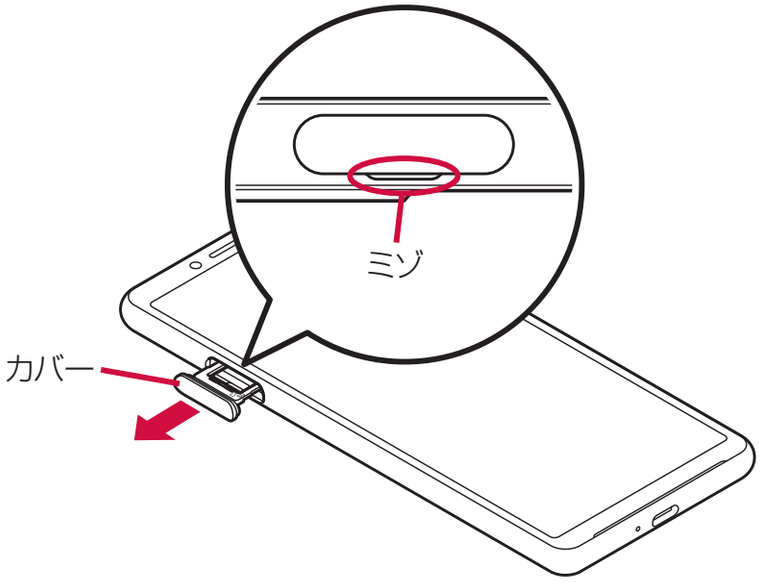
水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 受話口／スピーカー、送話口／マイク、スピーカー、セカンドマイク、ヘッドセット接続端子、USB Type-C接続端子などを先の尖ったものでつつかないでください。

- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

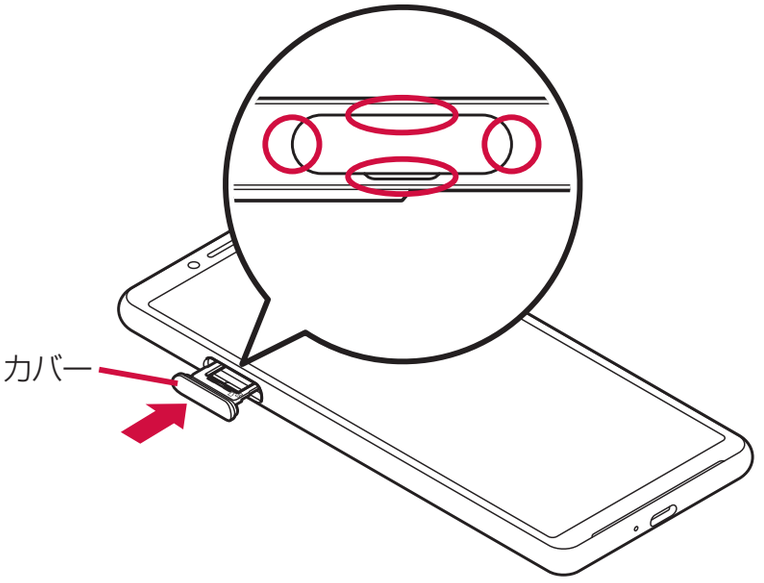
ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーの開きかた

ミゾに指先（爪）をかけてカバーを矢印の方向に引き出してください。



ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーの閉じかた

矢印の方向へトレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本端末とカバーにすき間がないことを確認してください。



防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 規定（P.24）以上の強い水流を直接当てないでください。SO-41AはIPX5の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 受話口／スピーカー、送話口／マイク、スピーカー、セカンドマイク、ヘッドセット接続端子に水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にて部品をお取り替えください。
- 本端末が水で濡れた状態でイヤホンなどを接続しないでください。故障の原因となります。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

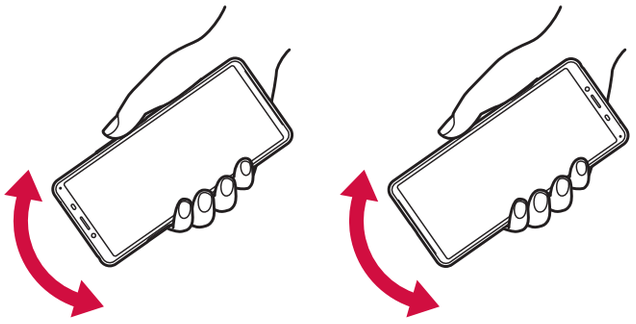
水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

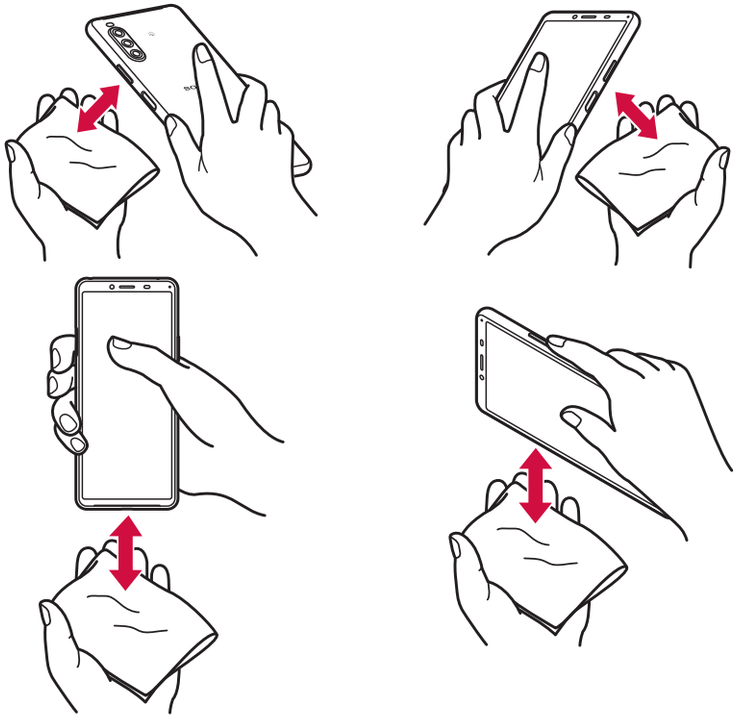


② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振り（左図）、上下の向きを変え、再度20回程度振る（右図）



③ 本端末の次の部分やすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて拭き取る

- 受話口／スピーカー
- 送話口／マイク
- スピーカー
- セカンドマイク
- ヘッドセット接続端子
- USB Type-C接続端子
- 背面カメラリング
- 電源キー／画面ロックキー／指紋センサー
- 音量キー／ズームキー
- ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバー



※ 上下の向きを変えて拭き取ってください。

④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させる
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。
- 常温の環境で約3時間、自然乾燥させてください。

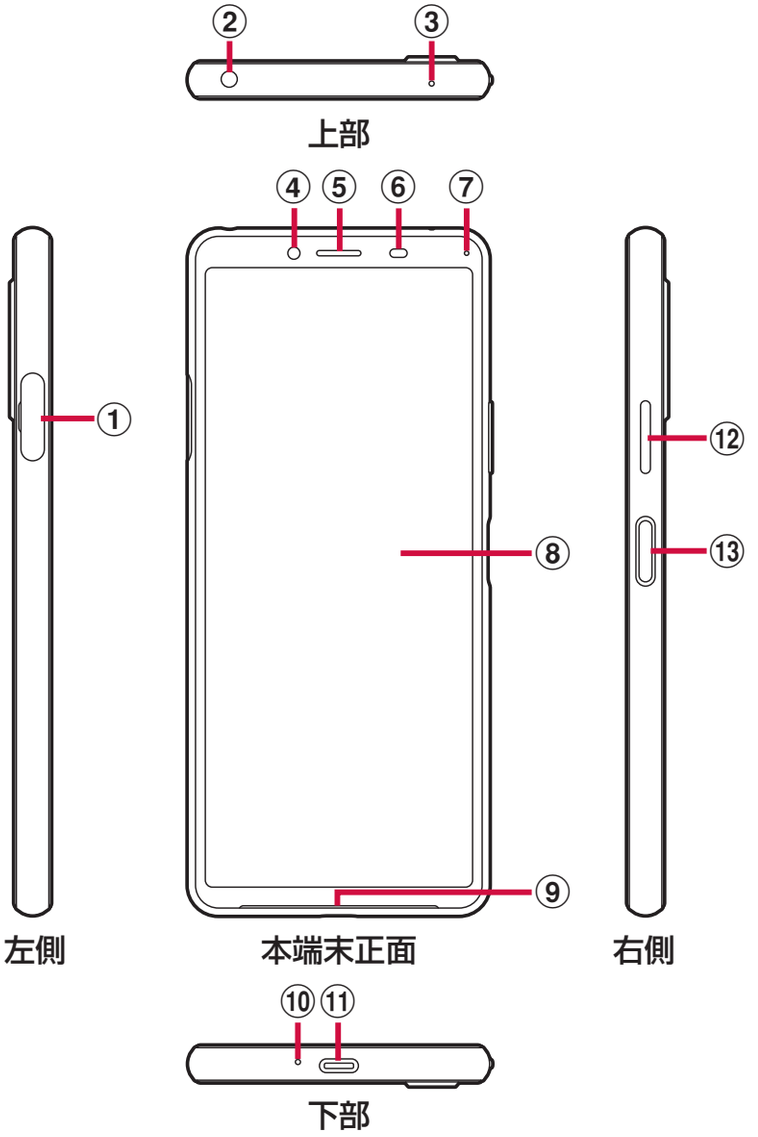
充電のときは

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

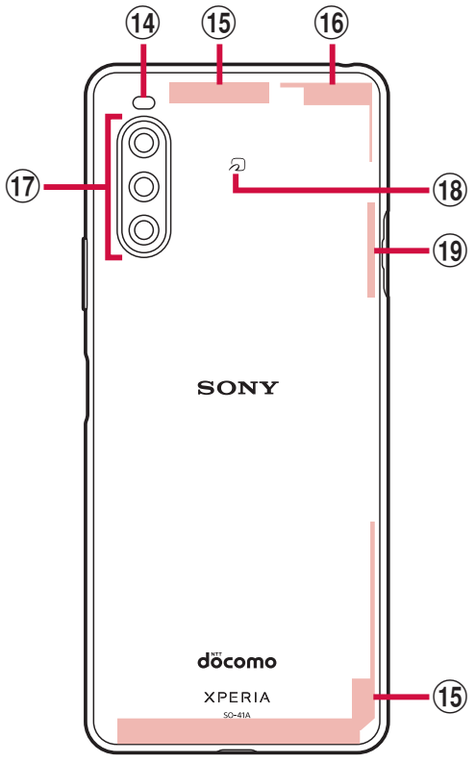
- 充電時は、本端末が濡れていないかを確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから充電してください。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- 本端末が濡れている状態では、Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。本端末は防水性能を有しておりますが、濡れた状態でType-Cプラグを挿入すると、本端末やType-Cプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショートによる異常発熱、故障、火災、やけど、感電などの原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



① ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口
② ヘッドセット接続端子→P.226
③ セカンドマイク：通話時に騒音を抑えるために使用します。
④ フロントカメラレンズ→P.123
⑤ 受話口／スピーカー
⑥ 近接／照度センサー※1：通話中に顔の接近を検知して誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
⑦ 通知LED→P.62
⑧ タッチスクリーン→P.47
⑨ スピーカー
⑩ 送話口／マイク
⑪ USB Type-C接続端子：充電時などに使用します。
⑫ 音量キー／ズームキー：各種音量の調節やカメラ撮影、マナーモードの設定などに使用します。
⑬ 電源キー／画面ロックキー／指紋センサー※1：電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するとき、指紋認証を行うときに使用します。
1秒以上押すとメニューが表示され、「緊急通報」「電源」「画面の保存」「緊急省電力モード」の操作ができます。→P.41、P.53、P.96



背面

⑭ フラッシュ／フォトライト
⑮ LTE／FOMAアンテナ部※2
⑯ LTE／FOMA／GPSアンテナ部※2
⑰ カメラレンズ→P.123
⑱ マーク→P.138
⑲ Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部※2

※1 センサー部分にはシールなどを貼らないでください。
※2 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

❖注意

- 背面パネルは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 電池は本体に内蔵されており、取り外せません。

ドコモnanoUIMカード

ドコモnanoUIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。

- 本端末では、ドコモnanoUIMカードを使用します。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモnanoUIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話、パケット通信などの機能を利用することができません。
- ドコモnanoUIMカードについて詳しくは、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。
- ドコモnanoUIMカードを取り付ける／取り外すときは、本端末の電源を切ってから行ってください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーの開閉については、「防水／防塵性能を維持するために」（P.25）をご参照ください。

■ ドコモnanoUIMカードの暗証番号について

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります（P.45）。

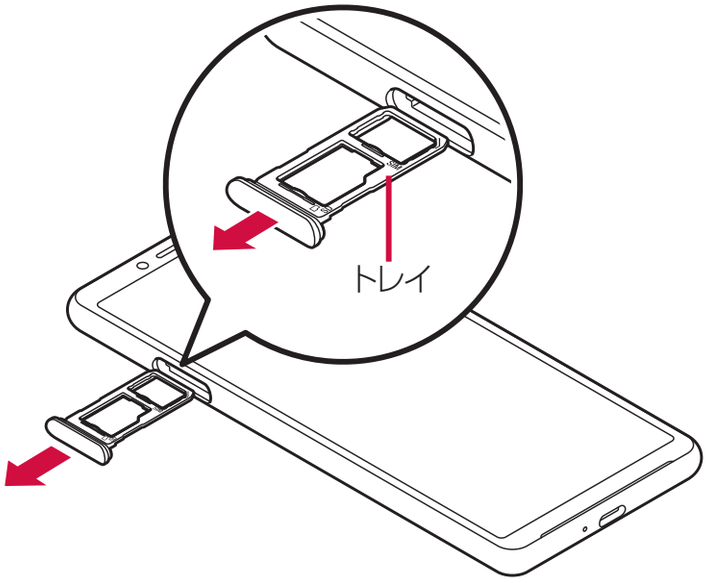
❖お知らせ

- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。故障や破損の原因となります。

ドコモnanoUIMカードを取り付ける

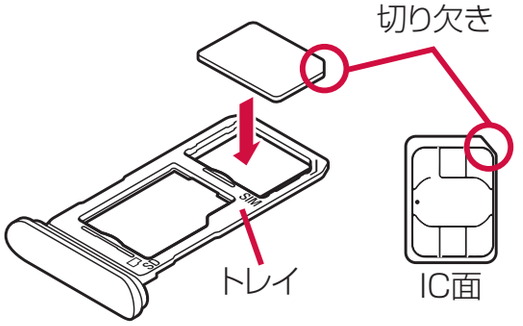
1 ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーを引き出す（P.26）

2 本端末からトレイをまっすぐに引き出して取り外す



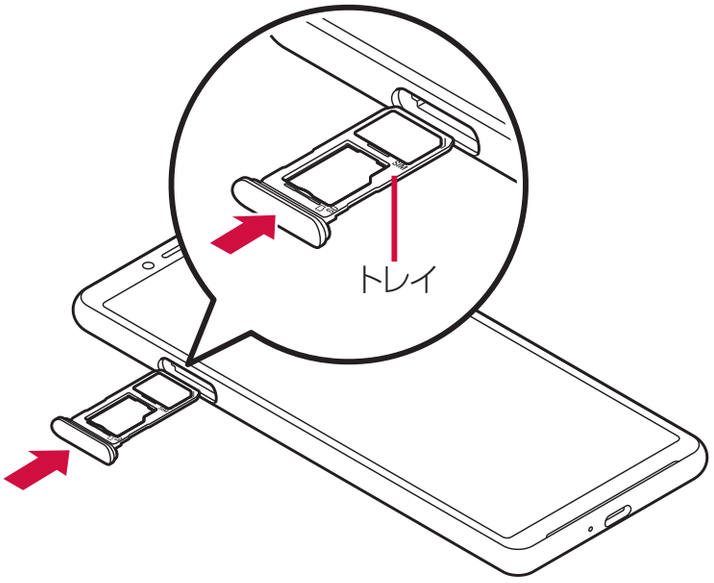
3 ドコモnanoUIMカードのIC面を下にしてトレイにはめ込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードがトレイから浮かないように、確実にはめ込んでください。

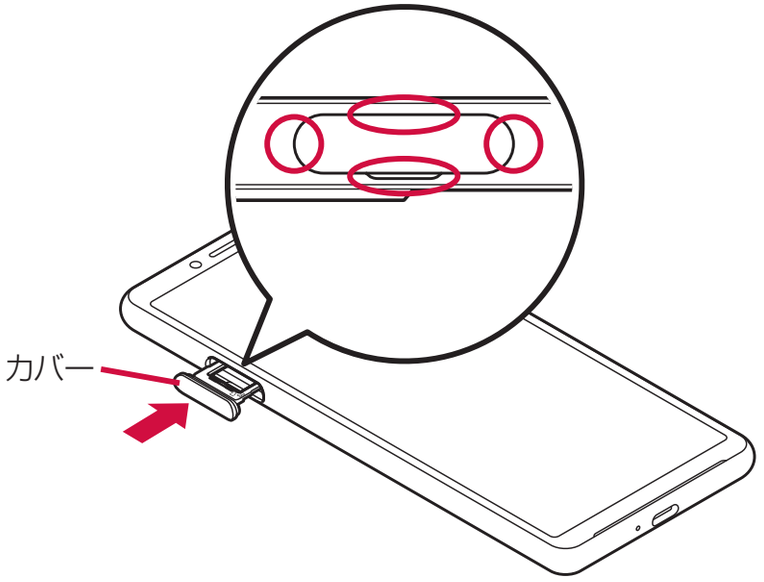


4 本端末を水平にして、トレイごと本端末に差し込んでまっすぐに押し込む

- 本端末とトレイの向きにご注意ください。



5 トレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本端末とカバーにすき間がないことを確認する

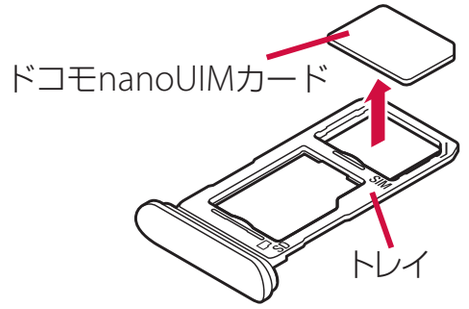


ドコモnanoUIMカードを取り外す

1 ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーを引き出す（P.26）

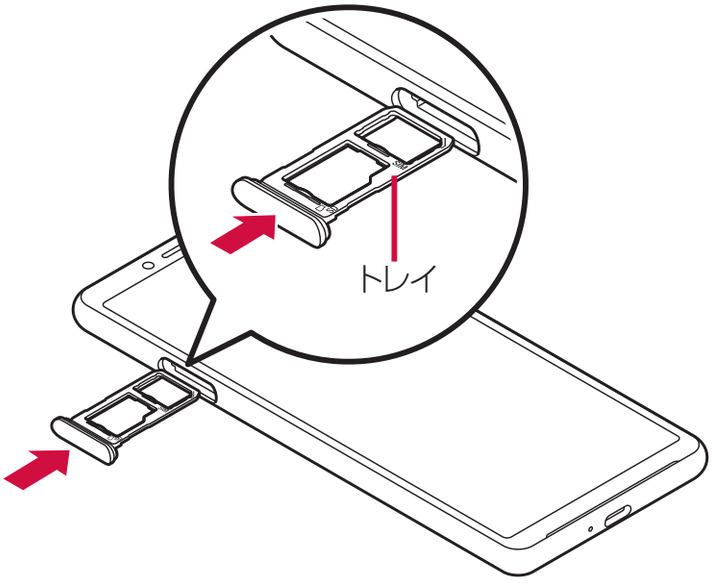
2 本端末からトレイをまっすぐに引き出して取り外す（P.32）

3 トレイからドコモnanoUIMカードを取り出す



4 本端末を水平にして、トレイを本端末に差し込んでまっすぐに押し込む

- 本端末とトレイの向きにご注意ください。



5 トレイを奥までしっかりと押し、本端末とカバーにすき間がないことを確認する（P.33）

microSDカード

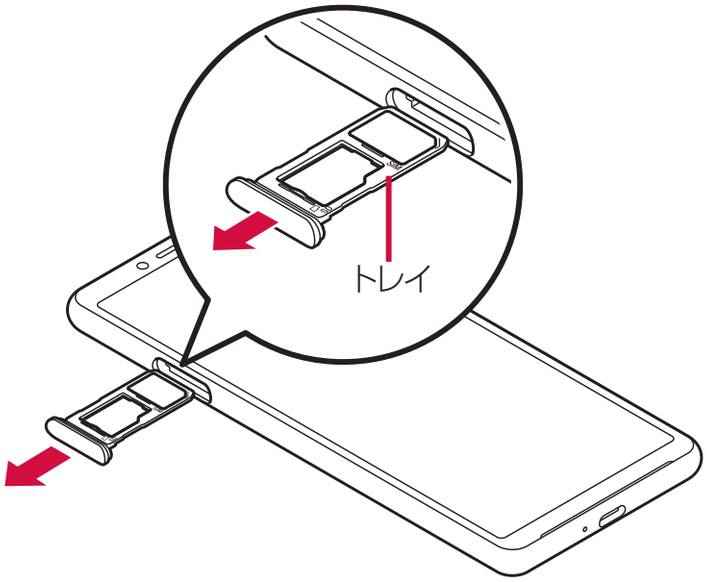
本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

- 本端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、1TBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2022年6月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードについては、各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを取り付けると、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、取り付けないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化を行う必要があります（microSDXCカードのデータはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先やコピー元の機器の規格に準拠したカード（microSDHCカードやmicroSDカードなど）をご利用ください。
- 本端末が対応しているmicroSDカードのスピードクラスは最大クラス10、UHSスピードクラスはクラス1です。ただし、スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。
- microSDカードは互換性のある他の機器でも使用できますが、他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示・再生できないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できないことがあります。
- microSDカードを取り付ける／取り外すときは、本端末の電源を切ってから行ってください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーの開閉については、「防水／防塵性能を維持するために」（P.25）をご参照ください。

microSDカードを取り付ける

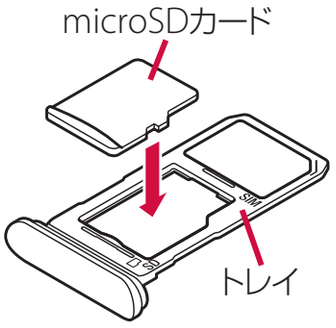
1 ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーを引き出す（P.26）

2 本端末からトレイをまっすぐに引き出して取り外す



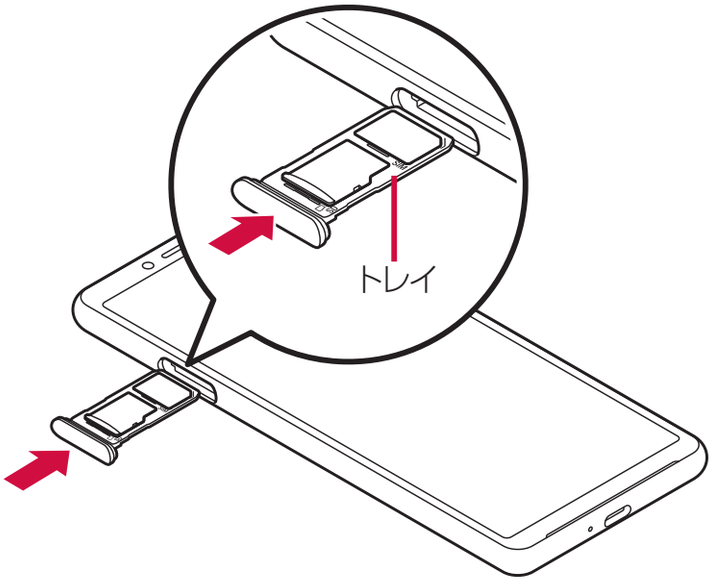
3 microSDカードの端子面を下にしてトレイにはめ込む

- microSDカードがトレイから浮かないように、確実にはめ込んでください。



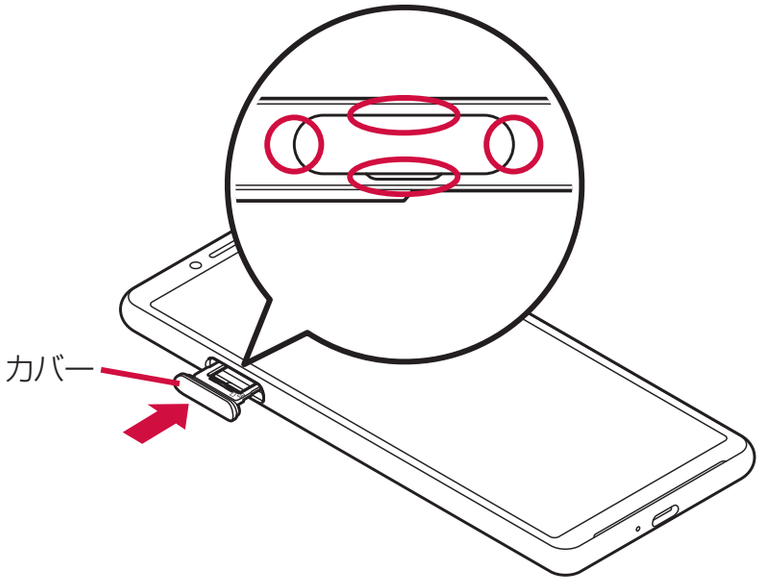
4 本端末を水平にして、トレイごと本端末に差し込んでまっすぐに押し込む

- 本端末とトレイの向きにご注意ください。



5 **トレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本端末とカバーにすき間がないことを確認する**

- 本端末の電源を入れると、ステータスバーに[SD]が表示されます。

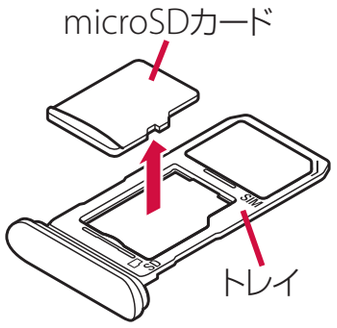


microSDカードを取り外す

1 **ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーを引き出す（P.26）**

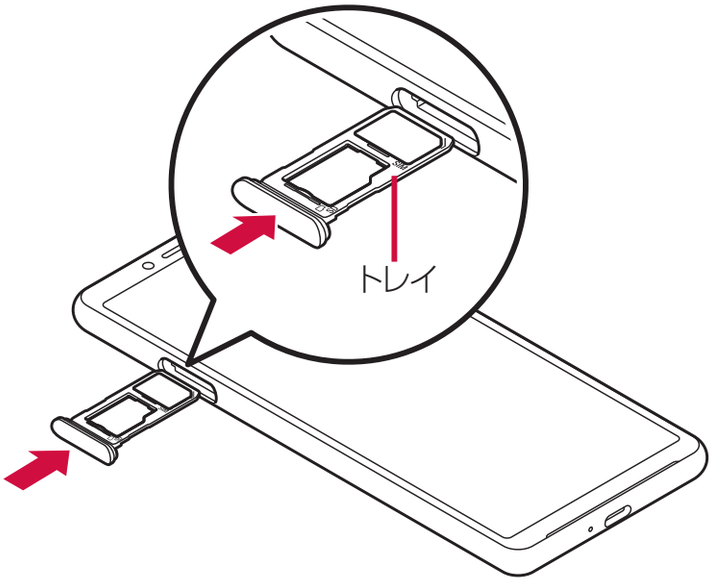
2 **本端末からトレイをまっすぐに引き出して取り外す（P.35）**

3 **トレイからmicroSDカードを取り出す**



4 **本端末を水平にして、トレイを本端末に差し込んでまっすぐに押し込む**

- 本端末とトレイの向きにご注意ください。



5 **トレイを奥までしっかりと押し、本端末とカバーにすき間がないことを確認する（P.36）**

充電

お買い上げ時の内蔵電池は十分に充電された状態ではありません。

- 充電時間の目安について（P.225）

十分に充電したときの使用可能時間（目安）

使用環境や内蔵電池の状態により、本端末を使える時間は異なります。

- 使用可能時間の目安について（P.225）

内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。
- 充電しながらアプリの使用や動画撮影などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 内蔵電池の性能は、ホーム画面で▶［設定］▶［デバイス情報］▶［電池性能表示］をタップして確認できます。

充電について

- 充電にはACアダプタ 07（別売品）を使用することをおすすめします。ACアダプタ 07の取り扱いについて詳しくは、ACアダプタ 07の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 07の対応電圧はAC100Vから240Vです。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電には対応のACアダプタやUSBケーブル A to Cをご使用ください。対応充電器以外をご使用になると、充電できない場合や正常に動作しなくなる場合があります。
- ACアダプタやUSBケーブル A to Cのプラグは、無理な力がかからないように水平にゆっくり抜き差ししてください。
- 充電を開始すると、本端末の通知LEDが電池残量に応じた色で点灯します（P.62）。
- 電池残量は、画面上部のステータスバーで確認するか、ホーム画面で▶［設定］▶［バッテリー］をタップして確認できます。
- 電源オフの状態で充電を開始すると、操作はできませんが充電状況をお知らせする画面が起動します。このため、電源を切る必要がある場所では充電を行わないでください。

• 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html

電池の寿命を延ばすには（いたわり充電）

いたわり充電とは、お客様の充電の習慣（充電器に長く接続している時間帯）を学習して充電速度を調節し、電池の性能をより良い状態に保ち、電池の寿命を延ばすための機能です。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［バッテリー］▶［いたわり充電］
• いたわり充電画面が表示されます。

2 「いたわり充電の使用」のをタップ

❖お知らせ

• いたわり充電の機能をオフにするには、手順2で「いたわり充電の使用」のをタップします。
• いたわり充電中に通常の充電に切り替えるには、ステータスバーを下にドラッグ▶いたわり充電の通知を開く（P.65）▶［通常の充電］をタップします。
• いたわり充電の時間を手動で設定するには、いたわり充電画面で［手動］をタップします。設定した「開始時刻」と「満充電目標時刻」の間に充電を開始すると、いたわり充電を利用できます。
• いたわり充電画面で［常時］をタップすると、設定した制限容量まで充電を行うように設定できます。制限容量を設定するには、「制限容量」欄をタップ▶［80%］／［90%］▶［OK］をタップします。

❖注意

• 習慣の学習の完了には7日以上かかる場合があります。

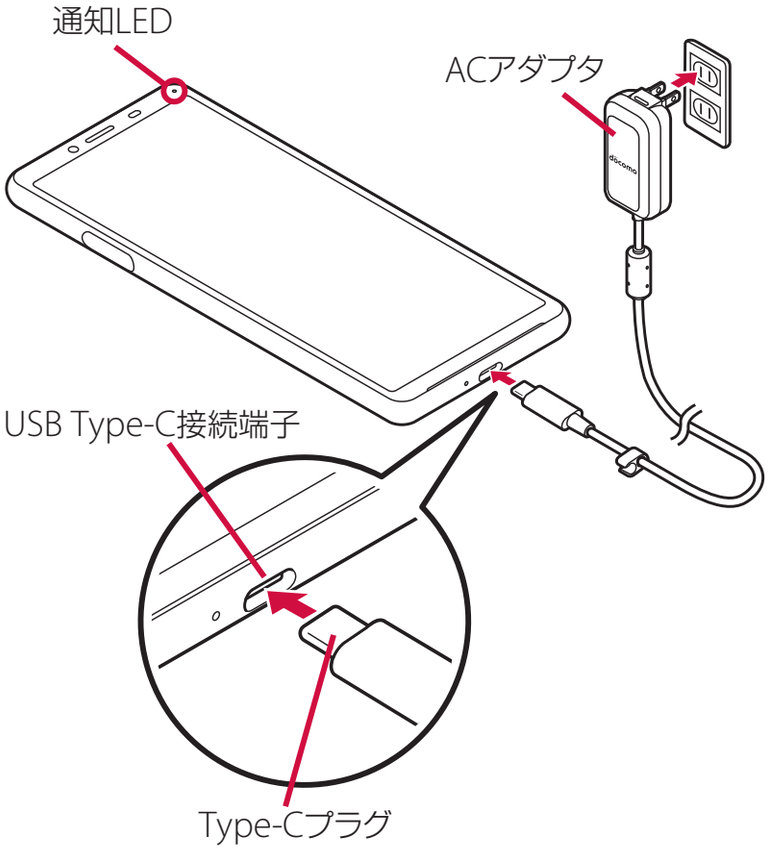
ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 07（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

1 ACアダプタのType-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こしてコンセントに差し込む

- 電源オンの状態で充電を開始すると充電開始音が鳴り、本端末の通知LEDが点灯します（P.62）。



3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、Type-Cプラグを本端末から水平に抜く

❖注意

- ACアダプタのType-Cプラグを無理に接続しないでください。無理に接続すると破損の原因となります。

DCアダプタを使って充電する

DCアダプタ 05（別売品）は、自動車のアクセサリーソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。
DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 02（別売品）が必要です。
取り扱いについて詳しくは、DCアダプタ、USBケーブル A to Cの取扱説明書をご覧ください。

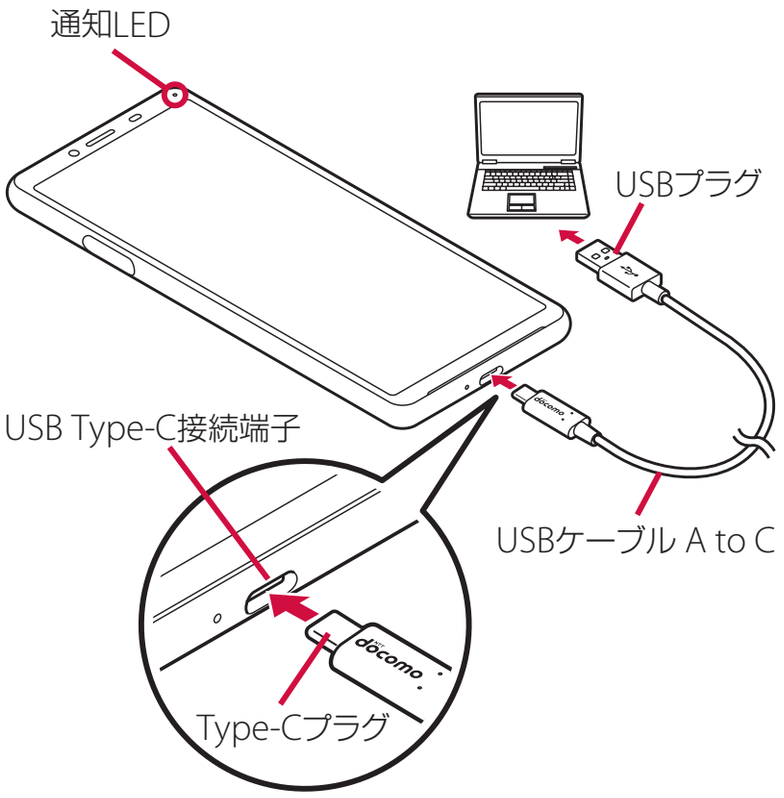
パソコンを使って充電する

本端末をパソコンに接続して充電するには、USBケーブル A to C 02（別売品）が必要です。

1 USBケーブル A to CのType-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

2 USBケーブル A to CのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

- 電源オンの状態で充電を開始すると充電開始音が鳴り、本端末の通知LEDが点灯します（P.62）。



- 本端末上にデータへのアクセス許可を確認する画面が表示された場合は、［拒否］をタップしてください。
- パソコンに本端末のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。
- 本端末上にソフトウェアのインストールを確認する画面が表示された場合は、［スキップ］をタップしてください。

3 充電が完了したら、USBケーブル A to CのUSBプラグをパソコンのUSBポートから抜き、Type-Cプラグを本端末から水平に抜く

❖注意

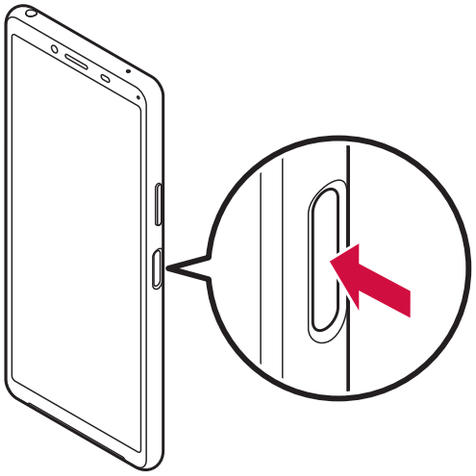
- USBケーブル A to CのType-Cプラグを無理に接続しないでください。無理に接続すると破損の原因となります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **電源キーを3秒以上押す**

- 本端末が振動し、しばらくするとロック画面が表示されます。
- 電源を入れた後に「ようこそ」と表示されたときは、画面の指示に従って初期設定を行います（P.42）。



2 **画面ロックを解除**

- ホーム画面が表示されます。
- 画面ロックの解除方法について（P.42）

❖お知らせ

- PINコードを設定（P.46）している場合は、PINコード入力画面でPINコードを入力します（P.46）。

電源を切る

1 **電源キーを1秒以上押す**

2 **［電源］▶［電源を切る］**

- ［電源］▶［再起動］をタップすると、本端末を再起動できます。

スリープモードにする

スリープモードにすると、画面が消灯してタッチスクリーンやキーの誤動作が防止できたり、画面ロックがかかったりします。

1 **電源キーを押す**

- 再度電源キーを押すと、スリープモードが解除され、画面が点灯します。

❖お知らせ

- 何も操作せずに「画面消灯」（P.171）で設定した時間が経過すると、自動的に画面が消灯してスリープモードになります。

画面ロックを解除する

ロック画面は、電源を入れたときや、電源キーを押してスリープモードを解除したときに表示されます。

1 ロック画面で画面を上にスワイプ（フリック）

❖お知らせ

- ロック画面でやをスワイプ（フリック）すると、Googleアシスタントやカメラを利用できます。
- 画面ロックの解除方法は変更できます（P.179）。
- 指紋設定で指紋を登録すると、指紋認証で画面ロックを解除できます（P.181）。

初期設定

電源を入れた後に「ようこそ」と表示されたときは、画面の指示に従って各機能やサービスなどの初期設定を行います。

1 [開始する]

- ［日本語］をタップすると言語を変更できます。
- ［視覚補助］をタップすると、ユーザー補助機能に関する設定ができます。
- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行ってください。
  - 重要な情報の設定
  - ネットワーク接続の設定
  - アプリとデータのコピーの操作
  - Googleアカウントの設定
  - Googleサービスの設定
  - 画面ロックの設定
  - Googleアシスタントの設定
  - 使用するホームアプリの設定

2 ドコモ初期設定画面が表示されたら内容を確認▶［次へ］

- 以降は画面の指示に従って以下の確認・設定を行ってください。
  - dアカウントの設定
  - ドコモの機能・サービスの一括設定
  - ドコモクラウドの設定
  - 追加するアプリの設定

3 セットアップ完了画面が表示されたら［終了］

❖お知らせ

- 操作の状況などにより、表示される設定などが異なる場合があります。
- 初期設定の完了後、ドコモサービスを選択する画面などが表示された場合は、画面の指示に従って設定・確認してください。
- 設定した各機能は後から変更できるものもあります（P.43、P.44、P.74、P.154、P.179、P.181、P.185、P.189、P.193）。
- オンラインサービスの設定を行う場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください（P.63）。
- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

Googleアカウントの設定を行う

Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。
初期設定でGoogleアカウントを設定しなかった場合や、別のGoogleアカウントを追加する場合は、次の操作で設定できます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アカウント］▶［アカウントを追加］▶［Google］

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- 「Googleサービス」画面でGoogleドライブにバックアップする旨の項目をオンにして登録したGoogleアカウントは、バックアップアカウント（P.188）として登録されます。
- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- ホーム画面で▶［設定］▶［アカウント］▶設定したGoogleアカウントをタップ▶［アカウントの同期］をタップすると、自動同期を行う項目のオン／オフを設定できます。

dアカウントの設定を行う

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdアカウント対応のサービスやdポイントを利用するときに必要なID／パスワードです。
初期設定でdアカウントを設定しなかった場合は、次の操作で設定できます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ドコモのサービス／クラウド］▶［dアカウント設定］

- dアカウントの説明画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 ［ご利用中のdアカウントを設定］／［新たにdアカウントを作成］

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- dアカウントについて詳しくは、手順2で☰▶［ヘルプ］をタップしてdアカウント設定のヘルプをご覧ください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号には、「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号を使用しないでください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ 画面ロック用のロックNo.／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です（P.179）。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.46）。PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを本端末に差し込むたびに、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード（PUKコード）」（P.46）でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード（PUKコード）
PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。
- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

1 **ホーム画面で▶［設定］▶［セキュリティ］▶［SIMカードロック設定］▶［SIMカードをロック］**

2 **PINコードを入力▶［OK］**

電源を入れたときにPINコードを入力する

1 **PINコードの入力画面で、PINコードを入力**

2 **→をタップ**

PINロックを解除する

1 **PINロック解除コード（PUKコード）を入力▶→をタップ**

2 **新しいPINコードを入力▶→をタップ**

3 **もう一度新しいPINコードを入力▶→をタップ**

PINコードを変更する

- SIMカードロックを設定しているときのみ変更できます。

1 **ホーム画面で▶［設定］▶［セキュリティ］▶［SIMカードロック設定］▶［SIM PINの変更］**

2 **現在のPINコードを入力▶［OK］**

3 **新しいPINコードを入力▶［OK］**

4 **もう一度新しいPINコードを入力▶［OK］**

基本操作

基本操作

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面にのせたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチスクリーンが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

タッチスクリーン上の操作

■ **タップ**
アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。
- 2回続けてすばやくタップすることを、ダブルタップといいます。

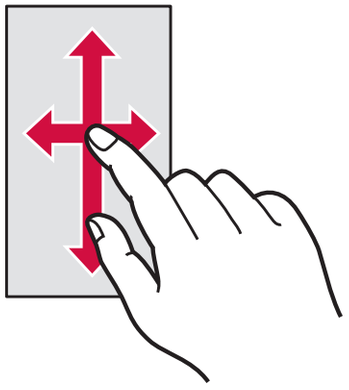
■ **ロングタッチ**
アイコンやメニューなどの項目に指で長く触れます。

■ **スワイプ（フリック）**
画面に触れて上下または左右にはらうように操作します。

■ **ドラッグ**
画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。

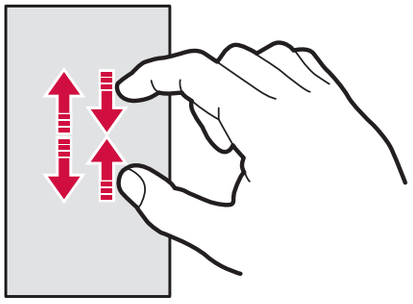
■ **スライド**
画面内で表示しきれないときなどに、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■ **スクロール**
画面内に表示しきれないときなどに、表示内容を上下左右に動かして、表示位置をスクロール（移動）します。



ピンチ

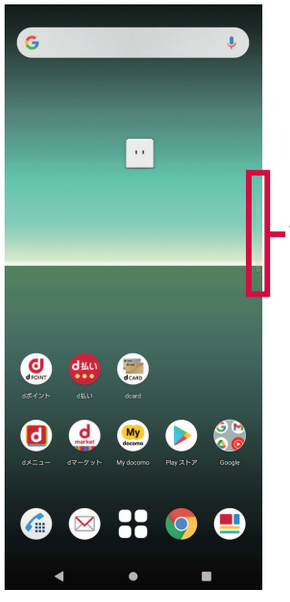
画面に2本の指で触れ、指の間隔を開いたり（ピンチアウト）閉じたり（ピンチイン）して、表示の拡大／縮小などを行います。



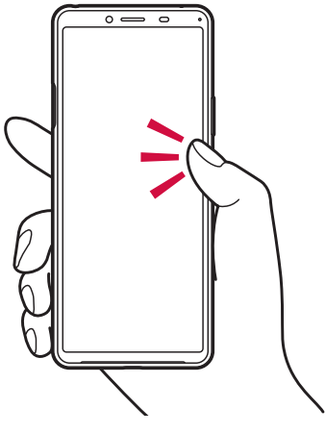
サイドセンスの使いかた

サイドセンスとは、本端末の片手での操作をサポートする機能で、画面に表示されるサイドセンスバーを操作して利用できます。

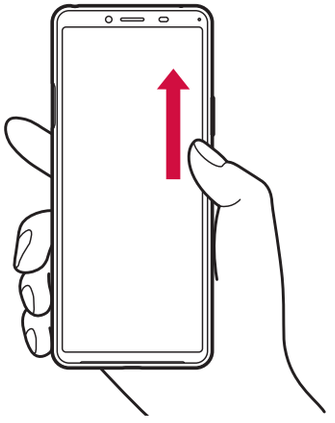
- サイドセンス機能は、サイドセンスバーが表示されるどの画面からでも操作できます。



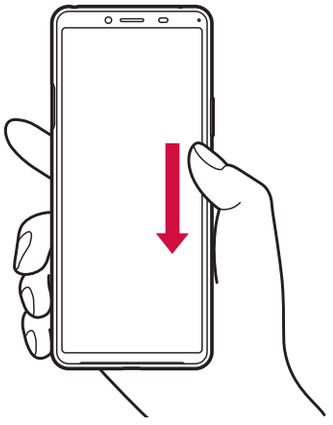
サイドセンスバーをダブルタップするとサイドセンスメニューが表示され、アプリの起動や機能のオン／オフなどができます。サイドセンスバーを上にスライドするとマルチウィンドウメニューが表示され、マルチウィンドウ（分割画面）を起動できます。また、サイドセンスバーを下にスライドすると、バック操作（直前の画面に戻る操作）ができます。



ダブルタップ



上にスライド



下にスライド

❖お知らせ

- 「サイドセンス」（P.173）でサイドセンスバーの操作範囲（表示位置や長さなど）や、操作感度（ダブルタップの速さやスライドの長さ）などを変更できます。お好みに合わせて設定してください。
- 以前にサイドセンスメニューを表示したことがある場合は、サイドセンスバーをロングタッチして画面の内側にドラッグすると、お好みの位置にサイドセンスバーを配置できます。配置を変更するには、表示されたをロングタッチし、任意の方向にドラッグします。元の表示に戻すには、をロングタッチし、画面の左端／右端にドラッグします。
- 次の場合はサイドセンス機能を利用できません。
  - 横画面で表示中
  - 緊急省電力モード中
  - 着信中／発信中／通話中
  - 撮影画面を表示中

サイドセンスメニューを利用する

1 サイドセンスバーをダブルタップ

- サイドセンスメニューが表示されます。
- 説明画面が表示された場合は［始める］をタップします。



① アプリアイコン一覧
- 使用状況から予測されたおすすめのアプリアイコンが表示されます。
- お好みのアプリアイコンを表示するように設定することもできます（P.173）。

② クイック設定ツール
- 使用状況から予測されたおすすめのクイック設定ツール（P.66）が表示されます。
- タップして各機能のオン／オフなどを設定できます。

③ 通知
- 通知パネルが表示されます（P.64）。

④ 片手モード
- 片手モードを起動します（P.73）。

⑤ もっと見る
- アプリアイコン一覧に表示されていないアプリが一覧表示されます。

⑥ マルチウィンドウ
- マルチウィンドウメニュー（P.50）に切り替えます。

⑦ 詳細設定
- 設定メニューの「サイドセンス」が表示されます（P.173）。

❖お知らせ

- サイドセンスメニューの表示中に画面を上下にドラッグすると、メニューの位置を上下に移動できます。
- サイドセンスメニューを終了するには、次のいずれかの操作を行います。
  - ●または◀をタップ
  - サイドセンスメニューの外側をタップ
  - サイドセンスバーをダブルタップ

マルチウィンドウメニューを利用する

サイドセンス機能を利用して、マルチウィンドウ（分割画面）を起動できます。

- 分割画面の操作について（P.68）

1 サイドセンスバーを上にスライド

- マルチウィンドウメニューが表示されます。
- 説明画面が表示された場合は［始める］をタップします。



① アプリアイコン一覧
- 使用状況から予測されたおすすめのアプリアイコンが表示されます。
- アプリアイコンをタップすると、マルチウィンドウ（分割画面）に表示できます。
- マルチウィンドウ（分割画面）を起動中の場合は、アプリアイコンをタップすると画面下側のアプリが切り替わります。画面上側のアプリを切り替えるには、マルチウィンドウメニューの横に表示されている画面イラストの上側をタップしてから、アプリアイコンをタップします。

② アプリのペア（組み合わせ）
- 使用状況から予測されたアプリのペアが表示されます。
- お好みのペアを表示するように設定することもできます（P.173）。

③ マルチウィンドウ終了
- マルチウィンドウ（分割画面）を終了します。

④ アプリの上下入れ替え
- マルチウィンドウ（分割画面）を起動中のとき、アプリの位置を入れ替えます。

⑤ もっと見る
- アプリアイコン一覧に表示されていないアプリが一覧表示されます。

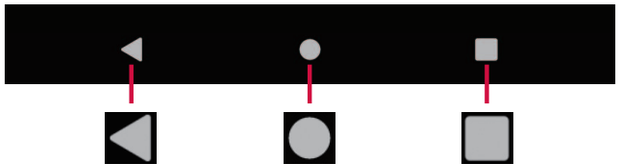
⑥ サイドセンスメニュー
- サイドセンスメニュー（P.49）に切り替えます。

⑦ 詳細設定
- 設定メニューの「マルチウィンドウメニュー設定」が表示されます（P.173）。

❖お知らせ
- マルチウィンドウメニューの表示中に画面を上下にドラッグすると、メニューの位置を上下に移動できます。
- マルチウィンドウメニューを終了するには、次のいずれかの操作を行います。
  - ●または◀をタップ
  - マルチウィンドウメニューの外側をタップ
  - サイドセンスバーを上にスライド

キーアイコンの基本操作

画面下部に表示されるキーアイコンをタップすると、次の操作ができます。



◀	戻る	直前の画面に戻ります。また、メニューや通知パネルなどを閉じます。
●	ホーム	ホーム画面に戻ります。 ロングタッチするとGoogleアシスタントを起動できます。
■	履歴	タスクマネージャを利用できます（P.67）。 また、分割画面を利用することもできます（P.68）。

※ 本書では、キーアイコンの操作を◀、●、■を使って説明しています。

❖お知らせ
- 「片手モード」（P.171）をオンに設定している場合は、●をダブルタップして片手モードを起動できます（P.73）。
- 表示中の画面により、キーアイコンの色が異なる場合があります。

縦または横画面表示を自動で切り替える

本端末の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定できます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［画面設定］

2 「画面の自動回転」の をタップ

❖お知らせ

- 本機能をオフに設定中でも、本端末の向きを変えたときに が表示された場合は、 をタップして縦／横画面表示を切り替えることができます。
- 表示中の画面によっては、縦画面または横画面に固定されて表示される場合があります。
- 地面に対して水平に近い状態で本端末の向きを変えると、自動で縦／横画面表示に切り替わらない場合があります。
- クイック設定パネルからも設定できます（P.66）。

マナーモードを設定する

- マナーモード設定中でも、シャッター音、動画撮影時の撮影開始／終了音、アラーム、動画・音楽などの音声は消音になりません。
- マナーモード設定中に「着信音と通知音の音量」（P.175）で音量を調節すると、マナーモードは解除されます。
- 音量キーを押して表示される音量調節バーで、スライダを上下にドラッグするとメディアの音量を調節できます。また、 をタップすると音設定画面が表示され、通話音量、着信音と通知音の音量、アラームの音量を変更できます。

マナーモード（バイブレーション）を設定する

1 音量キーの上または下を押す
- 音量調節バーが表示されます。

2 をタップ
- 音量調節バーのアイコンが に変わります。

マナーモード（ミュート）を設定する

1 音量キーの上または下を押す
- 音量調節バーが表示されます。

2 ▶ をタップ
- 音量調節バーのアイコンが に変わります。

表示されている画面を撮影する

現在表示されている画面の静止画を撮影できます（スクリーンショット）。

- 表示中の画面によっては撮影できない場合があります。

1 撮影する画面で電源キーと音量キーの下を同時に1秒以上押す

- 静止画が保存され、画面左下にサムネイルとメニューが一定時間表示されます。

❖お知らせ

- 電源キーを1秒以上押す▶［画面の保存］をタップしても、画面を撮影できます。また、タスクマネージャ（P.67）で［スクリーンショット］をタップすると、表示中のサムネイルの画面を撮影できます。
- サムネイルやメニューをタップすると、静止画を編集したり、Bluetoothやメールなどで送信したりできます。また、サムネイルの右上の⊗をタップすると、サムネイルとメニューの表示を消すことができます（静止画は削除されません）。

表示されている画面を録画する

現在表示されている画面の動画を録画できます（スクリーンレコード）。

- 表示中の画面によっては録画できない場合があります。

1 2本の指でステータスバーを下にドラッグ

- クイック設定パネルが表示されます。

2 クイック設定ツールを左にスワイプ（フリック）

3 [スクリーンレコード]

- 録画開始の確認画面が表示されます。録画の開始前に、「録音」などの設定をしてください。

4 [開始]

- 録画が開始され、ステータスバーにとが表示されます。
- 録画を停止する場合は、ステータスバーを下にドラッグし、「スクリーンレコーダー」の通知をタップします。

緊急省電力モードを設定する

災害などの緊急時に機能を制限して消費電力を抑えることができます。

1 電源キーを1秒以上押す

2 ［緊急省電力モード］▶［注意事項］▶注意事項を確認▶［閉じる］

3 「注意事項を確認しました」にチェックを入れる▶［有効にする］

- 本端末が再起動します。

❖お知らせ

- 緊急省電力モードを解除するには、次のいずれかの操作を行います（解除時に本端末が再起動します）。
  - 電源キーを1秒以上押す▶［緊急省電力モード］▶［解除する］をタップ
  - ステータスバーを下にドラッグ▶緊急省電力モードの通知を開く（P.65）▶通知をタップ▶［解除する］をタップ
  - 緊急省電力モードのホーム画面で⚙▶［緊急省電力モードを解除する］▶［解除する］をタップ
- 緊急省電力モード中に利用できるアプリや注意事項については、次の操作で確認できます。
  - ホーム画面で⊞▶［設定］▶［バッテリー］▶［緊急省電力モード］▶［注意事項］をタップ
  - 緊急省電力モードのホーム画面で⚙▶［緊急省電力モードについて］をタップ
- 緊急省電力モードの設定／解除を行うと、ホーム画面上のウィジェットなどの再設定が必要になる場合があります。

利用するアプリを選択する

メールを送信するときや画像を表示するときなど、特定の操作で複数のアプリを利用できる場合は、アプリを選択する画面が表示されます。

〈例〉楽曲データを再生するアプリを選択する場合

1 「ファイル」アプリから楽曲データを選択（P.194）

- アプリを選択する画面が表示されます。

2 アプリを選択▶［1回のみ］／［常時］

- 利用するアプリを毎回確認する場合は「1回のみ」、常に同じアプリを利用する場合は「常時」を選択します。「常時」を選択すると、次回に同じ操作を行ったときにアプリを選択する画面は表示されません。
- 以前に同じ操作で「1回のみ」を選択した場合は、アプリが選択された状態の画面が表示されます。別のアプリを利用する場合は「別のアプリを使用」欄からアプリを選択してください。

❖お知らせ

- 利用中の操作によっては、アプリを選択する画面で「1回のみ」／「常時」が表示されず、利用するアプリを毎回選択する必要があります。
- 「常時」に設定したアプリを解除するには、ホーム画面で▶［設定］▶［アプリと通知］▶［XX個のアプリをすべて表示］▶設定を解除するアプリをタップ▶［詳細設定］▶［デフォルトで開く］▶［設定を消去］をタップします。

アプリの権限を設定する

本端末の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示される場合があります。

許可してアクセス権限を付与すると、アプリ／機能は該当する機能や情報を利用できるようになります。

〈例〉「スケジュール」アプリを初めて起動した場合

1 ホーム画面で▶［スケジュール］

- 許可についての説明画面が表示されます。

2 ［OK］

- 確認画面が表示されます。

3 ［許可］／［許可しない］

- 他の確認画面が表示されたら、内容を確認して操作を繰り返します。

❖お知らせ

- 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面で▶［設定］▶［アプリと通知］▶［XX個のアプリをすべて表示］▶設定を変更するアプリをタップ▶［許可］▶変更する権限をタップ▶［許可］／［許可しない］をタップします。
- アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示されない場合があります。また、確認画面の表示回数が異なる場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

文字入力

文字入力は、メールの作成や電話帳の登録などで文字入力欄をタップすると表示されるソフトウェアキーボード（画面上のキーボード）を使用します。
初期状態の入力方法は「Gboard」に設定されています。

❖お知らせ

- ソフトウェアキーボードを非表示にするには、画面左下に表示される▼をタップします。
- Gboardについて詳しくは、文字入力画面で⚙▶⋮▶［ヘルプとフィードバック］をタップしてサポートをご覧ください。
- 使用状況により、キーボードの表示や操作などが変更される場合があります。

入力方法の切り替え

Gboard以外の入力方法に切り替えることができます。

1 文字入力中に画面右下の⌨をタップ

- 入力方法の選択画面が表示されます。

2 利用する入力方法を選択

❖お知らせ

- 入力方法の選択画面に利用する入力方法が表示されない場合は、「画面キーボードを管理」（P.189）で利用する入力方法の⬤をタップします。

ソフトウェアキーボード

初期状態のソフトウェアキーボードは日本語キーボード、レイアウトは「12キー」に設定されています。日本語キーボードでは、次のレイアウトを追加して利用できます。

- 文字入力のしかたについて（P.57）

12キー	携帯電話と同じ配列のキーボードです。キーを繰り返しタップして文字を選択します（トグル入力）。フリック入力もできます。
QWERTY	一般的なパソコンと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。フリック入力もできます。
手書き	手書きで文字を入力するキーボードです。
GODAN	日本語をローマ字入力するためのキーボードです。

日本語キーボードのレイアウトを追加する

12キー以外のレイアウトを使用するには、あらかじめ使用するレイアウトを追加する必要があります。

1 文字入力画面で⚙▶［言語］

2 ［日本語 12キー］

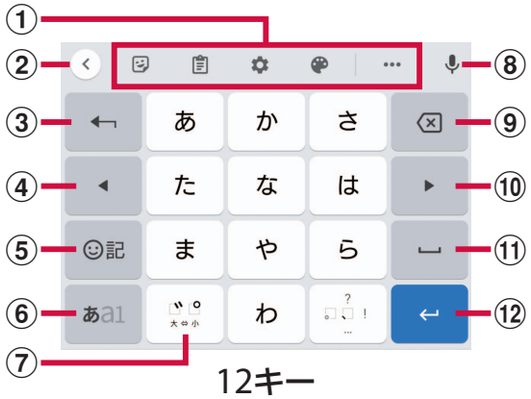
3 利用するレイアウトにチェックを入れる▶［完了］

❖お知らせ

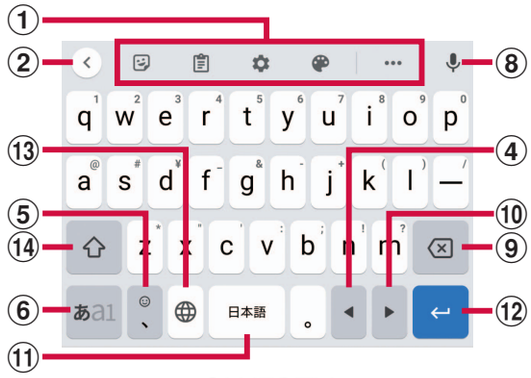
- レイアウトを追加するとソフトウェアキーボードに 🌐 が表示され、タップするたびにキーボードが切り替わります。また、🌐 または ␣ をロングタッチするとキーボードの変更画面が表示され、利用するキーボードを切り替えられます。
- 他の言語のキーボードを追加するには、手順2で［キーボードを追加］▶利用する言語などを選択▶必要に応じて国・地域などを選択▶利用するレイアウトにチェックを入れる▶［完了］をタップします。利用できるレイアウトは、言語によって異なります。
- 文字入力欄をタップしたときに入力レイアウトの選択画面が表示された場合は、ひらがな漢字と英字のレイアウトを設定できます。

文字入力のしかた

ソフトウェアキーボードでキーをタップすると、入力した文字に対して候補リストが表示されます。候補リストから入力する語句をタップすると、次々に文章を入力できます。ここでは、日本語キーボードの12キーとQWERTYについて説明します。



12キー



QWERTY

① ツールバー
ツールアイコンの一覧が表示されます（P.59）。

② ＜／＞
ツールアイコンの非表示／表示を切り替えます。

③
トグル入力（P.60）した文字を、通常とは逆の順序で表示します。変換確定後にタップすると、変換前の表示に戻ります。

④
カーソルを左へ移動します。変換確定前の場合は、文字列の変換範囲を変更します。
上下左右にスワイプ（フリック）するとカーソルを移動できます（状況により操作できない場合があります）。

⑤ ／
絵文字、ステッカー、顔文字などの一覧を表示します。
QWERTYの場合は読点を入力します。また、ロングタッチするとアイコンが表示され、片手モードへの切り替えや絵文字などのリストの表示、設定画面の表示ができます。

⑥ ／ ／
文字種を「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に切り替えます。ロングタッチするとアイコンが表示され、設定画面の表示や、片手モードへの切り替えができます。

⑦
濁点／半濁点を付けたり、大文字／小文字に切り替えたりします。

日本語キーボードのレイアウトや他の言語のキーボードを追加すると表示され、タップするたびにキーボードの切り替えができます。ロングタッチすると、キーボードの変更画面が表示されます。

⑧
音声入力に切り替えて、音声で文字を入力します。

⑨
カーソル位置の前の文字を削除します。

⑩
カーソルを右へ移動します。変換確定前の場合は、文字列の変換範囲を変更します。
上下左右にスワイプ（フリック）するとカーソルを移動できます（状況により操作できない場合があります）。

⑪ ／ 日本語
スペースを入力します。ひらがな漢字入力時で変換確定前の場合は表示が「変換」に変わり、タップすると変換候補の表示／切り替えができます。
ロングタッチすると、キーボードの変更画面が表示されます（状況により操作できない場合があります）。

⑫
改行します。変換確定前にタップすると、文字を確定します。
※ 一部の画面では、 や 、 、 などが表示されます。

⑬
タップするたびにキーボードの切り替えができます。ロングタッチすると、キーボードの変更画面が表示されます。

⑭ ／
小文字／1文字のみ大文字の入力に切り替えます。ダブルタップするとキーの表示が に変わり、大文字の入力に切り替わります。

❖お知らせ

- 候補リスト内の をタップすると、表示領域が拡大されます。ソフトウェアキーボードを表示させるには、 をタップします。

ツールアイコンの利用

ツールバーに表示されているツールアイコンをタップして、次の操作ができます。

(ステッカー)	絵文字／ステッカー／顔文字などの一覧を表示します。
(クリップボード)	クリップボードに保存された文字列を引用して、文字を入力します。
(設定)	設定画面を表示します。
(テーマ)	ソフトウェアキーボードのテーマを変更します。
•••	ツールバーに表示されていないツールアイコンの一覧を表示します。 • ツールアイコンをロングタッチし、ツールバーまでドラッグすると、ツールバーに表示するツールアイコンを変更できます。
(片手モード)	片手で操作できるサイズのソフトウェアキーボードに切り替えます。
(テキスト編集)	文字列の選択、切り取り、コピー、貼り付けなどをします。
(Gboardを共有)	利用しているレイアウトなどの情報を、Bluetoothやメールなどで送信します。
(翻訳)	単語や文章などを翻訳して入力します。
(フローティング)	ソフトウェアキーボードを任意の位置に移動できるようにします。

フリック入力

12キーのキーに触れると、キーに割り当てられた文字や数字、記号が表示されます。入力する文字などが表示されている方向にフリックすると、文字を入力できます。

- QWERTYでは、各キーを上にフリックすると、数字や記号を入力できます。

〈例〉12キーで「な」行を入力する場合

「な」はタップするだけで入力できます。

「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。



トグル入力

12キーで同じキーを連続してタップすると、キーに割り当てられた文字や数字、記号を入力できます。
同じキーに割り当てられた文字などを続けて入力する場合は、変換範囲を示すカーソルの色が変わるのを待ってから（約1秒）、次の文字を入力します。すぐに次の文字を入力する場合は、▶をタップするとカーソルの色が変わります。

〈例〉「あお」と入力する場合

1 「あ」を1回タップ▶（カーソルの色が変わるまで）約1秒待つ

2 「あ」を5回タップ

または

1 「あ」を1回タップ▶（すぐに）▶をタップ

2 「あ」を5回タップ

テキストの編集

文字入力画面やウェブサイトなどのテキストを切り取りまたはコピーし、他のアプリなどに貼り付けることができます。

1 文字列をロングタッチ

- 文字列が選択され、周辺に編集メニューが表示されます。
- 文字列をダブルタップしても操作できます。

2 ／を上下左右にドラッグして文字列の範囲を選択

3 編集メニューの利用する項目をタップ

切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	コピーまたは切り取った文字列を貼り付けます。
共有	選択した文字列を他のアプリで使用します。
すべて選択	テキストをすべて選択します。
ウェブ検索	選択した文字列に関連するウェブ上の情報を検索します。
⋮	表示しきれない編集メニューを表示します。←をタップすると、元の編集メニューに戻ります。

❖お知らせ

- コピーまたは切り取った文字列を貼り付けるには、挿入する位置でロングタッチ▶［貼り付け］をタップします。テキストが入力されている場合は、挿入する位置でタップ▶💧▶［貼り付け］をタップします。
- アプリによっては、本機能を利用できない場合や、編集メニューの表示が異なる場合があります。

単語リスト

あらかじめ単語リストに語句を登録しておくと、文字入力時の候補リストに優先的に表示されます。

1 文字入力画面で⚙▶［単語リスト］▶［単語リスト］▶言語を選択

2 ＋をタップ

3 画面の指示に従って単語・よみを入力

4 ←をタップ

❖お知らせ

- 登録した語句を削除するには、手順2で削除する語句を選択▶🗑をタップします。

文字入力の設定

Gboardなどの入力方法ごとに文字入力の各種設定をしたり、ドコモ文字編集のアプリ情報や使いかたを確認したりできます。

1 ホーム画面で⊞▶［設定］▶［システム］▶［言語と入力］

2 ［画面上のキーボード］▶入力方法を選択

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

❖お知らせ

- 設定できる項目は、入力方法により異なります。
- Gboardの場合は文字入力画面で⚙をタップしても、設定画面を表示できます。
- 入力方法が表示されない場合は、手順2で［画面上のキーボード］▶［画面キーボードを管理］▶利用する入力方法の⚪をタップします。

通知LED

本端末の状態（ステータス）や着信、受信などの通知情報を表示します。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中（電池残量が14%以下）
橙の点灯	充電中（電池残量が15%～89%）
緑の点灯	充電中（電池残量が90%以上）
赤の点滅	電池残量が14%以下
白の点滅※	不在着信、新着Gmailなどの通知あり

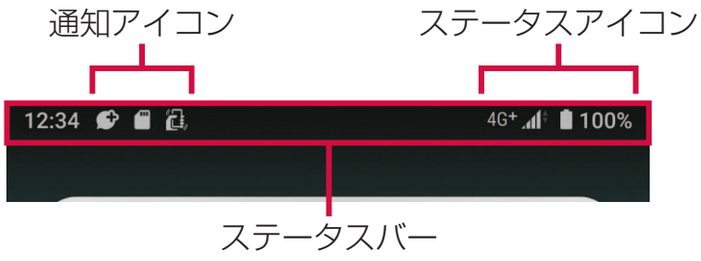
※ スリープモード中に点滅します。

画面表示とアイコン

ステータスバーに表示されるアイコンで、アプリの通知情報や本端末の状態などを確認できます。通知パネルを表示すると、ステータスバーに表示された通知情報などの詳細を確認できます。また、クイック設定パネルを表示して機能のオン／オフを設定したりできます。

ステータスバー

画面上部のステータスバーには、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコンや、電波状態や電池残量などをお知らせするステータスアイコンが表示されます。



ステータスアイコン

ステータスバーに表示される主なステータスアイコンは次のとおりです。

	電波状態※1	—
4G+	4G（LTE）使用可能※2	—
H	HSPA使用可能	—
3G	3G使用可能	—
R	国際ローミング中	—
	圏外	—
	Wi-Fi接続中※1※3	P.154
	インターネット利用不可のWi-Fiネットワークに接続中、およびWi-Fiの電波が不安定な状態※3	P.154
	Wi-Fiテザリングをオンに設定中	P.160
	Bluetooth機器に接続中	P.197
	機内モード設定中	P.160
	マナーモード（バイブレーション）設定中	P.52
	マナーモード（ミュート）設定中	P.52
	ハンズフリーで通話中（スピーカーオン）	P.100
	送話口／マイクをオフにして通話中（ミュート）	P.100
	アラームなどを設定中	P.147
	サイレント モード設定中	P.169
	GPS測位中	P.144
	VPN接続中	P.163
	データセーバー設定中	P.163
	スクリーンレコード録画中	P.53
	STAMINA®モード設定中	P.170
	電池の状態	—
	充電中	P.37
	充電が必要な状態	—

※1 通信中はアイコンの右側に↕が表示されます。
※2 本端末は、LTE接続時は常に4G+が表示されます。
※3 アイコンの左側に表示される数字は、接続中の無線LAN（Wi-Fi）の規格により異なります。

通知アイコン

ステータスバーに表示される主な通知アイコンは次のとおりです。

	新着Gmailあり	P.116
	新着＋メッセージあり	P.110
	データを受信／ダウンロード	—
	データを送信／アップロード	—
	Bluetooth通信でデータなどの受信通知あり	P.198
	microSDカードの検出／マウント中	P.36
	アプリのアップデート通知あり	—
	ソフトウェアアップデート通知あり	P.218
	電話着信中／発信中／通話中	P.95
	通話保留中	P.100
	不在着信あり	P.102
	伝言メモ通知あり／留守番電話あり	P.98、P.102
	メモ／スケジュールの通知あり	P.91、P.146
	ストップウォッチ計測中※	P.148
	タイマー使用中※	P.148

	アラームの鳴動中／アラームのスヌーズ中／次のアラームあり	P.148
	USB機器を接続中／USB Type-C接続端子に水分を検出	P.164、P.176
	スクリーンミラーリング利用中	P.164
	Wi-Fiオープンネットワーク利用可能	P.156
	いたわり充電中	P.38
	電池残量が少ない状態（15%以下）	—
	エラーメッセージ／注意メッセージ	—
	非表示の通知あり	—
	おまかせロック設定中	—
	ドコモデータコピーの通知あり	P.149
	スグアプが利用可能な状態	P.69
	スクリーンレコード通知あり	P.53
	内部ストレージの空き容量低下	—
	dアカウント設定の認証失敗	P.44

※ ホーム画面などの別の画面に切り替えると表示されます。

通知パネル

ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、通知パネルを開いて通知の内容を確認したり、対応するアプリを起動したりできます。

1 ステータスバーを下にドラッグ



① クイック設定ツール
- クイック設定ツール（P.66）の一部が表示されます。
- タップして各機能のオン／オフなどを設定できます。
- ロングタッチすると、機能によっては設定画面などが表示されます。

② クイック設定パネルを開く
- 下にドラッグすると、クイック設定パネル（P.66）が表示されます。

③ 通知
- 通知の種類や設定などにより、「会話」「通知」「サイレント」などのセクションに振り分けられて表示されます。
- が表示された場合は、分割画面に対応するアプリを表示中にタップすると、分割画面でアプリを表示できます。分割画面に対応するアプリが表示されていない場合は、通常の画面でアプリを起動できます。
- 通知を左右にスワイプ（フリック）すると、一覧から削除できます。ただし、通知によっては削除できない場合があります。
- 通知を左右にドラッグして表示されるをタップするか、通知をロングタッチすると、通知の設定を変更したり、「サイレント」や「優先」などの設定をしたりできます。ただし、通知によっては設定できない場合があります。
- 会話の通知を開いたときに／が表示された場合は、タップするとフローティングアイコン（バブル）の表示／非表示を設定できます。フローティングアイコン（バブル）は他のアプリを起動中でも表示され、会話の新着通知を確認したり、タップしてメッセージを確認・送信したりできます。

④ 管理
- 通知の設定を変更できます（P.168）。
- 「通知履歴」（P.168）がオンの場合は「履歴」と表示され、通知の履歴を確認できます。

⑤ 通知を開く／閉じる
- タップして通知を開くと、表示しきれない通知内容や操作メニューを表示できます。
- 通知によっては表示されない場合や、タップしても通知が開かない場合があります。

⑥ 操作メニュー
- 通知を開くと「発信」や「返信」などの操作メニューが表示される場合があります。
- 通知によっては、操作メニューの項目をタップして、通知パネル上で＋メッセージの返信などの操作ができる場合があります。

⑦ すべて消去
- 削除できる通知があるときに表示され、通知をすべて削除します。ただし、通知によっては削除できない場合があります。

❖お知らせ
- 操作の状況によってはクイック設定ツールの下に音楽などの操作パネルが表示され、再生／一時停止や音声出力先の切り替えなどができます。
- フローティングアイコン（バブル）をロングタッチ▶任意の方向に少しドラッグ▶画面下部のまでドラッグしても、フローティングアイコン（バブル）を非表示にできます。
- 通知パネルを閉じるには、をタップするか、通知パネルを上にドラッグします。
- ステータスバーに通知アイコンが表示されていない場合でも、本端末の状態を示す通知などが表示されることがあります。
- 通知があるときにロック画面で画面を下にスワイプ（フリック）しても通知パネルが表示され、通知を確認できます（画面ロックの設定後に発生した新着通知や一部の通知は、操作をしなくても表示されます）。「ロック画面上の通知」（P.168）でロック画面に通知を表示させないように設定したり、「通知表示の維持」（P.168）でロック画面に通知を常に表示させるように設定したりすることもできます。

クイック設定パネル

機能のオン／オフなどを設定できます。

1 2本の指でステータスバーを下にドラッグ



① 明るさのレベル
- 画面の明るさを調節できます。

② クイック設定ツール
- ロングタッチすると、機能によっては設定画面などが表示されます。
- クイック設定ツールの下にページ枚数と現在の表示位置を示すインジケーターが表示されている場合は、クイック設定ツールを左右にスワイプ（フリック）するとページを切り替えられます。

Wi-Fi	Wi-Fi機能のオン／オフを設定できます。
Bluetooth	Bluetooth機能のオン／オフを設定できます。
自動回転	本端末の向きに合わせて、縦／横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定できます。
機内モード	機内モードのオン／オフを設定できます。
マナーモード（XXXX）※	マナーモードを設定できます。
位置情報	位置情報のオン／オフを設定できます。
ニアバイシェア	付近の対応機器とファイルを共有します。
ライト	フラッシュ／フォトライトのオン／オフを設定できます。
STAMINAモード	STAMINAモードのオン／オフを設定できます。
テザリング	Wi-Fiテザリングのオン／オフを設定できます。
スクリーンレコード	表示されている画面を録画します（P.53）。

※「XXXX」には、マナーモードの状態が表示されます。

③ 編集
- 編集画面を表示して、クイック設定ツールの追加や削除、並び順の変更ができます。
- 編集画面で ⋮ ▶［リセット］をタップすると、初期状態に戻ります。

④ 通信事業者名

⑤ 設定
- 設定メニューを表示します（P.152）。

⑥ 複数ユーザー
- アイコンが表示されていない場合は、「複数ユーザー」（P.191）をオンにすると表示されます。
- 本端末の使用者の切り替えや、ユーザー／ゲストの追加、ゲストの削除ができます。
- ［詳細設定］をタップすると、設定メニューの「複数ユーザー」が表示されます（P.191）。

❖お知らせ
- 使用状況によってはクイック設定ツールが自動的に追加される場合があります。
- 通知パネルを下にドラッグしたり、ロック画面でステータスバーを下にドラッグしたりしても、クイック設定パネルを表示できます。
- 操作の状況によってはクイック設定ツールの下に音楽などの操作パネルが表示され、再生／一時停止や音声出力先の切り替えなどができます。
- クイック設定パネルを閉じるには、クイック設定パネルを上にドラッグします。

タスクマネージャ

最近使用したアプリをサムネイル表示して、アプリの確認や起動、切り替え、終了ができます。

1 □をタップ
- アプリがサムネイル表示されます。
- 左右にスワイプ（フリック）すると、サムネイルを切り替えることができます。

❖お知らせ
- サムネイルをタップすると、アプリの起動や切り替えができます。ただし、表示されているサムネイルによっては、アプリを起動できない場合があります。
- サムネイルを上にスワイプ（フリック）するとサムネイルが削除され、アプリを終了できます。左端のサムネイルを右にスワイプ（フリック）▶［すべてクリア］をタップすると、すべてのサムネイルを削除できます。
- 「画面のピン留め」（P.179）をオンに設定している場合は、サムネイルの上部に表示されるアイコンをタップ▶［画面のピン留め］▶［OK］をタップすると、画面が固定されて表示中のアプリ以外は使用できなくなります。ピン留めを解除するには画面の指示に従って操作してください。
- ［スクリーンショット］をタップすると、表示中のサムネイルの画面を撮影できます。

分割画面

画面を分割し、2つのアプリを同時に表示して操作できます。

- 表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。
- ご使用のアプリによっては、分割画面で利用できない場合があります。

1 □をタップ

- アプリがサムネイル表示されます。

2 サムネイルの上部に表示されるアイコンをタップ▶［分割画面］

- 分割画面で利用できないアプリの場合、「分割画面」は表示されません。

3 画面下側から表示するアプリのサムネイルをタップ

- 分割画面で利用できないアプリを選択した場合は、マルチウィンドウ（分割画面）を終了して起動するかどうかの確認画面が表示されます。
- 表示するアプリがサムネイル表示されていない場合は、●をタップして表示するアプリを起動してください。ただし、分割画面で利用できないアプリを起動した場合は、起動したアプリが通常の画面で表示されます。

❖お知らせ

- 分割画面のアプリは、縦画面表示では上下、横画面表示では左右に分割して表示されます。
- 分割画面の中央に表示される仕切り線の▬を上下（横画面の場合は左右）にドラッグすると、アプリの表示範囲を変更できます。
- ▬を画面上端または下端（横画面表示の場合は左端または右端）までドラッグすると、分割画面を終了できます。
- ホームアプリがXperiaホームの場合は、ホーム画面のアプリアイコンショートカットまたはアプリ画面のアプリアイコンをロングタッチし、ショートカットメニューの［分割画面］または⊟をタップしても、分割画面を起動できます。

アプリを切り替える（マルチウィンドウスイッチ）

1 分割画面で仕切り線の▬をタップ

- 仕切り線の上に⊖が表示されます。
- 仕切り線の上で⊖を左右（横画面表示の場合は上下）にドラッグすると、表示位置を変更できます。

2 ⊖をタップ

- 画面の上下（横画面の場合は左右）にアプリがサムネイル表示されます。

3 切り替えるアプリのサムネイルまたはアプリ名を表示

- サムネイルを左／右（横画面の場合は上／下）にスワイプ（フリック）し、切り替えるアプリのサムネイルまたはアプリ名を表示します。
- サムネイルの並びの左端／右端（横画面の場合は上端／下端）に表示される［すべてのアプリ］▶アプリをタップしても、切り替えるアプリを表示できます。

4 ［確定］

❖お知らせ

- 手順3で画面下部（横画面の場合は左側／右側）に表示されるアプリのペア（組み合わせ）をタップしても、アプリを切り替えられます。
- 分割画面でをタップし、アプリのサムネイルを選択するか、▶表示するアプリを起動すると、後から表示したアプリを切り替えられます。

スグアプ

スマホを振るなどの直感操作で、スグにアプリの起動や電話の操作ができる「スグアプ」の設定を行います。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ドコモのサービス／クラウド］▶［スグアプ設定］

- 説明画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

1回振り	本端末を1回振ることで起動するアプリを設定できます。
アイコン同時表示（1回振り）	1回振り機能を使用時に同時に画面上に表示するアプリを設定できます。
2回振り	本端末を2回振ることで起動するアプリを設定できます。
アイコン同時表示（2回振り）	2回振り機能を使用時に同時に画面上に表示するアプリを設定できます。
スグアプ動作抑止	スグアプによるアプリ起動を抑止するアプリを設定できます。
スグ電設定	モーションおよび音声キーワードだけで行う電話の操作（応答、ミュート、切断、発信、消音、拒否）を設定できます（P.70）。

❖お知らせ

- 次の場合は、スグアプが正しく動作しません。
  - 通話中にさらに発信または着信を行う場合
  - 寝ている体勢の場合

- 走る、階段の上り下りをするなどの激しい運動をしている場合

- 初期状態の「1回振り」には「d払い」アプリが設定されています。
- 画面を消灯中、ロック画面を表示中、および通話中は、スグアプの機能を利用できません。
- 画面を点灯したままかばんやポケットに入れると、まれにモーションが実行されたとみなされ、アプリが起動することがあります。
- スグアプの機能が利用可能な状態であるときに、通知アイコンを表示しています。通知パネル内から通知詳細情報を確認することができます。
- 「スグアプ」と「スグ電（発信）」は片方の機能しか利用できません。
- スグアプの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 1回振り、2回振りに設定したアプリによってはアイコン同時表示が利用できない場合があります。

スグ電設定

モーションおよび音声キーワードで電話の操作ができる「スグ電」の設定を行います。

1 ホーム画面で▶ ⋮ をタップ

2 [設定] ▶ [通話] ▶ [スグ電設定]

- ホーム画面で▶［設定］▶［ドコモのサービス／クラウド］▶［スグアプ設定］▶［スグ電設定］をタップしても操作できます。

応答	本端末を耳に当てることで応答できます。
ミュート（保留）	通話中にミュート（保留）キーワードを含んだ言葉を発した後に本端末を耳から離すことで送話口／マイクをオフ（ミュート）にできます。
切断（モーション／音声）	モーションまたは音声で電話を切ることができます。 「モーション」をオンにすると、通話中に画面を下向きにして本端末を水平に置く、または本端末を2回振ることで電話を切ることができます。 「音声」をオンにすると、通話中に切断キーワードを発した後に本端末を耳から離すことで電話を切ることができます。
発信	ホーム画面で本端末を1回振ってから耳に当てることで、あらかじめ登録した相手に発信できます。
消音・拒否	着信中に画面を下向きにして本端末を水平に置く、または本端末を2回振ることで、着信音を消すか、応答拒否ができます。「消音」「拒否」「拒否してSMS送信」から選択して設定できます。
ローミング時スグ電無効	海外渡航時にスグ電機能を自動的にオフにできます。

スグ電利用時のご注意

- 次の場合は、スグ電が正しく動作しません。
  - スピーカーフォン利用時
  - イヤホンやヘッドセット利用時

- 通話機能を持つBluetooth機器と接続中の場合（ミュート（保留）、切断（音声）、発信（モーション））
- 通話中にさらに発信または着信を行う場合
- 寝ている体勢の場合
- 走る、階段の上り下りをするなどの激しい運動をしている場合
- ブックタイプのスマートフォンケースなどでディスプレイを覆っている場合

• 着信中に着信画面のままでかばんやポケットに入れると、まれにモーションが実行されたとみなされ、応答または拒否されることがあります。
• 近接センサーは黒いものに反応しにくい特性があります。
応答をする際に、髪の毛の上から受話口／スピーカーを当てていると近接センサーが正常に動作しにくいため、電話に応答できないことがあります。その場合は、耳に直接受話口／スピーカーを当ててください。
また、切断（モーション）／消音・拒否をする際に、黒い机などの上で本端末を裏返すと反応しない（切断（モーション）／消音・拒否できない）ことがあります。その場合は直接置かず、机などから1cm程度浮かせるように本端末を裏返すと反応（切断（モーション）／消音・拒否）します。
• スグ電の機能が利用可能な状態であるときに、通知アイコンを表示しています。通知パネル内から通知詳細情報を確認することができます。
• スグ電の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

スグ電の各機能について

● 切断（モーション）について

• モーションが実行されると、次の場合でも通話が切断されます。
- 相手が保留中の場合
- 伝言メモ起動中の場合（応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中）

• スグ電のモーションで切断する際に、本端末を下向きに置く動作が速いと反応しない（切断できない）ことがあります。その場合は、動作をゆっくり行うと反応（切断）します。
•「切断」がオンの場合、通話中に本端末を1回でも強く振ると、モーションが実行されたとみなされ通話が切断されることがあります。

● 切断（音声）について

• 切断キーワードを発すると、次の場合でも通話が切断されます。
- 相手が保留中の場合
- 相手が伝言メモ起動中の場合（応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中）

● ミュート（保留）・切断（音声）について

- ミュート（保留）または切断（音声）がオンの状態で通話しているときは、送話口／マイクを利用する他のアプリや通話中の音声を利用する通話録音などのアプリは使用できない場合があります。通話中にこれらのアプリを使用する場合は、ミュート（保留）と切断（音声）の両方をオフにしてから通話を開始してください。
- 伝言メモの起動中（応答メッセージの再生中／伝言メモの録音中）は、ミュート（保留）や切断（音声）ができません。伝言メモの録音中に電話に出た場合には、ミュート（保留）や切断（音声）が可能になります。
- 「はなして翻訳」を利用した通話の場合は、切断（音声）はできません。
- スグ電の音声機能には音声認識技術や言語処理技術を用いていますが、当社はそれらの技術の精度などについて何らの保証をするものではありません。
- 通話時に声量が小さすぎたり、騒音下で通話したりした場合、または発話のしかたによっては、音声認識ができない場合があります。

● 発信について

- スグ電での発信は、ホーム画面またはロック画面（「画面のロック」（P.179）が「スワイプ」の場合のみ）から発信できます。
- 「スグアプ」と「スグ電（発信）」は片方の機能しか利用できません。

● 消音・拒否について

「消音・拒否」の設定がオンの場合、着信中に本端末を1回でも強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、「消音・拒否」で設定している機能が実行されることがあります。

● ローミング時スグ電無効について

初期状態では、海外ではスグ電が自動で無効になります。海外でスグ電をご使用の場合はスグ電設定より「ローミング時スグ電無効」をオフにしてからお使いください。

片手モード

本端末を片手で操作しやすくするために、画面を縮小表示できます。

- で片手モードを起動するには、あらかじめホーム画面で▶［設定］▶［画面設定］▶［詳細設定］▶［片手モード］▶をタップしてください。

1 をダブルタップ

❖お知らせ

- 画面上部の［ホームボタンの設定］をタップすると、設定メニューの「片手モード」が表示されます（P.171）。
- 縮小画面の上部に表示されるを上下にドラッグすると、縮小画面を縦方向に移動できます。
- 縮小画面の左／右に表示される／をタップすると、縮小画面を左寄せ／右寄せに変更できます。
- 縮小画面の左上（右寄せの場合）に表示されるを、または右上（左寄せの場合）に表示されるを斜め方向にドラッグすると、縮小画面のサイズを変更できます。
- 片手モードを終了するには、縮小画面の外側をタップするか、をダブルタップします。
- 画面が消灯したときや、横画面表示に切り替わったときなど、操作状況によっては片手モードが自動的に終了する場合があります。
- サイドセンスメニュー（P.49）の［片手モード］をタップしても操作できます。

本端末内やウェブサイトの情報を検索する

検索ボックスに文字を入力すると、本端末内やウェブ上の情報を検索できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットをタップ

2 検索するキーワードを入力

- 文字入力について（P.56）
- 検索候補が一覧表示されます。

3 検索候補またはソフトウェアキーボードのをタップ

❖お知らせ

- ホーム画面で［Google］▶［Google］をタップしても「Google」アプリを起動できます。
- 検索候補にアプリが表示された場合は、選択するとアプリが起動します。
- 検索結果画面などで［その他］▶［設定］をタップすると検索の設定などができます。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットのをタップ

2 送話口／マイクに向かって検索するキーワードを話す

ホーム画面

ホームアプリの切り替えかた

本端末ではホームアプリを「docomo LIVE UX」「Xperiaホーム」「かんたんホーム」に切り替えられます。

- 「docomo LIVE UX」について（P.74）
- 「Xperiaホーム」について（P.81）
- 「かんたんホーム」について（P.84）

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アプリと通知］▶［詳細設定］

2 ［標準のアプリ］▶［ホームアプリ］

3 ［かんたんホーム］／［docomo LIVE UX］／［Xperiaホーム］のいずれかをタップ

- 「かんたんホーム」を選択した場合は、内容を確認して［OK］をタップします。

❖お知らせ

- ホームアプリを切り替えると、ホーム画面のレイアウトなどによっては、画面上のウィジェットやアプリアイコンショートカットなどが正しく表示されない場合があります。

docomo LIVE UX

ドコモが提供するホームアプリです。ホーム画面を直感的にカスタマイズすることができます。

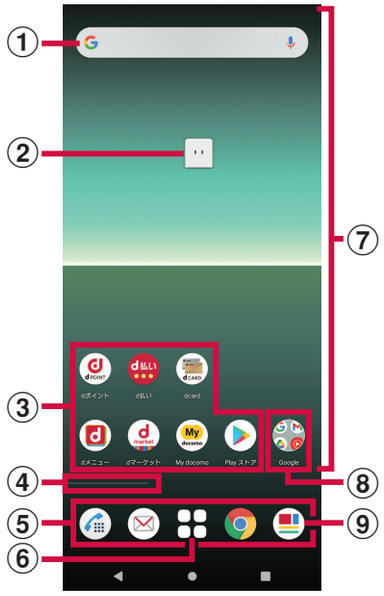
docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で▶⋮▶［ヘルプ］をタップしてヘルプを参照するか、以下のホームページをご覧ください。

https://www.docomo.ne.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。すべてのアプリはアプリ一覧画面に格納されており、アプリアイコンショートカットがホーム画面に配置されます。

- ホーム画面を左右にスワイプ（フリック）するとページを切り替えられます。
- アプリの通知があるとき、アイコンやフォルダの右上にドット（点）または数字が表示される場合があります。



① ウィジェット
- ウィジェット（Google検索）を起動できます。
- ウィジェットをロングタッチしてショートカットメニューが表示された場合は、特定の操作を実行できます。

② マチキャラ
- タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。

③ アプリアイコンショートカット
- タップすると、アプリを起動できます。
- ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。═が表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

④ インジケーター
- ホーム画面の現在の表示位置を示します。
- ホーム画面を左右にスワイプ（フリック）したときのみ表示されます。

⑤ ドック
- ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

⑥ アプリ一覧ボタン
- すべてのアプリを表示します。アプリを検索、おすすめアプリ（P.79）も利用できます。

⑦ カスタマイズエリア
- アプリアイコンショートカット、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

⑧ フォルダ
- 複数のアプリアイコンショートカットなどが格納されています。

⑨ マイマガジン
- マイマガジンを表示します（P.79）。

❖お知らせ

- 通知パネルにアプリのアップデートやセットアップの一時停止をお知らせする通知が表示されている場合や、グレーで表示されているアプリアイコンショートカットがある場合は、アプリをダウンロードしてください（P.94）。

ホーム画面の管理

アプリアイコンショートカットなどを移動する

1 ホーム画面で移動するアプリアイコンショートカットやウィジェットなどをロングタッチ

2 移動する位置までドラッグ

- ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。

アプリアイコンショートカットを追加する

1 ホーム画面で⊞をタップ

2 ホーム画面に追加するアプリアイコンをロングタッチ

- ショートカットメニューが表示されます。

3 [ホーム画面に追加]

- ホーム画面でアプリアイコンショートカットをロングタッチし、画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。
- 同じアプリアイコンショートカットを複数貼り付けることも可能です。

アプリアイコンショートカットをホーム画面から削除する

1 ホーム画面で削除するアプリアイコンショートカットをロングタッチ

- ショートカットメニューが表示されます。

2 任意の方向に少しドラッグ▶画面上部の「削除」までドラッグ

- ホーム画面からアプリアイコンショートカットは削除されますが、アプリ自体はアンインストールされません。

ウィジェットなどを削除する

1 ホーム画面で削除するウィジェットやフォルダなどをロングタッチ

2 画面上部の「削除」までドラッグ

アプリをアンインストールする

- アンインストールする前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリによっては、アンインストールできない場合があります。

1 ホーム画面でアンインストールするアプリアイコンショートカットをロングタッチ

- ショートカットメニューが表示されます。
- フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタップしてからアンインストールするアプリアイコンショートカットをロングタッチします。

2 任意の方向に少しドラッグ▶画面上部の「アンインストール」までドラッグ

- アプリをアンインストールできない場合、「アンインストール」は表示されません。

3 [OK]

- アンインストールすると、アプリ一覧画面からもアプリアイコンが削除されます。

フォルダ名を変更する

1 ホーム画面でフォルダをタップ

2 フォルダ名または［名前の編集］をタップ

3 フォルダ名を入力

- 入力が終了したら、ソフトウェアキーボードの✓をタップします。

ホーム画面の設定をする

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ▶［ホーム設定］

通知ドット	アプリにお知らせがあるときのドット（点）のオン／オフなどができます（P.168）。
ホーム画面にアプリのアイコンを追加	新しいアプリをインストールした際に、ホーム画面に自動でアプリアイコンショートカットを貼り付けるか、アプリ一覧画面のみにアプリアイコンを表示するかを選択できます。 • 初期状態では、インストールしたアプリのショートカットはホーム画面に追加されます。
ホーム設定アイコン	ホーム画面上ののオン／オフができます。
壁紙設定	ホーム画面とロック画面の壁紙を変更できます。
マチキャラ設定	マチキャラのオン／オフやキャラ変更など、マチキャラに関する設定ができます。

おすすめアプリ設定	アプリ一覧画面に表示される「あなたにおすすめ」の表示設定ができます。
my daiz NOW表示設定	ホーム画面の一番左にあるmy daiz NOWの表示設定ができます。
マイマガジン起動設定	マイマガジンの上フリック起動のオン／オフができます。
ホームの使い方	ホーム画面のチュートリアルを確認できます。
ヘルプ	ホーム画面の詳しい使いかたを確認できます。

アプリ一覧画面

ホーム画面で⊞をタップすると表示されます。アプリ一覧画面ではアプリを使用した順やインストールした順に一覧で探したり、アプリ名でアプリを検索することができます。また、今のあなたにおすすめのアプリを厳選してみることができます。

• アプリ一覧について（P.89）



① アプリ検索バー
- タップすると文字入力でアプリを検索することができます。

② あなたにおすすめ
- おすすめアプリから、厳選したアプリやサービスを最大4つ表示します。

③ すべてのアプリ
- 本端末にインストールされているすべてのアプリが表示されます。タップするとアプリが起動します。

④ もっと見る
- おすすめアプリ一覧画面を表示します（P.79）。

⑤ プルダウン
- アプリ一覧画面上のすべてのアプリを「つかった順」「アプリ名順」「インストール順」に並べ替えができます。

おすすめアプリを利用

お客様の利用状況に合わせて、アプリやサービスをおすすめします。

1 ホーム画面で⊞をタップ

2 [おすすめアプリ]
- 初めて使用するときは利用の確認画面が表示され、[おすすめアプリを見る]をタップすると説明画面が表示されます。説明画面で［おすすめアプリ一覧へ］をタップするとおすすめアプリ一覧画面が表示され、おすすめアプリの通知もオンになります。

3 利用するアプリやサービスを選択
- アプリの紹介画面またはサービスページが表示されます。

❖お知らせ
- おすすめアプリ一覧画面で⚙▶各設定の⚪／🔴をタップすると、設定をオン／オフに切り替えることができます。
- おすすめアプリの利用規約に同意済みの場合は、ホーム画面で⊞をタップすると、おすすめアプリの抜粋版が表示されます。おすすめアプリ一覧画面を表示するには［もっと見る］をタップしてください。

マイマガジン

マイマガジンは、世の中で話題になっているニュース・記事から、お客様ひとりひとりの趣味・嗜好に沿った記事、そしてお得なクーポンや、暇つぶしに最適なマンガまでをまとめて閲覧できる、あんしん・あんぜんのニュースアプリです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。表示ジャンルやお知らせの通知、星座や天気の地域など、お好みの設定にカスタマイズすることもできます。

記事の見かた

1 ホーム画面で📰をタップ
- 初期画面が表示された場合は、［規約に同意して利用を開始］をタップします。
- ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。
- ホーム画面を上にスワイプ（フリック）しても、ジャンル別の記事一覧画面を表示できます。
- 左右にスワイプ（フリック）するとジャンルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタップ
- 記事一覧画面で記事をタップすると、その記事の詳細を読むことができます。

表示ジャンルを追加する

1 ホーム画面で をタップ

2 ≡▶［ジャンル追加］

- 表示されるジャンルの一覧から追加したいジャンルをタップすることで、記事一覧画面に追加することができます。

表示ジャンルの削除・並べ替えを行う

1 ホーム画面で をタップ

2 ≡▶［ジャンル削除・並べ替え］

- 表示されるジャンルの一覧から、ジャンルの削除・並べ替えをすることができます。

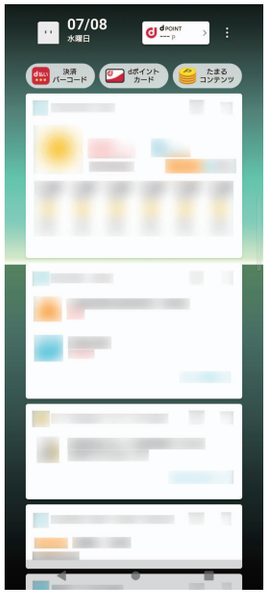
my daiz NOW

my daiz NOWは、あなたの好みや行動に合わせて便利な情報をお届けするサービスです。天気や交通情報、グルメ情報などの生活に便利な情報が簡単にチェックできます。

my daiz NOWを表示する

1 ホーム画面の左端のページで右にスワイプ（フリック）

- 上下にスワイプ（フリック）すると、表示するカードを切り替えられます。
- 左にスワイプ（フリック）すると、ホーム画面に戻ります。
- 利用の確認画面が表示された場合は、［my daizを使ってみる］をタップし、画面の指示に従って操作してください。



2 読みたいカードをタップ

- カードをタップすると、詳細な情報を確認できます。
- 画面左上に表示されるmy daiz（キャラクター）をタップすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

表示を設定する

my daiz NOWの表示／非表示を設定できます。

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ▶［ホーム設定］

2 「my daiz NOW表示設定」のをタップ

- my daiz NOWが表示されなくなります。
- 「my daiz NOW表示設定」のをタップすると、再表示できます。

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

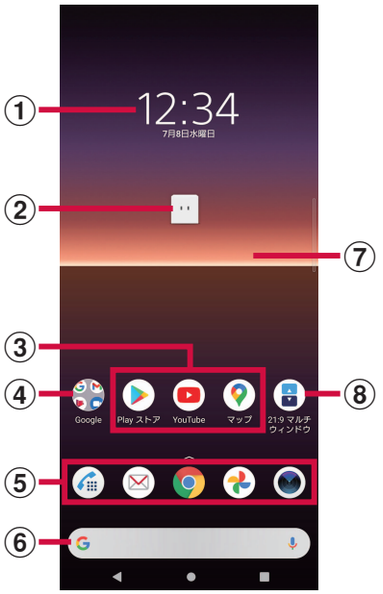
1 ホーム画面で▶⋮をタップ

2 ［アプリ情報］

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合は、アプリケーション情報画面に「今すぐアップデート」が表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

Xperiaホーム画面

ホームアプリを「Xperiaホーム」に設定した場合のホーム画面について説明します。



① ウィジェット：時計ウィジェット

② マチキャラ
- タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。

③ アプリアイコンショートカット
- ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。═が表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

④ フォルダ
- 複数のアプリアイコンショートカットなどが格納されています。

⑤ ドック
- アプリアイコンショートカットやフォルダなどを配置でき、ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

⑥ ウィジェット：Google検索
⑦ 壁紙
⑧ ウィジェット：21：9マルチウィンドウ
- タップするとマルチウィンドウメニューを表示できます（P.50）。

❖お知らせ
- ホーム画面を上にスワイプ（フリック）すると、アプリ画面を表示できます。
- ホーム画面でドックより上の部分を左右にスワイプ（フリック）するとページが切り替わり、ドックの上に現在の表示位置を示すインジケーターが表示されます。
- アプリアイコンショートカットなどをロングタッチして画面の左端／右端までドラッグすると、隣のページに移動できます。また、右端のページの画面右端までドラッグすると、ホーム画面のページを追加できます。
- ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチすると、ウィジェットの追加や壁紙の変更などの操作ができます。
- ホーム画面を下にスワイプ（フリック）すると、通知パネルを表示できます。
- 通知パネルにアプリのアップデートやセットアップの一時停止をお知らせする通知が表示されている場合や、グレーで表示されているアプリアイコンショートカットがある場合は、アプリをダウンロードしてください（P.94）。
- アプリの通知があるとき、アプリアイコンショートカットやフォルダにドット（点）または数字が表示される場合があります。

ホーム画面にフォルダを追加する

ホーム画面に追加したアプリアイコンショートカットなどをフォルダに格納して整理できます。

1 ホーム画面でアイコンをロングタッチ▶別のアイコンの上までドラッグ

❖お知らせ
- フォルダにアイコンを格納するには、ホーム画面で格納するアイコンをロングタッチ▶フォルダの上までドラッグします。
- フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ▶フォルダ名または［名前の編集］をタップします。
- フォルダを削除するには、ホーム画面で削除するフォルダをロングタッチ▶画面上部の「削除」までドラッグします。フォルダ内のアプリアイコンショートカットなども削除されます。

ホーム画面にウィジェットを追加する

ウィジェットとは、ホーム画面に追加して利用するアプリのことです。ウィジェットを利用して簡単にアプリを起動できます。

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ

2 [ウィジェット]▶追加するウィジェットをロングタッチ

- ホーム画面が表示されたら、任意の場所までドラッグします。
- 設定画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- ホーム画面に追加したウィジェットをロングタッチしたときに枠が表示された場合は、枠をドラッグして表示サイズを変更できます。
- ウィジェットを削除するには、ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ▶画面上部の「削除」までドラッグします。

壁紙を変更する

ホーム画面やロック画面の壁紙を変更できます。

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ

2 [壁紙]

3 壁紙に設定する画像をタップ

- 画像の左端の［マイフォト］をタップした場合は、画像を選択し、画面の指示に従って操作してください。

4 画面の指示に従って壁紙を設定

ホーム画面の設定を行う

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ

2 [ホームの設定]

Google™アプリを表示	ホーム画面に「Google」アプリの画面を表示するかどうかを設定します。1枚目のページを右にスワイプ（フリック）すると表示できます。
通知ドット	P.168
ホーム画面にアプリのアイコンを追加	アプリをインストールしたとき、アプリアイコンショートカットをホーム画面に追加するかどうかを設定します。
ホーム画面の回転を許可	ホーム画面やアプリ画面の回転を許可するかどうかを設定します。
クイック検索ボックスを表示	ホーム画面にGoogle検索ウィジェットを表示するかどうかを設定します。

かんたんホーム画面

ホームアプリを「かんたんホーム」に設定した場合のホーム画面について説明します。かんたんホームに設定すると、基本的な機能に限定したホーム画面や設定メニューを利用できます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アプリと通知］▶［詳細設定］

2 ［標準のアプリ］▶［ホームアプリ］▶［かんたんホーム］

3 ［OK］

- 文字サイズを「最大」にする場合は、「フォントサイズを「最大」にする」にチェックを入れます。

■ かんたんホーム画面のアプリ



① マチキャラ
- タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。

② アプリアイコン
- タップすると、アプリを起動できます。

③ Google検索

④ その他アプリ
- かんたんホーム画面に表示されていないアプリが一覧で表示されます。

⑤ 短縮
- 短縮機能を利用します（P.85）。

❖お知らせ

- 標準のホーム画面に切り替えるには、かんたんホーム画面で［設定］▶［ホーム切替］▶［OK］▶［docomo LIVE UX］／［Xperiaホーム］をタップします。
- アプリの通知があるとき、アプリアイコンやフォルダなどにドット（点）または数字が表示される場合があります。

短縮機能を利用する

頻繁に使用する連絡先を「短縮1」～「短縮3」に登録しておくと、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

連絡先を登録する

頻繁に使用する連絡先を、あらかじめ「ドコモ電話帳」アプリに登録してください。

1 かんたんホーム画面で［短縮1］／［短縮2］／［短縮3］のいずれかをタップ▶［OK］

2 登録する連絡先を選択

- 「短縮1」／「短縮2」／「短縮3」の表示が、登録した連絡先の名前に変更されます。

❖お知らせ

- 短縮に登録した連絡先を変更／削除／編集する場合は、かんたんホーム画面で短縮の連絡先を選択▶［メニュー］▶［登録先を変更］／［登録先を解除］／［登録先を編集］のいずれかをタップします。

電話をかける

1 かんたんホーム画面で短縮の連絡先を選択▶［電話をかける］

- 通話中の操作について（P.100）

＋メッセージ／メールを送信する

1 かんたんホーム画面で短縮の連絡先を選択▶［メッセージを送る］／［メールを送る］

- ＋メッセージの送信方法について（P.112）
- Gmailの送信方法について（P.116）

かんたん設定を利用する

1 かんたんホーム画面で［設定］

電話番号		自分の電話番号が表示されます。
画面設定	**画面の明るさ**	画面の明るさを調節します。
	明るさの自動調節	「画面の明るさ」の設定を基準に、周囲の明るさなどに応じて自動で画面の明るさを調節します。
	画面の自動回転	本端末の向きに合わせて、縦／横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定します。
	フォントサイズ	文字サイズを設定します。
	消灯時間変更	画面が消灯するまでの時間を設定します。
	ロック画面設定	画面ロックの解除方法や指紋を設定します。

音設定	**マナーモード切替**	マナーモードを設定します。
	着信音変更	着信音を設定します。
	操作時バイブレーション	キーアイコンをタップしたときなどに、本端末を振動させるかどうかを設定します。
	タッチ操作音	メニューを選択したときなどに音を鳴らすかどうかを設定します。
	着信時のバイブレーション	着信中に本端末を振動させるかどうかを設定します。
ホームカスタマイズ		P.86
詳細設定		標準のホーム画面で表示される設定メニューを表示します（P.152）。
ホーム切替		標準のホーム画面に切り替えます。

かんたんホーム画面のアプリを変更する

1 かんたんホーム画面で［設定］▶［ホームカスタマイズ］

2 ［アプリの変更］／［アプリの並べ替え］

3 変更するアプリを選択▶新しく表示するアプリを選択／移動先を選択

- 「アプリの変更」を選択した場合、「設定」と「その他アプリ」は変更できません。

4 ［OK］

❖お知らせ

- 手順2で［初期化］▶［OK］をタップすると、初期状態に戻ります。ただし、短縮に登録した連絡先は初期化されません。

アプリ画面

ホームアプリを「Xperiaホーム」に設定すると、すべてのアプリはアプリ画面に表示されます。

- ホームアプリの切り替えかたについて（P.74）

1 ホーム画面を上にスワイプ（フリック）



① 検索バー
- アプリを検索できます。

② アプリアイコン一覧
- アプリアイコンをロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。
  ═が表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

③ メニュー
- アプリアイコンの並び順を設定したり、アプリ画面を編集したりできます。

④ マチキャラ
- タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。

❖お知らせ

- アプリの通知があるとき、アプリアイコンやフォルダにドット（点）または数字が表示される場合があります。

アプリをホーム画面に追加する

アプリのショートカットをホーム画面に追加できます。

1 アプリ画面で追加するアプリアイコンをロングタッチ

- ショートカットメニューが表示されます。
- フォルダ内のアプリを追加する場合は、フォルダをタップしてから追加するアプリアイコンをロングタッチします。

2 任意の方向に少しドラッグ

- ホーム画面が表示されたら、任意の場所までドラッグします。

❖お知らせ

- アプリ画面でフォルダをロングタッチすると、アプリアイコンショートカットをフォルダごと追加できます。
- アプリアイコンショートカットを削除するには、ホーム画面で削除するアプリアイコンショートカットをロングタッチ▶任意の方向に少しドラッグ▶画面上部の「削除」までドラッグします。画面上部に「アンインストール」が表示された場合は、「アンインストール」までドラッグするとアプリをアンインストールできます。

アプリをアンインストールする

- アンインストールする前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリによっては、アンインストールできない場合があります。

1 アプリ画面でアンインストールするアプリアイコンをロングタッチ

- ショートカットメニューが表示されます。
- フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタップしてからアンインストールするアプリアイコンをロングタッチします。

2 [アプリ情報]

- アプリ情報画面が表示されます。
- 「アプリ情報」が表示されない場合はⓘをタップします。

3 [アンインストール]

- アプリをアンインストールできない場合、「アンインストール」は表示されません。「無効にする」と表示された場合は、アプリを無効化（P.167）することができます。

4 [OK]

アプリ画面を編集する

メニュー（P.87）でアプリアイコンの並び順を「カスタム」に設定している場合は、アプリアイコンを任意の場所に並べ替えたり、フォルダに格納して整理したりできます。

1 アプリ画面で⋮▶[カスタマイズ]

- カスタマイズ画面が表示されます。

2 アプリアイコンをロングタッチ

3 任意の場所までドラッグ

- フォルダの上までドラッグすると、アプリアイコンをフォルダに格納できます。
- 別のアプリアイコンの上までドラッグすると、フォルダを追加できます。

❖お知らせ

- カスタマイズ画面を閉じるには、▶［終了］をタップするか、をタップします。
- フォルダ内のアプリアイコンをフォルダから出すには、フォルダをタップ▶アプリアイコンをロングタッチ▶アプリアイコンを置く場所までドラッグします。
- フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ▶フォルダ名または［名前の編集］をタップします。アプリ画面で同じ操作を行っても、フォルダ名を変更できます。

アプリ一覧

インストールされているアプリは次のとおりです。ここでは、ホームアプリを「docomo LIVE UX」に設定した場合で説明します。

- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。
- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- ホームアプリや使用状況により、アプリアイコンのデザインが異なる場合があります。
- 初期設定時の状況などにより、搭載されるアプリやアプリの配置が異なる場合があります。

あんしんセキュリティ

無料で使えるウイルス対策機能に加え、危険サイト、危険Wi-Fi、迷惑電話などのセキュリティ対策や、ダークウェブモニタリングをご利用いただけるアプリです。

遠隔サポート

「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→P.224

おサイフケータイ
複数の登録済みおサイフケータイ対応サービスを、一覧で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます。→P.138

カメラ
写真や動画を撮影できます。→P.123

カレンダー
予定やリマインダーなどを登録して管理できます。

災害用キット
「災害用伝言板」や緊急速報「エリアメール」(P.117)「どこでも災害・避難情報」「復旧エリアマップ」をご利用いただくためのアプリです。

スケジュール
スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。→P.146

スプレッドシート
スプレッドシートの作成・編集・共有や、Excelファイルの表示・編集・保存ができます。

スライド
プレゼンテーションの作成・編集・共有や、PowerPointファイルの表示・編集・保存ができます。

設定
本端末の各種設定ができます。→P.152

地図アプリ
車・徒歩・電車など複数の移動手段に合わせてお出かけをトータルにサポートするアプリです。ナビゲーション機能など一部機能のご利用にあたっては別途有料サービスへのお申し込みが必要です。

データコピー
機種変更時のデータ移行や、microSDカードへのバックアップ・復元ができるアプリです。→P.149

データ保管BOX
データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。

電卓
四則演算をはじめ、いろいろな計算ができます。

電話
電話の利用や通話履歴の確認、電話の各種設定ができるアプリです。→P.95

ドキュメント
ドキュメントの作成・編集・共有や、Wordファイルの表示・編集・保存ができます。

時計
アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチ、おやすみ時間を利用できます。→P.147

ドコモ電話帳
ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。→P.105

ドコモメール
ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。→P.110

ドライブ
Googleドライブに保存したファイルを閲覧・管理・共有できます。

取扱説明書
本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
※「はじめに」の「取扱説明書について」をご参照ください。

ニュース
最新のニュースやお好みの情報をまとめて閲覧できます。

はなして翻訳
お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。対面翻訳・電話翻訳・うつして翻訳・定型文機能を利用し言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。

フォト
写真や動画を再生できます。Googleアカウントにバックアップすることもできます。→P.135

マイマガジン
マイマガジンは、日々新しい情報や驚きに触れあえる、あんしん・あんぜんの無料ニュースアプリです。→P.79

マクドナルド
マクドナルドの公式アプリです。店舗検索で近くのマクドナルドを探したり、店舗で使えるお得なクーポンや最新情報を取得することができます。またdアカウントなどでログインすると、ワンタッチでポイントを貯めたり、使うことができます。

マップ
現在地の表示、他の場所の検索や経路の検索などGoogleマップのサービスを利用できます。→P.144

ミュージック
音楽を再生できます。→P.142

メモ
メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。

レンズ
カメラの被写体（テキスト情報や商品など）を解析し、関連する情報をリアルタイムに表示します。

ローソン
ローソンの公式アプリです。ケータイが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。

Amazonショッピング
Amazonでよりお得に、より便利にオンラインショッピングをご利用いただける公式アプリです。

Chrome
Chromeでウェブサイトを閲覧できます。→P.119

d払い
ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」を利用するためのアプリです。対象の街のお店で、アプリに表示されたバーコードを提示するだけで、簡単・便利・おトクにお買い物をすることができます。

dフォト
スマホやパソコンにある写真・動画を「無料で5GBまで」ドコモのクラウドにお預かりするサービスです。撮影した写真をフォトブックにする「プリントサービス機能」のご利用には、別途お申し込みとdフォト プリントアプリのインストールが必要です。

dポイント
dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。

dマーケット
音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトなどさまざまなサービスを提供しています。→P.136

dメニュー
「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。→P.136

dcard
dカードのご利用明細、たまったdポイント、おトクな情報のエントリーを簡単に確認できるアプリです。また、ドコモが提供する電子マネー「iD」の設定ができます。

Disney DX
Disney DX（ディズニー DX）は、お得な特典や、ディズニープラスをもっと楽しむための豊富なコンテンツがお楽しみいただけるアプリです。
ドコモからディズニープラスに入会いただくことですべての機能のご利用が可能です。

Duo
ビデオ通話ができるアプリです。

Facebook
Facebookは、友達や家族、同僚や同級生たちとのつながりを深めたり、今世界で何が起こっているかを知ることができます。

Files
静止画や動画、音楽などのデータや、ダウンロードしたファイルを探すことができます。

FMラジオ
FMラジオを聴くことができます。
※FMラジオのご利用には、ヘッドセット（別売品）をヘッドセット接続端子に接続する必要があります。

Gmail
Googleや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。→P.116

Google
キーワードから本端末内やウェブサイトを対象に検索できます。→P.73

Google Pay
電子マネーやポイントカードをまとめて管理できるアプリです。

Google TV※1
Google Playで映画などをレンタル・購入できます。

iDアプリ
ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。→P.141

Imaging Edge
ソニーのカメラから静止画・動画を転送したり、カメラのリモート撮影や撮影画像への位置情報の付与ができます。

Kindle
Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。

LinkedIn
あなたのビジネスを支援する機能が多数搭載されたSNSアプリです。

my daiz
話しかけるだけで簡単に情報検索を行ったり、あなたに必要な情報を最適なタイミングでお届けするサービスです。
天気や乗換えの他に、レシピ検索や宅配調整などの提携サービスを追加でき、便利にご利用いただくことができます。

My docomo
お客さまのご利用データ量・ご利用料金・dポイントなどの確認や各種お手続き・お申し込みがオンラインで行えます。

Playストア
Google Playからアプリやゲームなどをダウンロード・購入できます。→P.137

PS App
PlayStation®Storeで最新のゲーム情報を確認したり、ゲーム仲間などと情報交換をしたりできるアプリです。

Reader by Sony
ソニーの本屋「Reader Store」で購入した電子書籍を読むことができるアプリです。

TikTok
TikTokはショート音楽動画コミュニティです。他の人とコミュニケーションをとったり、音楽動画の撮影、投稿ができます。

Video & TV SideView
動画を再生できます。また、テレビ番組表を見たり、本端末をソニー製テレビなどのリモコンとして利用したりできます。

Xperiaガイド
Xperia使いこなしガイドを表示して、機能の説明や使いかたなどを確認できます。

Xperiaカバー
Xperiaカバーストアで専用カバーの製品情報などを確認したり、お気に入りのカバーを購入したりできます。

Xperia Lounge Japan
ソニーの製品やキャンペーン情報などを紹介するアプリです。

YouTube
YouTubeで動画を再生できます。

YT Music
YouTube Musicで音楽やミュージックビデオを再生できます。

＋メッセージ
携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます。→P.110

※1 使用状況によっては「Google Play ムービー＆TV」が表示される場合があります。アプリを起動してGoogle TVの紹介画面が表示されると、アプリ名とアイコンが自動的に変更されます。ただし、利用状況によっては、Google TVの紹介画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。

❖お知らせ
- 通知パネルにアプリのアップデートやセットアップの一時停止をお知らせする通知が表示されている場合や、グレーで表示されているアプリアイコンがある場合は、アプリのダウンロードが完了していません。以下の方法でダウンロードできます。
  - Wi-Fiに接続する（ダウンロードが自動的に開始されます）
  - ステータスバーを下にドラッグ▶アプリのアップデートをお知らせする通知をタップ▶画面の指示に従ってWi-Fiなどの設定を行う
  - モバイルネットワークでダウンロードする場合は、ステータスバーを下にドラッグ▶セットアップの一時停止をお知らせする通知を開く（P.65）▶［データを使用］をタップする
  - モバイルネットワークでアプリを個別にダウンロードする場合は、グレーで表示されているアプリアイコンをタップ▶画面の指示に従って操作する
- プリインストールされている一部のアプリはアンインストールできます。また、アンインストールしたアプリは、「Playストア」（P.137）などから再度ダウンロードできる場合があります。
- アプリによっては、ダウンロード・インストールが必要になるものがあります。
- 複数のアプリを起動していると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。使用しないアプリはタスクマネージャを利用して終了することをおすすめします（P.67）。

電話をかける／受ける

電話をかける

1 ホーム画面で▶をタップ

2 電話番号を入力▶をタップ

- をタップすると、番号を削除できます。

3 通話が終了したらをタップ

❖お知らせ

- 手順2で電話番号が未入力の状態でをタップすると、発信履歴の最新の電話番号が入力されます。
- 手順2で電話番号を入力すると画面上部にメニューが表示され、新しい連絡先の作成やメッセージの送信などができます。入力した番号と一致する連絡先が表示された場合は、タップして発信できます。
- VoLTEは、音声通話を高品質でご利用いただけます。
  VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
  - VoLTE対応機種どうしであること
  - VoLTEが利用できるエリアであること
  - モバイルネットワーク設定の「優先ネットワークの種類」（P.204）が「4G/3G/GSM」または「4G/3G」に設定され、「4G回線による通話」（P.204）がオンに設定されていること
- ドコモのLTEサービスエリアでは、「4G回線による通話」がオフの場合、データ通信も一時的に3Gとなる場合があります。
- 「4G回線による通話」をオフからオンに変更しても、直ちに音声通信およびデータ通信が3GからLTEに切り替えできない場合があります。
- VoLTE（HD+）は、通話の音声がVoLTEよりさらに高音質でご利用いただけます。
  VoLTE（HD+）のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて自分と相手がVoLTE（HD+）対応機種である必要があります。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

❖注意

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番の緊急通報を発信した場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
  ただし、お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルした場合など、通話ごとに非通知で発信した場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番に発信した際には、携帯電話からかけていることと、警察機関などの緊急通報受理機関側から確認などの電話をする場合があるため電話番号と明確な現在地を伝えてください。また、途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

❖お知らせ

- 日本国内では、ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 画面ロックの解除方法を入力する画面で［緊急通報］をタップして、緊急通報をかけることができます。
- 着信拒否設定がオンの状態でも、緊急通報を発信すると緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は無効になります。
  着信拒否設定を有効にするには、ホーム画面で▶ ⋮ ▶［設定］▶［通話］▶［着信拒否設定］▶［再度有効にする］をタップします。
  この操作を行うまで、着信拒否設定は無効のままです。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

ポーズ（,）（;）を入力して発信する

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を入力する必要があるサービスを利用する場合は、あらかじめ電話番号のほかに追加する番号を入力して発信できます。

■ 2秒間の停止（,）を利用する

電話がつながると、追加した番号が約2秒後に自動的に送信されます。

1 **ホーム画面で▶をタップ**

2 **電話番号を入力▶⋮▶［2秒間の停止を追加］▶追加する番号を入力▶をタップ**

3 **通話が終了したらをタップ**

■ 待機（;）を利用する

電話がつながったら自動的に待機し、追加した番号を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

1 **ホーム画面で▶をタップ**

2 **電話番号を入力▶⋮▶［待機を追加］▶追加する番号を入力▶をタップ**

3 **確認画面で［はい］**

4 **通話が終了したらをタップ**

国際電話をかける（WORLD CALL）

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。
WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 **ホーム画面で▶をタップ**

2 **＋（［0］をロングタッチ）▶国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力▶をタップ**

3 **通話が終了したらをタップ**

❖お知らせ

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話を受ける

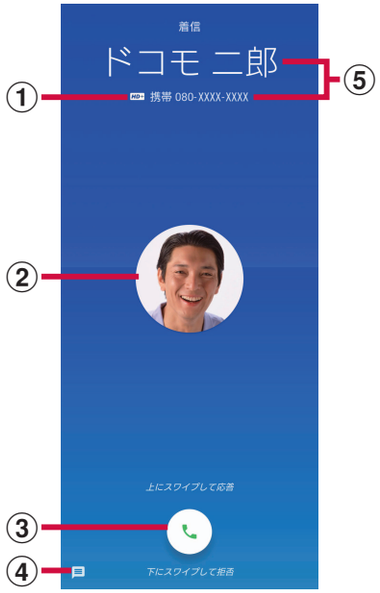
電話の着信があると、着信画面が表示されます。

- 画面の点灯中（ロック画面を除く）やアプリの起動中は、画面上部に通知が表示されます（P.99）。

1 着信画面で📞を上にスワイプ（フリック）

2 通話が終了したら📞をタップ

■ 音声通話の着信画面



① VoLTE通話の音声品質
- VoLTE（HD+）着信中にHD+（超高音質）、VoLTE（HD）着信中にHD（高音質）が表示されます。

② 連絡先に設定された写真／画像
③ 通話アイコン
- 上にスワイプ（フリック）すると応答、下にスワイプ（フリック）すると通話を拒否できます。

④ メッセージ送信（P.99）
⑤ 通話相手の名前／電話番号

❖お知らせ

- 「スグ電設定」（P.70）の「応答」がオンの場合は、電話がかかってきたときに本端末を耳に当てることで電話を受けられます。
- 「スグ電設定」（P.70）の「切断（モーション／音声）」がオンの場合は、通話中にモーションや音声で電話を切ることができます。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモを設定していなくても、手動で伝言メモを起動できます。

1 着信画面でステータスバーを下にドラッグ▶［伝言メモ］

❖お知らせ

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに📼が表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶伝言メモの通知をタップすると、伝言メモリストが表示され、録音された伝言メモを確認できます。

着信音を聞こえないようにする

1 着信時に音量キーまたは電源キーを押す

❖お知らせ

- マナーモード（バイブレーション）設定中は着信時に音量キーまたは電源キーを押すと、着信バイブレータの振動を止めることができます。
- ホーム画面などで音量キーの上または下を押し、をタップすると、着信音量や通話音量などを調節できます。

着信を拒否する

1 着信画面でを下にスワイプ（フリック）

着信を拒否してメッセージを送信する

電話に出られない場合などに、着信を拒否してメッセージを送信できます。送信するメッセージはあらかじめ登録されており、必要に応じて編集することもできます。

1 着信画面でをスワイプ（フリック）

2 送信するメッセージをタップ

- ［新規メッセージ作成］をタップすると、メッセージを作成して送信できます。

❖お知らせ

- あらかじめメッセージを編集する場合は、ホーム画面で▶ ⋮ ▶［設定］▶［通話］▶［応答拒否メッセージ］▶メッセージを選択して編集▶［OK］をタップします。

アプリ起動中に電話を受ける

画面の点灯中（ロック画面を除く）やアプリの起動中に着信があると、画面上部に通知が表示されます。

1 ［電話に出る］

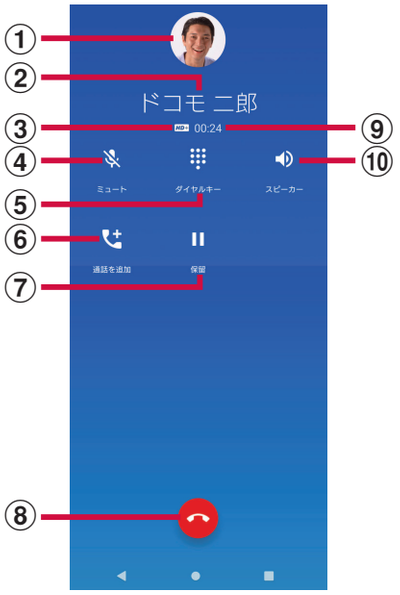
- 音声通話ができます。
- 着信を拒否する場合は［拒否］をタップします。
- 表示された通知の上部をタップすると、着信画面が表示されます。

2 通話が終了したらをタップ

通話中の操作

通話中画面で音声出力先やミュートを設定したり、電話番号を入力して別の相手に電話をかけたりすることができます。

■ 音声通話中画面



① 連絡先に設定された写真／画像
② 通話相手の名前や電話番号など
③ VoLTE通話の音声品質
- VoLTE（HD+）通話中に HD+（超高音質）、VoLTE（HD）通話中に HD（高音質）が表示されます。

④ ミュート：送話口／マイクの消音のオン／オフを設定
⑤ ダイヤルキー：通話中にプッシュ信号を送信
⑥ 通話を追加
- 音声通話を追加できます。

⑦ 保留：音声通話を保留／再開
⑧ 通話終了
⑨ 通話時間
⑩ スピーカー：スピーカーフォンのオン／オフを設定
- 通話相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。
- Bluetooth機器などと接続している場合は、タップして音声出力先を切り替えられます。

❖注意

- 聴力を損なわないために、スピーカーフォンがオンになっている状態で本端末を耳に当てないでください。

❖お知らせ

- 通話を保留／追加するには「キャッチホン」の契約が必要です（P.104）。
- 発信中／着信中／通話中／保留中は、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。ホーム画面など別の画面に切り替えても、ステータスバーを下にドラッグし、電話の通知をタップすると、通話中の画面に戻ります。

通話音量を調節する

1 通話中に音量キーの上または下を押す

通話履歴

通話履歴画面には、着信履歴や発信履歴などが時系列に一覧で表示されます。

通話履歴を表示する

1 ホーム画面で▶「通話履歴」タブをタップ

■ 通話履歴画面



① 連絡先を検索
② 電話番号／名前
- タップすると、「新しい連絡先を作成」「連絡先に追加」「メッセージを送信」「着信拒否番号設定」「通話の詳細」のメニューが表示されます。
- ロングタッチすると、通話履歴の電話番号の下に「番号をコピー」「発信前に番号を編集」「着信拒否番号設定」「削除」のメニューが表示されます。

③ 連絡先に設定した画像など
- タップすると連絡先のプロフィール画面が表示されます。

④ 履歴内容
- 発着信の内容（発信／着信／不在着信）や件数、どれくらい前の履歴か、などが表示されます。

⑤ 切替タブ
- よく使う連絡先、通話履歴、連絡先の各タブを切り替えられます。

⑥ メニュー
⑦ 音声電話発信
- タップすると、履歴の電話番号に音声電話で発信します。

⑧ ダイヤル画面を表示

通話履歴の電話番号を電話帳に登録する

1 ホーム画面で▶「通話履歴」タブをタップ

2 電話番号をタップ▶［新しい連絡先を作成］／［連絡先に追加］

- 電話番号をロングタッチ▶［発信前に番号を編集］▶［新しい連絡先を作成］／［連絡先に追加］をタップしても登録できます。
- ［連絡先に追加］をタップした場合は、登録する連絡先を選択します。

3 プロフィール編集画面で名前などの必要な項目を入力

- 項目を追加する場合は、［その他の項目］をタップします。

4 ［保存］

通話履歴を削除する

1 ホーム画面で▶「通話履歴」タブをタップ

2 削除する発信履歴／着信履歴をロングタッチ▶［削除］

❖お知らせ

- 通話履歴をすべて削除するには、通話履歴画面で⋮▶［通話履歴］▶▶［通話履歴を消去］▶［OK］をタップします。

不在着信を表示する

不在着信がある場合は、ステータスバーに が表示されます。

1 ステータスバーを下にドラッグ

2 ［不在着信］

❖お知らせ

- 通知パネルの「不在着信」の下の「発信」／「メッセージ」から、不在着信の相手に電話をかけたり、メッセージを送信したりできます。
- ロック画面に不在着信の通知が表示された場合は、ダブルタップしてからロックを解除すると履歴を表示できます。

伝言メモ

伝言メモを設定すると、留守番電話サービスを契約していない場合でも、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。

- 伝言メモに録音できる時間や保存できる件数について（P.227）

1 ホーム画面で▶⋮をタップ

2 ［設定］▶［通話］▶［伝言メモ］

伝言メモ	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答時間設定	応答するまでの時間を設定します。
ローミング時の使用	海外渡航時に伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答メッセージ	応答メッセージを日本語または英語に切り替えます。
伝言メモリスト	録音された伝言メモを確認できます。

❖お知らせ

- 伝言メモを再生すると、伝言メモリストのアイコンが▶から▶に変わります。
- 伝言メモを削除するには、伝言メモリスト画面で伝言メモをロングタッチ▶［削除］／［すべて削除］▶［OK］をタップします。

ステータスバーから伝言メモを確認する

録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーにが表示されます。

1 ステータスバーを下にドラッグ▶伝言メモの通知をタップ

- 伝言メモリストが表示されます。
- 伝言メモを再生するには、伝言メモをタップします。

❖お知らせ

- ロック画面に伝言メモの通知が表示された場合は、ダブルタップしてからロックを解除すると伝言メモリストを表示できます。

通話設定

ネットワークサービスを設定したり、着信拒否を設定したり、応答拒否メッセージを編集したりできます。

1 ホーム画面で▶⋮をタップ

2 [設定]▶[通話]

ネットワークサービス・海外設定	ネットワークサービスや国際ローミング時の動作、利用者情報の送信について設定します。 • ネットワークサービスについて（P.104） • 海外設定について（P.207）
国際ダイヤルアシスト	P.208
伝言メモ	P.102
着信拒否設定	電話帳に登録していない番号からの着信、電話番号が通知されない着信、公衆電話からの着信、通知不可能な電話番号からの着信を拒否するかどうかを設定します。 また、登録した電話番号からの着信とメッセージの受信を拒否することもできます。
応答拒否メッセージ	着信を拒否して送信するメッセージを編集します（P.99）。
スグ電設定	P.70
ドコモへのお問合せ※	総合お問い合わせ先など、ドコモのお問い合わせ先へ電話をかけます。
通話アカウント	インターネット通話（SIP）アカウントの設定をします。

※ ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。

ネットワークサービスの設定

1 ホーム画面で▶ ⋮ をタップ

2 [設定] ▶ [通話]

3 [ネットワークサービス・海外設定]

- 利用者情報送信の確認画面が表示された場合は、内容を確認して画面の指示に従って操作してください。

4 [ネットワークサービス]

留守番電話サービス	かかってきた電話に応答できなかったときに、相手のメッセージをお預かりするサービスです。
転送でんわサービス	かかってきた電話に応答できなかったときに、電話を転送するサービスです。
キャッチホン	通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出たり、別の相手に電話をかけたりすることができるサービスです。
発信者番号通知	電話をかけたときに自分の電話番号を通知するかどうかを設定します。
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話の番号を着信拒否登録します。
番号通知お願いサービス	電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
着信通知	電源オフ時や圏外時などの着信ができない場合に、メッセージで着信をお知らせするサービスです。
英語ガイダンス	音声ガイダンスを英語や日本語に切り替えます。
遠隔操作設定	留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
公共モード（電源OFF）設定	電源オフ時や機内モード設定中の着信時に、電話をかけてきた相手に電話に出られない旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

電話帳

電話帳では、電話番号、メールアドレス、各種サービスのアカウントなど、連絡先に関するさまざまな情報を入力できます。

電話帳を表示する

1 ホーム画面で▶［ドコモ電話帳］

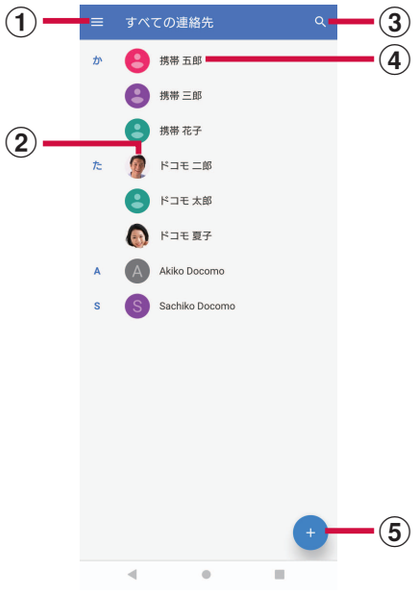
- 電話帳一覧画面が表示されます。

❖お知らせ

- 電話帳にてクラウドサービスをご利用になるには、「ドコモ電話帳」アプリが必要です。「ドコモ電話帳」アプリを初めて使用する（アプリの初期化後を含む）ときや「ドコモ電話帳」アプリでクラウドにログインするときには、「クラウド機能の利用について」画面が表示され、クラウドの利用を開始できます。
- 所有者以外のユーザーに切り替えて利用する場合は、ドコモ電話帳のクラウドサービス機能は利用できません。
- ドコモデータコピーを利用すると、電話帳のデータをmicroSDカードにバックアップ・復元できます（P.150）。

電話帳一覧画面

電話帳一覧画面では、連絡先の名前などが表示されます。連絡先に写真や画像を設定したり、グループごとの電話帳を表示したりすることもできます。



① メニュー
② 連絡先に設定された写真／画像
③ 検索
④ 連絡先に登録された名前
- タップするとプロフィール画面が表示されます。

⑤ 登録

電話帳を管理する

連絡先を登録する

1 ホーム画面で▶［ドコモ電話帳］▶をタップ

- Googleアカウントなどを設定している場合は、保存先のアカウントを選びます。

2 プロフィール編集画面で名前などの必要な項目を入力

- 項目を追加する場合は［その他の項目］をタップします。

3 ［保存］

❖お知らせ

- 電話帳一覧の並びは、姓または名のふりがなの五十音順、アルファベット順に表示されます。ふりがなが空欄の場合は登録した姓または名の五十音順、アルファベット順に表示されますが、漢字の姓名は「他」欄に表示されます。
- 英字（半角）の姓名は、名-姓の順に表示されます。

電話帳から電話をかける

1 ホーム画面で▶［ドコモ電話帳］▶連絡先を選択

2 プロフィール画面でをタップ

連絡先を編集する

1 ホーム画面で▶［ドコモ電話帳］▶編集する連絡先を選択

2 プロフィール画面で

- 連絡先を統合している場合は、編集する連絡先を選びます。

3 必要な項目を選択して編集

4 ［保存］

連絡先をよく使う連絡先に登録する

1 ホーム画面で▶［ドコモ電話帳］▶よく使う連絡先に登録する連絡先を選択

2 プロフィール画面で☆をタップして★にする

❖お知らせ

- よく使う連絡先に登録した連絡先は、連絡先一覧画面で★の欄に表示されます。また、通話履歴画面などで「よく使う連絡先」タブをタップしても表示できます。

メニューを利用する

1 ホーム画面で▶［ドコモ電話帳］▶▶［設定］

- 電話帳一覧画面で連絡先を選択▶プロフィール画面で⋮をタップすると、プロフィール画面のメニューが表示されます。

■ 電話帳一覧画面

ユーザー情報	自分のプロフィールを表示して編集できます（P.108）。
クラウドメニュー ※	クラウドメニューを表示します。
dアカウント設定	P.44
海外利用設定	ドコモ電話帳を海外で利用する際、クラウドとの同期や設定など、通信が発生する機能を利用するかどうかを設定します。
利用状況レポート設定	利用状況の情報をドコモに送信するかどうかを設定します。 • クラウドの利用開始と連動してオンになります。
アカウント	P.184
新しい連絡先のデフォルト アカウント	連絡先をどのアカウントに登録するかを設定します。登録する際に［保存先］をタップして、アカウントを変更することもできます。
表示する連絡先	連絡先一覧画面に表示する連絡先を設定します。
フリガナ（名前）	連絡先に表示するふりがなを設定します。
インポート	連絡先をインポートします（P.109）。
エクスポート	連絡先をエクスポートします（P.109）。
番号指定拒否	着信拒否の設定を行います（P.103）。

※クラウドへのログインが必要です。

■ プロフィール画面

統合／統合された連絡先を表示	表示している連絡先を統合／分割します。
削除	表示している連絡先を削除します。
共有	表示している連絡先をBluetooth機能やEメールなどを使って送信します。
ショートカットを作成	表示している連絡先のショートカットをホーム画面に作成します。
着信音を設定	表示している連絡先に着信音を設定します。

連絡先にラベル（グループ）を設定する

1 ホーム画面で▶［ドコモ電話帳］▶をタップ

2 ［ラベルを作成］

- すでにラベルを作成している場合は、連絡先に設定したいラベルを選び、手順4に進みます。
- Googleアカウントなどを設定している場合は、ラベル（グループ）を作成するアカウントを選びます。

3 ラベル（グループ）の名前を設定▶［OK］

4 ▶ラベル（グループ）を設定する連絡先をタップ

❖お知らせ

- 手順4でをタップすると、ラベル（グループ）に連絡先が登録されている場合は、連絡先へのメール送信、連絡先の削除、ラベル（グループ）名の変更、ラベル（グループ）の削除ができます。

自分のプロフィールを確認して情報を編集する

1 ホーム画面で▶［ドコモ電話帳］▶▶［設定］▶［ユーザー情報］

2 ▶名前などの必要な項目を入力

3 ［保存］

- クラウドにログインしている場合は、画面に従って操作します。

電話帳をエクスポート／インポート／共有する

電話帳をmicroSDカードやドコモnanoUIMカードからインポートしたり、microSDカードにエクスポートしたりできます。エクスポートした情報は、別の電話に移行する場合などに役立ちます。また、Bluetooth機能やEメールなどを使って、電話帳データの全件データ送信ができます。

- オンラインの同期サービスでも電話帳を同期できます（P.184）。
- microSDカードへエクスポート／インポートする場合は、あらかじめmicroSDカードを本端末に取り付けておきます（P.35）。

1 ホーム画面で▶［ドコモ電話帳］▶▶［設定］▶［エクスポート］／［インポート］

2 エクスポート方法やインポート元を選択▶項目を選択

- ［すべての連絡先を共有］を選んでエクスポートする場合は、画面表示を確認してステータスバーを下にドラッグ▶ドコモ電話帳の通知をタップして送信するアプリを選択します。
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。
ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で✉をタップ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

＋メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプなどをチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやり取りだけではなく、複数人でのグループメッセージのやり取りもできます。
＋メッセージを利用していない相手とは、「＋メッセージ」アプリでショートメッセージサービス（SMS）での送受信をすることができます。
また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやり取りを行うことができます。
＋メッセージの詳細については、ホーム画面で［＋メッセージ］▶［マイページ］▶［ヘルプ］▶［使い方ガイド］をタップして使い方ガイドを参照するか、以下のドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で［＋メッセージ］

- 画面下部のメニューより［連絡先］をタップすると連絡先一覧画面が、［メッセージ］をタップするとメッセージ一覧画面が表示されます。

連絡先一覧画面



メッセージ一覧画面



① 切替タブ
- タップすることで、すべての連絡先を表示するか、＋メッセージの利用者（のアイコンが表示されている連絡先）のみを表示するか、切り替えることができます。

② マイプロフィール
- お客様の連絡先が表示されています。タップすることでマイプロフィールを表示・編集できます。

③ 公式アカウントを探す
- タップすると公式アカウントストアが表示されます。

④ お気に入りの連絡先
- お気に入りに設定した連絡先が連絡先一覧の上段、「公式アカウントを探す」の下に表示されます。

⑤ ：＋メッセージを利用している連絡先を表すアイコン
- このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやり取りができたり、写真、スタンプなどをやり取りしたりすることができます。

⑥ 連絡先
- タップすることで、連絡先の詳細を確認することができます。

⑦ ：QRコードで追加／新しい連絡先

⑧ プロフィール画像
- 相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

⑨ メッセージ：メッセージ画面を表示

⑩ 公式アカウント
- 企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角（□）で表示されます。

⑪ ⋮：サブメニューを表示
- すべて既読：未読メッセージをすべて既読にします。
- メッセージの並べ替え：メッセージの並べ替えを行います。

⑫ ：ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマーク

⑬ ：新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成

メッセージを送信する

1 ホーム画面で［＋メッセージ］

2 画面下部のメニューより［メッセージ］▶▶［新しいメッセージ］／［新しいグループメッセージ］
- グループメッセージとは、＋メッセージサービス利用者（連絡先に のアイコンが表示されている人）複数人でメッセージのやり取りができる機能です。

3 宛先を選択
- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、［名前や電話番号を入力］をタップし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、［OK］をタップしてください。

4 メッセージ入力欄にメッセージを入力▶（送信）をタップ
- 宛先が＋メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。

メッセージ画面





① 📞：「電話」アプリを起動し、発信
② ⓘ：サブメニューを表示
- 連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。

③ 📷：カメラを起動
- ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。

④ ⊕：写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示
- シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。

⑤ メッセージ入力欄
- メッセージを入力することができます。

⑥ ☺：スタンプ選択画面への切り替え

⑦ ➤：入力したメッセージを送信

⑧ メッセージの配信状態を表示
- ✓✓：相手がメッセージを閲覧済み
  送受信者両方の「メッセージの既読機能」がオンの場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。
- ✓：相手の端末でメッセージを受信済み
- （アイコン表示なし）：サーバにメッセージを送信済み
- ✕：メッセージ送信に失敗

⑨ 🖼：画像選択画面への切り替え

⑩ Aa：テキスト入力画面への切り替え

⑪ 🎤：音声録音画面への切り替え

⑫ 📍：地図画面への切り替え

⑬ ○○○：連絡先／スケッチ／ファイル共有を選択

ショートメッセージサービス（SMS）についてのお知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・地域・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「＋」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「＃」または「＊」がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184／186を付与した場合はSMSを送信できません。

＋メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより「＋メッセージ」アプリをご利用いただくには、「＋メッセージ」アプリにて海外ローミング時の＋メッセージ利用設定をオンに設定していただく必要があります（初期状態はオフに設定されています）。また、本端末のデータローミングの設定をオンにしてください。
- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で＋メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには「＋メッセージ」アプリを起動し、＋メッセージ利用規約などに同意いただく必要があります。

メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先／送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

1 ホーム画面で［＋メッセージ］

2 画面下部のメニューより［メッセージ］▶読みたいメッセージのスレッドを選択

- メッセージを返信する際に使用する各機能について（P.113）

メッセージを転送する

1 ホーム画面で［＋メッセージ］

2 画面下部のメニューより［メッセージ］▶スレッドを選択

3 転送するメッセージをロングタッチ▶をタップ

4 宛先を選択し、メッセージを入力▶（送信）をタップ

メッセージを削除する

1 **ホーム画面で［+メッセージ］**

2 **画面下部のメニューより［メッセージ］▶スレッドを選択**

3 **削除するメッセージをロングタッチ▶🗑▶［削除］**

- 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。
- 画像選択時など、🗑が表示されない場合があります。その場合は、⋮▶［削除］▶［削除］をタップしてください。

スレッドを削除する

1 **ホーム画面で［+メッセージ］**

2 **画面下部のメニューより［メッセージ］▶削除するスレッドをロングタッチ**

3 **🗑▶［削除］**

- グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

+メッセージの設定を変更する

1 **ホーム画面で［+メッセージ］**

2 **画面下部のメニューより［マイページ］▶［設定］**

メッセージ	メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
公式アカウント	公式アカウントの通知音が設定できます。
写真や動画	送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
テーマカラー・背景	テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
通知	通知に関する設定ができます。
プライバシー	パスコードやブロックなどが設定できます。
その他	ユーザー情報引き継ぎの設定や+メッセージサービスの初期化などができます。

公式アカウント機能を利用する

1 **ホーム画面で［＋メッセージ］**

2 **画面下部のメニューより［公式アカウント］**

3 **公式アカウントストア画面にて利用したいアカウントをタップ**

4 **「利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します」にチェックを入れる**

5 **［利用する］**

Gmail

Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- Googleアカウント（P.43）やEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

❖お知らせ

- Gmailについて詳しくは、ホーム画面で［Google］▶［Gmail］▶≡▶［ヘルプとフィードバック］をタップしてGmailのヘルプをご覧ください。

Gmailを送信する

1 **ホーム画面で［Google］▶［Gmail］**

2 **［作成］**

3 **送信相手のEメールアドレスを入力**

- Eメールアドレス入力欄に名前またはEメールアドレスを入力すると、電話帳で一致する連絡先がリスト表示されます。
- CcまたはBccを追加する場合は、⌄をタップします。

4 **件名や本文を入力**

5 **▷（送信）をタップ**

❖お知らせ

- ファイルを添付する場合は、Gmail作成中に をタップし、画面の指示に従ってファイルを選択します。

Gmailを更新する

1 ホーム画面で［Google］▶［Gmail］

2 受信トレイで画面を下にスワイプ（フリック）

- 受信トレイを更新します。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 電源オフ時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェアアップデート中
  - PINコード入力画面表示中
  - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）
- メインユーザー（所有者）の通話とSMSの許可がオフになっている場合、サブユーザーは一律で災害・避難情報を受信できません。
- 本端末のメモリの空き容量が少ないとき、3Gエリアにおいてテザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 **エリアメールを自動的に受信する**

2 **エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴る**

3 **エリアメールの本文が表示される**

受信したエリアメールを後で確認する

1 **ホーム画面で▶［災害用キット］**

2 **［緊急速報「エリアメール」］▶［エリアメール］**

3 **エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択**

エリアメールを削除する

削除したエリアメールは元には戻せません。

1 **ホーム画面で▶［災害用キット］**

2 **［緊急速報「エリアメール」］▶［エリアメール］**

3 **エリアメール一覧から、任意のエリアメールをロングタッチ▶▶［削除］**

Chrome

「Chrome」アプリを利用して、パソコンと同じようにウェブサイトを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続で「Chrome」アプリを利用できます。

ウェブサイトを表示する

1 ホーム画面でをタップ

2 画面上部のアドレス入力欄をタップ

- アドレス入力欄が表示されていない場合は、画面を下にスワイプ（フリック）すると表示されます。

3 ウェブサイトのアドレスまたは検索する語句を入力

- アドレス入力欄にが表示されているときは、タップすると検索する語句を音声で入力できます。
- アドレスや文字の入力に従って、一致するウェブサイトの候補が表示されます。

4 候補を選択するか、ソフトウェアキーボードのをタップ

- ページを拡大／縮小するには、画面をピンチアウト／インするか、ダブルタップします。
- 前のページに戻るには、をタップします。

❖お知らせ

- ページ内のテキストをコピーするには、コピーするテキストをロングタッチ▶または をドラッグしてコピーするテキストの範囲を選択▶［コピー］をタップします。

新しいタブを追加する

複数のタブを開き、ウェブサイトの閲覧ができます。

1 ホーム画面で▶⋮▶［新しいタブ］

2 ウェブサイトを表示

- アドレス入力欄の横に表示されているアイコン内の数字は、開いているタブの件数です。

シークレットタブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、ウェブサイトの閲覧ができます。

1 ホーム画面で▶⋮▶［新しいシークレット タブ］

2 ウェブサイトを表示

❖お知らせ
- シークレットタブでは、アドレス入力欄の周囲が灰色になります。
- シークレットタブを閉じるには、「タブを閉じる」（P.120）をご参照ください。
- シークレットタブで開いたウェブサイトは履歴に残りません。タブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ダウンロードしたファイルやブックマークしたウェブサイトはシークレットタブでも保存されます。

タブを切り替える

1 **②をタップ**
- 現在開いているタブがサムネイルで一覧表示されます。

2 **表示するタブをタップ**

❖お知らせ
- 手順1のアイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

タブを閉じる

1 **②▶閉じるタブの⊗をタップ**
- タブを左右にスワイプ（フリック）しても閉じることができます。

❖お知らせ
- 手順1のアイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

ページ内のテキストを検索する

1 **ホーム画面で▶⋮▶［ページ内検索］**

2 **検索する語句を入力**
- ∧／∨をタップすると、前後の一致項目にハイライトが移動します。

❖お知らせ
- 検索バーを閉じるには、✕をタップします。

Chromeの設定を変更する

1 **ホーム画面でをタップ**

2 **⋮▶［設定］**

同期とGoogleサービス	同期設定やGoogleサービスを設定します。
検索エンジン	検索エンジンを設定します。
パスワード	ウェブサイトに入力したパスワードを保存するかどうかを設定します。
お支払い方法	お支払い方法の自動入力を利用するかどうかや、自動入力時に利用するクレジットカード情報を設定します。
住所やその他の情報	住所などの情報の自動入力を利用するかどうかや、自動入力時に利用する住所や名前、電話番号、メールアドレスなどの情報を保存します。
プライバシーとセキュリティ	お支払い方法へのアクセスやページのプリロードなどを設定したり、閲覧履歴データを削除したりします。

安全確認	データ侵害や安全ではないウェブサイトなどの脅威から保護できているかどうかを確認します。
通知	Chromeの通知方法を設定します。
テーマ	Chromeのテーマを設定します。
トップページ	⌂をタップしたときに表示されるページについて設定します。
ユーザー補助機能	文字のサイズやズームなどを設定します。
サイトの設定	CookieやJavaScriptなどサイトに関する設定をします。
言語	設定した言語でウェブサイトのテキストを表示します。 • ウェブサイトによっては設定した言語で表示されない場合があります。
ライトモード	データの使用量を抑えてページの読み込みを高速化するかどうかを設定します。
ダウンロード	ダウンロード時の保存場所などを設定します。
Chromeについて	Chromeのバージョンなどを確認できます。

リンクを操作する

ページ内のリンクや画像をロングタッチすると、URLをコピーしたり、画像をダウンロードしたりできます。

❖お知らせ

- ウェブサイトによってはファイルなどのダウンロードができない場合があります。

ブックマークと履歴を管理する

履歴の確認やブックマークの保存などができます。

ウェブサイトをブックマークする

1 ホーム画面で▶ブックマークするウェブサイトを表示

2 ⋮▶☆をタップ

ブックマークを開く

1 ホーム画面で▶⋮▶[ブックマーク]

2 開くブックマークをタップ

❖お知らせ

- ブックマークの一覧で⋮をタップするか、ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集／削除／フォルダ移動などができます。

履歴を確認する

1　ホーム画面で▶ ⋮ ▶ ［履歴］

2　確認する履歴をタップ

❖お知らせ

- 履歴を削除するには、履歴の⊗をタップします。
- 履歴をすべて削除するには、［閲覧履歴データを削除...］▶削除する期間を選択▶「閲覧履歴」にチェックが入っているかを確認し、［データを削除］をタップします。確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

カメラ／フォト

カメラ

- 本端末で撮影した写真または動画は、すべて内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。
- microSDカードに保存する場合は、カメラを使用する前にmicroSDカードを取り付けて、保存先を変更してください（P.131）。
- 本端末の温度が上昇すると、カメラが起動しない場合や、停止する場合があります。

■ 著作権・肖像権について

お客様が本端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権に関わる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

撮影／画像送信について

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラを起動する

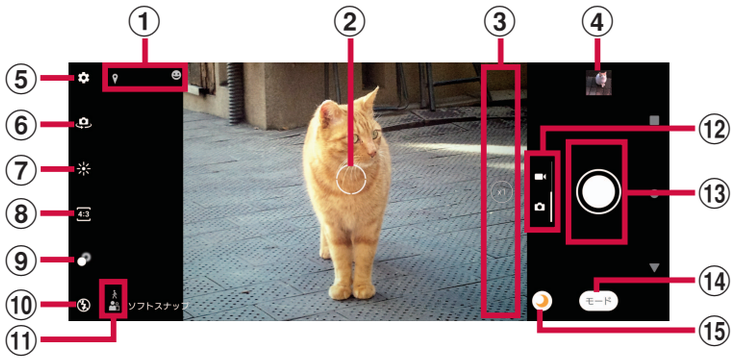
1 ホーム画面で［カメラ］

- 撮影画面が表示されます。

❖お知らせ

- ロック画面でをスワイプ（フリック）しても、カメラをすばやく起動することができます。
- 撮影画面で何も操作しないまま一定の時間が経過すると、カメラが終了します。

撮影画面



① ステータスアイコンの表示エリア
- スマイルシャッター（P.130）や位置情報の保存（ジオタグ）を設定した場合のアイコンなどが表示されます。また、電池残量が少なくなった場合は、赤色の電池アイコンと残量が表示されます。

② オートフォーカス枠

③ トリプルレンズ切り替え／ズームインジケーター
- タップすると、レンズが標準（x1）、望遠（x2）、超広角（x0.6）の順に切り替わります。ズーム操作を行うとズームインジケーターが表示され、アイコンが設定した倍率表示に変わります。

④ サムネイル
- タップすると、撮影した写真の再生画面や動画のプレビュー画面が表示されます。画面を右にスワイプ（フリック）すると、撮影画面に戻ります。

⑤ メニュー

⑥ フロントカメラ切り替え

⑦ 明るさ・色合いの調整（P.132）

⑧ 縦横比の設定（P.132）

⑨ ぼけ効果の設定（P.132）

⑩ フラッシュの設定

⑪ シーン／コンディション
- 「フォト」モードの場合は、カメラが判断したシーンを検出してアイコンを表示します。また、カメラが移動している状態（）、カメラが固定されている状態（）、被写体が動いている状態（）を検出してアイコンを表示します。
- 明るさ・色合いの調整（P.132）のをタップしてにしているときは、シーン／コンディションは表示されません。

⑫ フォト／ビデオ切り替え
- 「フォト」と「ビデオ」の撮影モードを切り替えます。横画面では上下に、縦画面では左右にスワイプ（フリック）します。

⑬ シャッター（写真）
撮影開始／停止／一時停止（動画）
- 設定によっては、セルフタイマーや画面タッチ撮影のアイコンが表示されます。

⑭ 撮影モードの変更（P.125）

⑮ 撮影モードのショートカット
- 最近使った撮影モードのアイコンが表示され、タップしてすぐに切り替えられます。

❖お知らせ

- 撮影モードなどによって、表示や操作が異なります。
- 次のようにズームすると、倍率を細かく調整できます。
  - トリプルレンズ切り替えアイコンを上下（縦画面の場合は左右）にドラッグしてズームインジケーターを操作する
  - 「音量キー設定」（P.131）を「ズーム」に設定して音量キーで操作する
  - 画面をピンチアウト／インする
- フロントカメラでの撮影時や撮影モードによっては、トリプルレンズ切り替えやズームを使用できません。
- 初期状態では「フォト」モードで撮影画面をタップするとオートフォーカス枠が表示され、タップした位置でフォーカスと明るさが調整されます。
- 撮影時の状況によっては、シーンが正しく認識されないことがあります。
- トリプルレンズ切り替えを行って、フロントカメラに切り替えてから再度リアカメラに切り替えると、レンズは標準に戻ります。

撮影モード

「フォト」「ビデオ」モードで撮影する

1 ホーム画面で［カメラ］

2 画面をスワイプ（フリック）して、「フォト」モード／「ビデオ」モードの撮影画面を表示

- 撮影のしかたについて（P.127、P.128）

撮影モードを変更する

「フォト」「ビデオ」のほかに「ナイトモード」「マニュアル」「スローモーション」「ポートレートセルフィー」などの撮影モードを利用して、さまざまな写真や動画を撮影できます。

1 ホーム画面で［カメラ］

2 撮影画面で［モード］▶撮影モードを選択

- 各モードの撮影画面でが表示されている場合は、タップすると「フォト」モードに戻ります。

■ 主な撮影モードと画像サイズ／ビデオサイズ

撮影モード	画像サイズ／ビデオサイズ	
フォト／ナイトモード／マニュアル	カメラ： 4:3（12MP） 16:9（9MP） 1:1（9MP） 21:9（7MP）	フロントカメラ： 4:3（8MP） 16:9（6MP） 1:1（6MP） 21:9（5MP）
ビデオ	ビデオカメラ： 4K（16:9） 4K（21:9） フルHD（21:9） フルHD（16:9） フルHD（16:9 60fps） 1080×1080（1:1） HD VGA	フロントビデオカメラ： フルHD（21:9） フルHD（16:9） 1080×1080（1:1） HD VGA

❖お知らせ

- 「ナイトモード」モードでの撮影は撮影完了に少し時間がかかるため、撮影完了までの間はカメラを動かさないでください。
- 「スローモーション」モードでの撮影はシャッタースピードが高速になるため、撮影時には十分な明るさを確保する必要があります。
- 「スローモーション」モードは屋内や暗い場所など光量が不足する場所で撮影すると、画質が粗くなったり画像が暗くなったりすることがあります。
- トリプルレンズ切り替えは「フォト」「ビデオ」「ナイトモード」モードのみ対応しています。「マニュアル」「スローモーション」モードではズーム操作を行ってください。
- 次の撮影データをmicroSDカードに保存する場合は、高速書き込みが可能なmicroSDカード（UHSスピードクラス1以上、またはスピードクラス10）をお使いいただくことをおすすめします。
  - 4Kビデオ
  - スローモーション
- カメラの機能について詳しくは次のホームページをご覧ください。
  https://xperia.sony.jp/myxperia/howtoxperia/camera/

■ パノラマ撮影のご注意

- 以下の場合はパノラマ撮影に適していません。
  - 動きのある被写体がある場合
  - 主要被写体とカメラの距離が近すぎる場合
  - 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体がある場合
  - 大きな被写体がある場合
  - 波や滝など、常に模様が変化する被写体がある場合
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目がなめらかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がブレる場合や、撮影ができない場合があります。

- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定でなくなり、うまく撮影できないことがあります。
- パノラマ撮影される画角全体と、ピントを合わせたときの画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できないことがあります。

写真を撮影する

■ シャッターアイコンで撮影する

1 ホーム画面で［カメラ］

2 画面をスワイプ（フリック）して「フォト」モードの撮影画面を表示

3 シャッターアイコン（◯）をタップ
- ◯をタッチしている間は、連写（最大で100枚）ができます。

■ 画面タッチ撮影で撮影する

「画面タッチ撮影」（P.131）をオンに設定する必要があります。

1 ホーム画面で［カメラ］

2 画面をスワイプ（フリック）して「フォト」モードの撮影画面を表示

3 撮影画面をタップ
- 撮影画面をタッチしている間は、連写（最大で100枚）ができます。

■ 音量キーで撮影する

- 「音量キー設定」（P.131）を「シャッター」に設定する必要があります。

1 ホーム画面で［カメラ］

2 画面をスワイプ（フリック）して「フォト」モードの撮影画面を表示

3 音量キーを押す
- 音量キーを押している間は、連写（最大で100枚）ができます。

■ ハンドシャッターで撮影する

フロントカメラで撮影する際に、カメラに手のひらを向けることで自動的に撮影することができます。アイコンをタップするなどの操作をせずに自分撮りができます。

- ハンドシャッターはフロントカメラでの撮影で、「フォト」「マニュアル」モードに対応しています。「ナイトモード」「ポートレートセルフィー」モードには対応していません。
- 「オート撮影」（P.130）を「ハンドシャッター」に設定する必要があります。

〈例〉「フォト」モードで撮影する場合

1 ホーム画面で［カメラ］

2 画面をスワイプ（フリック）して「フォト」モードの撮影画面を表示

3 フロントカメラに切り替えてカメラに手のひらを向ける

- 手のひらマークが現れると撮影されます。
- をタップしてセルフタイマーを設定できます。

❖お知らせ

- 連写は「フォト」「マニュアル」モードで撮影できます。ただし、「フォト」モードでは、暗い場所での連写ができない場合があります。また、フロントカメラは連写に対応していません。
- 連写した場合の撮影データは、保存先を「SDカード」に設定していても内部ストレージに保存されます。
- オートフォーカス枠が表示されなかったときは、ピントが合わなかった可能性があります。
- 被写体の顔を検出すると、顔の位置に枠が表示されます（最大で5個）。そのうち自動でピントを合わせた顔のみ黄色の枠で表示されます。他の枠をタップして、ピントを合わせる顔を変更することができます。
- 市販のイヤホン、またはBluetooth機器などと接続しているときは、シャッター音が通常より小さくなることがあります。

動画を撮影する

■ 撮影開始／停止アイコンで撮影する

1 ホーム画面で［カメラ］

2 画面をスワイプ（フリック）して「ビデオ」モードの撮影画面を表示

3 撮影開始アイコン（）をタップ

4 停止アイコン（）をタップ

- 一時停止／撮影開始アイコン（／）をタップすると録画を一時停止／再開できます。

■ 画面タッチ撮影で撮影する

「画面タッチ撮影」（P.131）をオンに設定する必要があります。

1 ホーム画面で［カメラ］

2 画面をスワイプ（フリック）して「ビデオ」モードの撮影画面を表示

3 撮影画面をタップ

- 撮影画面を再度タップすると停止できます。

■ 音量キーで撮影する

- 「音量キー設定」（P.131）を「シャッター」に設定する必要があります。

1 ホーム画面で［カメラ］

2 画面をスワイプ（フリック）して「ビデオ」モードの撮影画面を表示

3 音量キーを押す

- 音量キーを再度押すと停止できます。

❖お知らせ

- 動画撮影時は、送話口／マイクを指などでふさがないようにしてください。
- 市販のイヤホン、またはBluetooth機器などと接続しているときは、撮影開始／停止音が通常より小さくなることがあります。
- 動画撮影中にシャッターアイコン（）が表示されている場合は、タップすると写真を撮影できます。
- 動画撮影中に写真を撮影した場合（「スマイルシャッター」での撮影を含む）は、シャッター音は鳴りません。

撮影時の設定を変更する

メニューから変更する

- 表示される項目や操作は、撮影モード、カメラ／フロントカメラ、レンズの種類によって異なります。
- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

1 ホーム画面で［カメラ］

2 ▶設定項目を選択

- 撮影モードによっては撮影画面で をタップして設定します。

3 設定を変更

■ ⓘ

カメラの機能を紹介します。

■ **セルフタイマー：「フォト」モード**

セルフタイマーの秒数を設定します。シャッターアイコンがタイマーのアイコンに変わり、タップすると設定した秒数が経過した後に撮影します。
セルフポートレートを撮影する場合や、集合写真を撮影するときなどに使用します。手ブレの防止としてもセルフタイマーの使用をおすすめします。

■ **画像サイズ：「フォト」「ナイトモード」「マニュアル」モード**

画像サイズを設定します。画像サイズが大きくなるほど、写真のデータ容量は大きくなります。

■ **ビデオサイズ：「ビデオ」モード**

ビデオサイズを設定します。ビデオサイズが大きくなるほど、動画のデータ容量は大きくなります。

■ **タッチ追尾フォーカス：「フォト」「ビデオ」モード**※1

撮影画面で被写体をタップすると、被写体が動いてもピントを合わせます。

タッチで合わせる：「マニュアル」モード※1

撮影画面をタップした場所に合わせる機能を設定します。

タッチ追尾フォーカス

撮影画面で被写体をタップすると、被写体が動いてもピントを合わせます。

フォーカスのみ

フォーカスを合わせます。

フォーカスと明るさ

フォーカスと明るさを合わせます。

測光：「マニュアル」モード※1

撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。

顔

顔を検出して測光し、適度な明るさになるように露出を調整します。

中央

撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。

スポット

撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。

平均

画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって露出を調整します。

オート撮影／オート撮影（録画中）：「フォト」「ビデオ」「ナイトモード」「マニュアル」モード

自動で撮影する機能を設定します。

スマイルシャッター

被写体が笑った瞬間を撮影します。動画撮影中は笑った瞬間の写真を撮影します。

ハンドシャッター：「フォト」「マニュアル」モード※2

フロントカメラに手のひらを向けることで自動的に撮影できます（P.127）。

ビデオ手ブレ補正：「ビデオ」モード

撮影時の手ブレを軽減するかどうかを設定します。

記録ファイル形式（4K）：「ビデオ」モード※1

動画を4Kで撮影する際の圧縮方式を、「H.264」「H.265（HEVC）」から選択できます。

美肌効果：「フォト」「ナイトモード」「マニュアル」モード

肌をなめらかに補正して撮影するかどうかを設定します。

■ レンズ補正（静止画）：「フォト」「ナイトモード」モード※3

写真のひずみを補正するかどうかを設定します。

画質優先

画質を優先する場合に設定します。

歪み補正優先

画質よりも補正が優先されます。初期状態で設定されています。

- 連続撮影（連写）時は、本機能の設定は無効になり自動的に「画質優先」になります。

■ QRコード読み取り：「フォト」モード※1

QRコードを読み取るかどうかを設定します。

■ 位置情報を保存

写真／動画に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグ（ジオタグ）を付けるかどうかを設定します。

- 撮影画面に が表示されているときに撮影すると、位置情報が付加されます。
- 位置情報取得中は が表示されます。位置情報取得中に撮影をしても、ジオタグは付加されません。

■ 画面タッチ撮影

撮影画面をタップして撮影できるようにするかどうかを設定します。

「フロントカメラのみON」に設定すると、フロントカメラに切り替えることで画面タッチ撮影ができます。

■ グリッドライン

撮影画面に目安となるグリッドラインを表示するかどうかを設定します。

■ 静止画オートレビュー

撮影した直後にプレビューを表示するかどうかを設定します。

「フロントカメラのみON」に設定すると、フロントカメラで撮影したときのみプレビューを表示します。

■ 音量キー設定

撮影時に音量キーに割り当てる機能を「ズーム」「音量」「シャッター」から選択できます。

■ 保存先

撮影した写真／動画の保存先を設定します。

■ 設定をリセット

カメラの設定をリセットします。「フォト」「ビデオ」「ナイトモード」「マニュアル」モードの設定がリセットされます。

■ プレビュー：「クリエイティブエフェクト」モード

撮影した直後にプレビューや編集画面を表示するかどうかを設定します。

※1 リアカメラ撮影時のみ対応しています。

※2 フロントカメラ撮影時のみ対応しています。

※3 超広角レンズのみ対応しています。

設定項目アイコンから変更する

撮影画面に表示されるアイコンをタップして設定を変更します。

- 表示されるアイコンや操作は、撮影モード、カメラ／フロントカメラ、レンズの種類によって異なります。
- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

■ 明るさ・色合い：「フォト」「ビデオ」「ナイトモード」「スローモーション」モード

をタップして明るさと色合いを調整します。撮影画面に表示されたバーのマーカーをドラッグして調整します。

または をタップすると、調整バーを非表示にして設定をリセットできます。

- 「フォト」モードで撮影画面をタップして明るさの調整バーが表示された場合は、続けて（縦画面では）をタップすると色合いの調整バーが表示されます。

■ HDR：「マニュアル」モード

明暗に差のある状況でも見た目に近い自然な印象で撮影するかどうかを設定します。

HDR ON

HDR OFF

- HDRをオンにするとISO感度は「AUTO」に設定されます。

■ 縦横比：「フォト」「ナイトモード」「マニュアル」「ポートレートセルフィー」モード

撮影する写真の縦横比を設定します。画像サイズは設定によって異なります。

4:3 4:3

16:9 16:9

1:1 1:1

21:9 21:9

■ ぼけ効果：「フォト」モード

ぼけ効果を活かした写真を撮影できます。

▶マーカーをドラッグして設定します。

■ セルフタイマー：「フォト」「ナイトモード」「マニュアル」「ポートレートセルフィー」モード

セルフタイマーの秒数を設定します。
シャッターアイコンがタイマーのアイコンに変わり、タップすると設定した秒数が経過した後に撮影します。
セルフポートレートを撮影する場合や、集合写真を撮影するときなどに使用します。手ブレの防止としてもセルフタイマーの使用をおすすめします。

- 10秒
- 3秒
- OFF

■ フラッシュ：「フォト」「マニュアル」モード

- **オート**
- **強制発光**／ON
- **赤目軽減**
- OFF
- **照明**

■ 照明：「ビデオ」「スローモーション」モード

暗い場所や逆光での動画撮影時に、フォトライトを使用して撮影するかどうかを設定します。

- ON
- OFF

■ マニュアル詳細設定：「マニュアル」モード

ホワイトバランスやISO感度などを手動で設定できます。をタップして設定アイコンを表示／非表示にできます。

ホワイトバランス

周囲の光源に合わせて設定します。
WBをタップして設定します。

- **電球**
- **蛍光灯**
- **太陽光**
- **曇り**
- **自動**

明るさ（EV補正）

EV▶バー上をタップするか、マーカーをドラッグして設定します。

ISO感度

ISO▶バー上をタップするか、マーカーをドラッグして設定します。

- ISO感度を上げると、光量の少ない場所でも明るく、手ブレを軽減して撮影できます。ただし、ノイズが目立ちます。
- ISO感度を下げると、ノイズを目立たせずに撮影できます。ただし、光量の少ない場所では暗く、手ブレしやすくなることがあります。
- ISO感度を設定すると、HDRはオフになります。

シャッタースピード
被写体の動く速度などに合わせてシャッタースピードを設定します。
SS▶バー上をタップするか、マーカーをドラッグして設定します。
フォーカスモード
フォーカスを当てる被写体からの距離に合わせて設定します。
▶バー上をタップするか、マーカーをドラッグして設定します。

■ ポートレートセルフィー詳細設定：「ポートレートセルフィー」モード

輪郭の補正やぼかしなどの設定ができます。
ミラー
鏡像を保存するかどうかを設定します。
ON
OFF
画面タッチ撮影
画面タッチ撮影をするかどうかを設定します。
ON
OFF
輪郭補正
輪郭補正などは、アイコンをタップ▶バー上をタップするか、マーカーをドラッグして設定します。
目の大きさ
肌の明るさ
美肌
ぼけ

■ エフェクトの切り替え：「クリエイティブエフェクト」モード

をタップしてエフェクトの種類を切り替えます。エフェクトの種類に応じて、さまざまな設定ができます。

フォト

写真や動画を閲覧・再生したり、管理したりすることができます。

写真や動画を表示する

1 ホーム画面で［フォト］

2 画像または動画をタップ

- 写真や動画が再生されます。
- ファイル一覧画面でファイルをロングタッチすると、共有や削除などのメニューが表示されます。続けて他のファイルをタップして複数のファイルを選択することもできます。

❖お知らせ

- 「フォト」アプリについて詳しくは、フォト画面でGoogleアカウントメニューを表示▶［ヘルプとフィードバック］をタップしてサポートをご覧ください。

ファイル（写真や動画）を削除する

1 ホーム画面で［フォト］

2 削除するファイルをロングタッチ

- ファイルをロングタッチした後に、続けて他のファイルをタップして複数のファイルを選択することもできます。

3 ▶［ゴミ箱に移動］

- ゴミ箱に移動したファイルは、一定期間後にGoogleアカウントおよび同期しているデバイス（本端末）から削除されます。
- デバイス（本端末）からのみ削除し、Googleアカウントに残す場合はファイルがGoogleアカウントにバックアップされていることを確認の上、⋮▶［デバイスから削除］▶［デバイスから削除］をタップします。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスできます。

1 ホーム画面で［dメニュー］

- ウェブブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

❖お知らせ

- dメニューをご利用になる場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください（P.63）。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリの一部には、有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で［dマーケット］

❖お知らせ

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  https://dmarket.docomo.ne.jp/common/about/index.html

Playストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを本端末にインストールできます。

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要となります（P.43）。
- 有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などについて詳しくはGoogle Playのヘルプをご覧ください。
- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlayストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。

アプリをインストールする

1 ホーム画面で［Playストア］

2 アプリを検索▶インストールするアプリをタップ

- 表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［モバイルネットワーク］▶「モバイルデータ」のをタップ▶［OK］をタップします。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

アプリをアンインストールする

1 ホーム画面で［Playストア］

2 Googleアカウントメニューを表示

3 ［アプリとデバイスの管理］▶「管理」タブをタップ

4 アンインストールするアプリをタップ▶［アンインストール］▶［アンインストール］

- 有料アプリをアンインストールする場合は、画面の指示に従って操作してください。詳しくはGoogle Playのヘルプをご覧ください。

おサイフケータイ

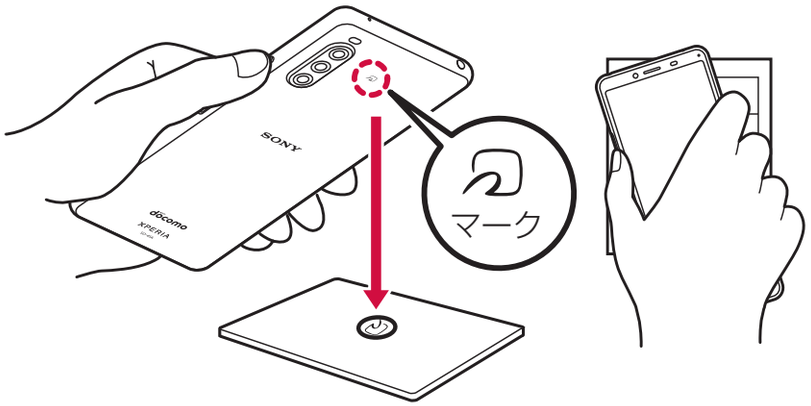
お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。
電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。
おサイフケータイについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりできませんので、原則としてデータをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障や機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。
- 充電中に本端末の電源を切っている場合、NFC／おサイフケータイ機能は使用できません。充電中に使用する場合は、本端末の電源を入れてください。

※おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことにご注意ください。



- マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFC／おサイフケータイ機能をオンにする

1 ホーム画面で▶［設定］▶［機器接続］▶［接続の設定］

2 ［NFC／おサイフケータイ］▶「NFC／おサイフケータイ」のをタップ

- NFC／おサイフケータイ機能がオンになります。NFC／おサイフケータイ機能をオンにすると、おサイフケータイ対応サービスのすべてが利用できます。

❖お知らせ

- カメラを起動しているときは、NFC／おサイフケータイ機能はご利用いただけません。

「おサイフケータイ対応サービス」を利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ アプリよりサービスを設定してください。

- あらかじめNFC／おサイフケータイ機能をオンにしてください（P.139）。

1 ホーム画面で▶［おサイフケータイ］

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選択

3 サービスを設定する

- サービスのアプリまたはサイトから設定してください。

4 本端末のマークを読み取り機にかざす

❖お知らせ

- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定の時間は、利用できなくなることがあります。
- 本端末の「STAMINAモード」（P.170）や「データセーバー」（P.163）の設定に関わらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部の機能が利用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

おサイフケータイの機能をロックする

おサイフケータイをロックすると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

「NFC／おサイフケータイ ロック ON/OFF」を設定する

スリープモード中に本端末をかざしての利用を制限します。

- 「画面のロック」（P.179）または「指紋設定」（P.182）を設定している場合は、解除してから利用してください。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［機器接続］▶［接続の設定］

2 [NFC／おサイフケータイ]▶「NFC／おサイフケータイ ロック ON/OFF」の◯をタップ

■ NFC

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能などがご利用いただけます。

非接触型決済を利用する

- あらかじめNFC／おサイフケータイ機能をオンにしてください（P.139）。

1 ホーム画面で⊞▶［設定］▶［機器接続］▶［接続の設定］

2 ［NFC／おサイフケータイ］▶［非接触型決済］

3 ［お支払いのデフォルトのアプリ］▶アプリを選択▶［OK］

4 ［デフォルトのアプリを使用］▶［別の決済アプリが起動されている場合を除く］／［常時］

5 本端末の◠マークを非接触型決済マークのある読み取り機にかざす

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は複数枚を登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリ等で設定を行う必要があります。発行の方法については、各カード会社にお問い合わせください。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのホームページをご覧ください。
  https://id-credit.com/

ミュージック

ミュージックを利用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽を再生します。

- 再生可能なデータのファイル形式について（P.227）

楽曲データを再生する

楽曲再生中にmicroSDカードのマウント（読み書き可能状態）の解除（P.176）は行わないでください。

1 ホーム画面で［ミュージック］

2 ≡▶カテゴリを選択▶再生する楽曲を選択

❖お知らせ

- ●をタップするとホーム画面に戻り、バックグラウンドで再生することができます。ホーム画面で［ミュージック］をタップすると、ミュージックの画面を表示できます。また、ステータスバーを下にドラッグして再生中の曲名をタップすると、楽曲再生画面を表示できます。
- ハイレゾ・オーディオ音源は、ハイレゾ・オーディオ対応機器を接続することでハイレゾ・オーディオとして再生できます。
- 圧縮された音楽データをハイレゾ・オーディオ相当にアップグレードして再生するには、ミュージックのホーム画面で≡▶［設定］▶［オーディオ設定］▶「DSEE HX」のをタップします。本端末のヘッドセット接続端子にハイレゾ・オーディオ対応ヘッドホンを接続した場合のみ再現されます。
- 画面右上にが表示された場合は、Google Cast対応機器で音楽を再生できます。をタップして、画面の指示に従って接続します。Google Cast対応機器で再生するには、あらかじめGoogle Cast対応機器と同一のWi-Fiネットワークに接続しておきます（P.154）。

楽曲を共有する

楽曲データをBluetoothやメール添付などで送信することができます。

1 楽曲一覧画面▶送信する楽曲をロングタッチ▶［共有］

2 アプリを選択

- 以降の操作は、選択したアプリにより異なります。

❖お知らせ

- DRM管理コンテンツや転送するアプリにより共有が制限される場合があります。

位置情報サービスについて

GPS機能やWi-Fi機能、モバイルネットワークを使用して現在地を測位できます。

GPS機能

本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。
現在地の測位にGPS機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分たっても現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ部（P.31）を覆わないようにしてください。
GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に数分かかることがあります。

- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出ることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内

- 本端末の周囲に障害物（人やもの）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

❖注意

- 一部、または全部のGPS機能を使用できない場合は、契約内容にインターネットの利用が含まれていることをご確認の上、Wi-Fi（P.153）やモバイルデータ通信（P.157）がオンになっていることを確認してください。
- 当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

GPS機能／位置情報サービスをオンにする

GPS機能やWi-Fi機能、モバイルネットワーク基地局からの情報を元にした現在地の特定などができます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［位置情報］

2 「位置情報の使用」のをタップ

3 位置情報の注意文を読んで［同意する］

❖お知らせ

- Google位置情報サービスにより、個人を特定しない形で位置情報が収集されます。なお、アプリが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

Googleマップを使用する

Googleマップを利用して、現在地の表示や別の場所の検索、経路の検索などができます。

- Googleマップを利用するには、ネットワークに接続されていることをご確認ください（P.63）。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
- Googleマップについて詳しくは、マップ画面でGoogleアカウントメニューを表示▶［ヘルプとフィードバック］▶［ヘルプ］をタップしてサポートをご覧ください。

地図上で現在地を検出する

位置情報サービスを利用して現在地を検出できます。

- 現在地を検出するには、あらかじめ「位置情報の使用」（P.178）をオンに設定する必要があります。

1 **ホーム画面で［Google］▶［マップ］**

現在地が青い印で表示されます。

- 現在地が表示されていない場合に現在地を表示するには をタップします。
- をタップすると、アイコンが に変わり、本端末の地磁気コンパスと地図上で表示される方角が連動します。
- 地図を拡大／縮小するには、マップ画面でピンチアウト／インするか、画面をダブルタップ／2本の指でタップします。
- 確認画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

ストリートビューを見る

1 **ホーム画面で［Google］▶［マップ］**

2 **ストリートビューで表示する地点をロングタッチ**

3 **画面左下に表示される写真をタップ**

場所を検索する

1 **ホーム画面で［Google］▶［マップ］**

2 **検索バーに検索する場所を入力**

3 **ソフトウェアキーボードの をタップ**

- 候補が表示されている場合は、目的の場所をタップします。

情報を表示する

地図上に交通状況などの情報を表示できます。

1 **ホーム画面で［Google］▶［マップ］**

2 **▶表示する情報を選択**

ナビゲーションをする

目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 **ホーム画面で［Google］▶［マップ］**

2 **▶移動の方法を選択**

3 **上の入力欄に出発地を入力▶下の入力欄に目的地を入力**

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

スケジュール

スケジュールを表示する

1 ホーム画面で▶［スケジュール］

2 ▶［月］／［週］／［日］のいずれかをタップ

- カレンダー部分を左右にスワイプ（フリック）すると、前後の月や週、日を表示します。

❖お知らせ

- 現在の日付にカーソルを移動するには、手順2で▶［日付移動］▶［今日］をタップします。
  任意の日付にカーソルを移動するには、手順2で▶［日付移動］▶カレンダー部分を左右にスワイプ（フリック）して月を選択し日付をタップ▶［移動］をタップします。
- 手順2で▶［スケジュール一覧］をタップすると、登録されているすべてのスケジュールを一覧で表示します。
- 手順2で▶［メモ一覧］をタップすると、「メモ」アプリの表示に切り替えられます。
- 表示が月の場合は、手順2で画面下部の▲をタップすると、カーソルのある日のスケジュールが一覧で表示されます。

スケジュールの予定を作成する

1 ホーム画面で▶［スケジュール］

2 ⊕▶項目を入力

- アラームなどを設定する場合は［入力オプションを表示］をタップします。

3 ［保存］

❖お知らせ

- スケジュールのアラームを設定している場合は、設定時刻になるとステータスバーに🔔が表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶［お知らせ時間になりました］をタップすると、予定の詳細を表示することができます。

スケジュールの予定を表示する

1 ホーム画面で▶［スケジュール］▶予定のある日付／時間を表示

- 表示が月または週の場合は、予定のある日付をタップします。

2 詳細を表示する予定をタップ

- 予定を編集するには、［編集］をタップします。

❖お知らせ

- 予定を削除するには、手順2で削除する予定をロングタッチ▶［1件削除］▶［削除する］をタップします。
- すべての予定を削除するには、ホーム画面で▶［スケジュール］▶▶［選択削除］▶［全選択］▶［削除実行］▶［削除する］をタップします。

スケジュールの表示条件を設定する

表示条件を設定すると、特定のデータのみ表示することができます。

1 ホーム画面で▶［スケジュール］

2 ▶［表示条件］

3 表示条件を選択▶［OK］▶をタップ

❖お知らせ

- 手順3で［フリーワード検索］▶検索する語句を入力▶［OK］▶［OK］▶をタップすると、「タイトル」「本文」「どこで？」で入力した内容を検索することができます。

時計

アラームや世界時計、ストップウォッチ、タイマー、おやすみ時間を利用できます。

- 時計について詳しくは、時計の表示中画面で▶［ヘルプ］をタップしてサポートをご覧ください。

アラームを設定する

1 ホーム画面で▶［時計］▶「アラーム」タブをタップ

2 ▶時刻を設定▶［OK］

- 必要に応じて、アラームの詳細を設定します。
- をタップすると設定画面を閉じます。

❖お知らせ

- アラーム画面で▶［設定］をタップすると、消音までの時間や音量などの設定ができます。
- アラームの時刻を編集するには、アラーム画面で時刻をタップします。
- アラームを削除するには、アラーム画面で▶［削除］をタップします。

アラームのオン／オフを切り替える

1 ホーム画面で▶［時計］▶「アラーム」タブをタップ

2 オン／オフを切り替えるアラームの／をタップ

アラーム音を止める

1 アラームが鳴っているときにを右にスワイプ（フリック）

❖お知らせ

- 左にスワイプ（フリック）すると、設定した時間の経過後に、再度アラームが鳴ります（スヌーズ）。
- 画面の点灯時（ロック画面を除く）は画面上部の通知をタップしても操作できます。

世界時計を利用する

世界各地の都市の日時や所在地との時差などを表示できます。

1 ホーム画面で▶［時計］▶「時計」タブ▶をタップ

2 都市名を入力▶一覧から都市を選択

- 都市を追加するには操作を繰り返します。

❖お知らせ

- 追加した都市をロングタッチ▶にドラッグすると、都市を削除できます。
- サマータイム期間中の時差は、表示される時差とは異なる場合があります。

タイマーを利用する

1 ホーム画面で▶［時計］▶「タイマー」タブをタップ

2 数字をタップして時間を設定

3 をタップ

4 タイマー音を止めるにはをタップ

❖お知らせ

- 画面ロック中にタイマー音を止めるには、■をタップします。
- タイマー画面で▶［設定］をタップすると、タイマー音などの設定ができます。

ストップウォッチを利用する

1 ホーム画面で▶［時計］▶「ストップウォッチ」タブをタップ

2 をタップ

3 をタップ

- 再開するときは、をタップします。
- ［リセット］をタップすると、計測結果を消去します。

おやすみ時間を利用する

睡眠中や起床時の本端末の動作を設定したり、睡眠前に心地よいサウンドを再生したりするなど、快適な睡眠をサポートする設定ができます。

1 ホーム画面で▶［時計］▶「おやすみ時間」タブをタップ

2 「スケジュール」カードのおやすみ時間と起床時間の時刻をタップして設定

- おやすみ時間のリマインダーやおやすみ時間モード中の動作、起床時の動作を設定することができます。
- 「最近のおやすみ時間のアクティビティ」カードでは、おやすみ時間モード中に記録された本端末の操作状況などを確認できます。
- 「安眠サウンド」カードでは、心地よいサウンドを再生できます。
- 「今後の予定」カードでは、カレンダーアプリに登録されている翌日のスケジュールを確認できます。

ドコモデータコピー

ドコモデータコピーは、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ・復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- 機種やOS、ファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元ができない場合があります。
- コピー、バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントとして登録されている電話帳です。
- 電池残量が不足しているとコピー、バックアップ、復元が実行できない場合があります。
- ドコモデータコピーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。

コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台を並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で▶［データコピー］▶［データ移行］

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

バックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。
- 本端末やmicroSDカードの空き容量が不足していると、バックアップ・復元が実行できない場合があります。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち内部ストレージに保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 画面ロック中や「STAMINAモード」（P.170）の作動中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータをmicroSDカードにバックアップします。

1 ホーム画面で▶［データコピー］▶［バックアップ&復元］

2 ［バックアップ］

3 ［バックアップ開始］▶［開始する］

- 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

4 ［トップに戻る］

復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

1 **ホーム画面で▶［データコピー］▶［バックアップ＆復元］**

2 **［復元］▶［次へ］▶［復元開始］▶［開始する］**
- 選択したデータが本端末に復元されます。

3 **［トップに戻る］**
- 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は「定期バックアップをONにする」と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

電話帳をdocomoのアカウントにコピー

Googleアカウントに登録された連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

1 **ホーム画面で▶［データコピー］▶［バックアップ＆復元］**

2 **［電話帳アカウントコピー］▶コピーする電話帳の［選択］▶［上書き］または［追加］**
- コピーした電話帳がdocomoのアカウントに保存されます。

3 **［OK］**

本体設定

設定メニューを表示する

1 ホーム画面で▶［設定］

ネットワークとインターネット	P.153
機器接続	P.164
外観	P.165
アプリと通知	P.165
バッテリー	P.170
画面設定	P.171
音設定	P.174
ストレージ	P.176
プライバシー	P.177
位置情報	P.178
セキュリティ	P.178
ドコモのサービス／クラウド	P.183
アカウント	P.184
Xperiaアシスト	P.185
ユーザー補助	P.185
Digital Wellbeingと保護者による使用制限	P.187
Google	P.188
システム	P.188
デバイス情報	P.193

❖お知らせ

- 本端末の利用状況によっては、「ネットワークとインターネット」の上におすすめの設定が表示される場合があります。
- 画面上部の「設定を検索」欄にキーワードを入力すると、設定項目などを検索できます。各設定画面の🔍をタップしても検索ができます。
- 設定の状況などにより、表示される項目や配置が異なる場合があります。

ネットワークとインターネット

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］

Wi-Fi	P.153
モバイル ネットワーク	P.157
機内モード	P.160
テザリング	P.160
データセーバー	P.163
VPN※	P.163
プライベートDNS※	対応するDNSサーバーに接続したとき、通信を暗号化するかどうかを設定します。プライベートDNSを登録することもできます。
スマートコネクティビティ※	Wi-Fiネットワークの接続が不安定なとき、モバイルネットワークを優先的に使用するように設定します。

※［詳細設定］をタップすると表示されます。

Wi-Fi

Wi-Fi機能で自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機器は同一周波数（2.4GHz）を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などに通信が途切れたり、音声が乱れたりすることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は、約10m以上離してください。
- 約10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-Fiをオンにする

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］

2 「Wi-Fi」のをタップ

- Wi-Fiがオンになるまで、数秒かかる場合があります。

❖お知らせ

- Wi-Fiがオンのときでもパケット通信を利用できます。Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にモバイルネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったまま利用すると、パケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- Wi-Fi機能を使用しないときは、オフにすることで電池の消費を抑制できます。
- Wi-Fi機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようにご注意ください。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［Wi-Fi］

2 接続するWi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続する場合は、Wi-Fiネットワークのパスワードを入力▶［接続］をタップします。

❖お知らせ

- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、利用できなくなったりする場合があります。
- Wi-Fiネットワークへの接続が成功すると、「接続済み」と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。
  なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。Wi-Fiネットワークへの接続操作をしてから、接続結果が表示されるまでに5分以上かかる場合があります。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントに接続すると5などが表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、アクセスポイントへの接続時に表示されるインターネットにアクセスできないことをお知らせする通知をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です（P.44）。

接続中のWi-Fiネットワークの設定を削除する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［Wi-Fi］

2 接続中のWi-Fiネットワークをタップ

3 ［削除］

- ［接続を解除］をタップすると、Wi-Fiネットワークの接続を解除できます。

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

- あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります（P.153）。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［Wi-Fi］

2 ［ネットワークを追加］

- をタップすると、Wi-FiパスワードのQRコードをスキャンしてWi-Fiネットワークに接続できます。

3 追加するWi-Fiネットワークのネットワーク名（SSID）を入力

4 「セキュリティ」の設定項目をタップ▶追加するWi-Fiネットワークのセキュリティタイプをタップ

- 「設定しない」「Enhanced Open」「WEP」「WPA/WPA2-Personal」「WPA3-Personal」「WPA/WPA2/WPA3-Enterprise」「WPA3-Enterprise 192-bit」の7種類から選択できます。

5 必要に応じて、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティ情報を入力

6 ［保存］

❖お知らせ

- ステルス設定を有効にした非公開のWi-Fiネットワークを追加する場合は、手順5で［詳細オプション］▶「非公開ネットワーク」の［いいえ］▶［はい］をタップします。

Wi-Fiの設定を行う

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［Wi-Fi］▶［Wi-Fi設定］

Wi-Fiを自動的にONにする※1	高品質の保存済みWi-Fiネットワークを検出したとき、自動的にWi-Fiをオンにして接続するかどうかを設定します。
パブリックネットワークを通知する	高品質のWi-Fiオープンネットワークを検出したときに通知するかどうかを設定します。
証明書のインストール※2	証明書をインストールします。
ネットワーク評価プロバイダ※1※2	Wi-Fiネットワークの状態などを評価して、より良いWi-Fiネットワークに接続する機能を設定します。
Wi-Fi Direct※1※2	P.156

※1 位置情報（P.178）をオンにすると設定できます。

※2［詳細設定］をタップすると表示されます。

❖お知らせ

- ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［Wi-Fi］▶［保存済みネットワーク］をタップすると、保存済みのWi-Fiネットワークの確認／削除や、自動接続の設定、Wi-Fiの共有などの操作ができます。
- ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［Wi-Fi］▶［Wi-Fiデータ使用量］をタップすると、Wi-Fiでのデータ使用量を確認できます。

Wi-Fi Direct機能を利用する

アクセスポイントを設定しなくても、Wi-Fi Direct®機能に対応した機器間で直接Wi-Fi接続ができます。

- あらかじめWi-Fiと位置情報をオンにしておく必要があります（P.153、P.178）。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［Wi-Fi］

2 ［Wi-Fi設定］▶［詳細設定］▶［Wi-Fi Direct］

3 接続するWi-Fi Direct対応機器名を選択

- ⋮▶［デバイスの検索］をタップすると、検出一覧を更新できます。
- 検出されたWi-Fi Direct対応機器側に表示される本端末の名前を変更するには、⋮▶［機器名を変更］をタップします。

❖お知らせ

- Wi-Fi Direct機能は、対応したアプリをインストールすることで利用可能となります。

モバイル ネットワーク

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［モバイル ネットワーク］

XXX使用	モバイルデータ使用量や、設定したデータ使用量の警告値などが表示されます。
モバイルデータ	P.157
データローミング	P.203
アプリのデータ使用量	「モバイルデータの使用サイクル」（P.158）で設定した期間のアプリごとのモバイルデータ使用量を確認したり、⚙をタップしてデータ使用量の警告と制限を設定したりできます（P.158）。 • グラフの下に表示されるアプリを選択すると、アプリごとにバックグラウンドでのモバイルデータ通信の制限などを設定できます。
データ使用量の警告と制限	P.158
MMSメッセージ※1	「モバイルデータ」がオフのときに表示されますが、本端末ではMMSは使用できません。
4G回線による通話	P.204
優先ネットワークの種類※2	P.204
ネットワークを自動的に選択※2	P.203
ネットワークを選択※2	「ネットワークを自動的に選択」をオフに設定しているとき、利用可能なネットワークを検索します。
アクセスポイント名※2	P.158

※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。
※2［詳細設定］をタップすると表示されます。ただし、操作状況によっては、［詳細設定］をタップしなくても表示される場合があります。

モバイルデータ通信を有効／無効にする

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［モバイル ネットワーク］

2 「モバイルデータ」の／をタップ

3 注意文を読んで［OK］

データ使用量の警告と制限を設定する

モバイルデータ使用量の使用サイクル（測定期間）を設定したり、モバイルデータ使用量の警告値や上限値を設定したりできます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［モバイル ネットワーク］▶［データ使用量の警告と制限］

モバイルデータの使用サイクル	モバイルデータ使用量の使用サイクル（測定期間）を設定します。
データ使用量を警告	モバイルデータ使用量が指定した警告値に達したとき、警告の通知を表示するかどうかを設定します。
警告するデータ使用量	モバイルデータ使用量の警告値を設定します。
データ使用量を制限	モバイルデータ使用量が指定した上限値に達したとき、モバイルデータ通信を一時停止するかどうかを設定します。
データ上限	モバイルデータ使用量の上限値を設定します。

❖お知らせ

- 表示されるモバイルデータ使用量は目安であり、実際の使用量とは異なる場合があります。実際のモバイルデータ使用量はMy docomoからご確認いただけます。
- モバイルデータ使用量が指定の上限値に達した場合は、モバイルデータ通信が一時停止されます。ご注意ください。
  モバイルデータ通信を再開するには、一時停止をお知らせする画面で［再開］をタップします。一時停止をお知らせする画面が表示されていない場合は、ステータスバーを下にドラッグ▶［モバイルデータの上限に達しました］▶［再開］をタップします。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.docomo.ne.jp/service/spmode/

mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

https://www.mopera.net/

■ 利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［モバイル ネットワーク］▶［詳細設定］▶［アクセスポイント名］

- 現在使用されているアクセスポイントには、右側のラジオボタンにチェックが付いています。

■ アクセスポイントを追加で設定する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［モバイル ネットワーク］▶［詳細設定］▶［アクセスポイント名］

2 ＋をタップ

- アクセスポイントを編集する場合は、編集するアクセスポイントをタップします。

3 ［名前］▶任意の名前を入力▶［OK］

4 ［APN］▶アクセスポイント名を入力▶［OK］

5 通信事業者によって要求されているその他すべての情報をタップして入力

6 ⋮▶［保存］

❖お知らせ

- MCC/MNCを初期値（440/10）以外に変更すると、APN画面に表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面に表示されなくなった場合には、手順2で⋮▶［初期設定にリセット］をタップするか、＋をタップして再度アクセスポイントの設定を行ってください。
- あらかじめ登録されているアクセスポイントは、編集せずにそのままお使いいただくことをおすすめします。

■ アクセスポイントを初期化する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［モバイル ネットワーク］▶［詳細設定］▶［アクセスポイント名］

2 ⋮▶［初期設定にリセット］

機内モード

電話、インターネット接続（メールの送受信を含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］

2 「機内モード」のをタップ

- ステータスバーにが表示されます。

❖お知らせ

- 機内モードがオンの場合でもWi-FiやBluetooth機能、NFC／おサイフケータイの機能をオンにできます。電波の使用を禁止された区域ではこれらの機能をオンにしないでください。
- 接続中のBluetooth機器によっては、機内モードをオンにしても接続が維持される場合があります。

テザリング機能を利用する

テザリング機能を利用すると、本端末をモデムとして無線LAN対応機器やUSB対応機器、Bluetooth機器、LANポート搭載機器をインターネットに接続させることができます。

❖お知らせ

- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末でモバイルデータ通信を利用できない場合は、テザリング機能を利用できません。
- 最大で15台（Wi-Fiテザリング：10台、USBテザリングまたはイーサネットテザリング：1台、Bluetoothテザリング：4台）の機器を同時に接続できます。
- データセーバー（P.163）をオンに設定中は、テザリング機能を利用できません。

Wi-Fiテザリングをオンにする

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時に接続できます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［テザリング］

2 ［Wi-Fiテザリング］▶をタップ

❖お知らせ

- Wi-Fiネットワーク接続中にWi-Fiテザリングを開始すると、Wi-Fi接続は切断されます。Wi-Fiテザリングを終了すると、自動的にWi-Fiネットワークに接続されます。
- 手順2で［Wi-Fiテザリング］▶「アクセスポイント名」の▦をタップすると、Wi-FiアクセスポイントのパスワードのQRコードを表示できます。

Wi-Fiテザリングの設定を変更する

初期状態で設定されているネットワーク名（SSID）やセキュリティの設定、パスワードを変更できます。

1 ホーム画面で⊞▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［テザリング］▶［Wi-Fiテザリング］

2 ［アクセスポイント名］▶Wi-Fiアクセスポイントのネットワーク名（SSID）を入力▶［OK］

- 初期状態は本端末の機器名が設定されています。

3 ［セキュリティ］▶設定するセキュリティタイプをタップ

4 必要に応じて［Wi-Fiテザリングのパスワード］▶パスワードを入力▶［OK］

- 初期状態はパスワードがランダムに設定されています。

❖お知らせ

- 手順2で［Wi-Fiテザリングを自動的にOFFにする］をタップして時間を指定すると、無線LAN対応機器の接続がないまま指定した時間を超えたとき、Wi-Fiテザリングは自動的にオフになります。
- 手順2で［詳細設定］▶「ネットワーク名の公開」の◯／●をタップすると、本端末の検出を許可するかどうかを設定できます。

USBテザリングをオンにする

1 本端末をUSBケーブル A to C 02（別売品）などでパソコンに接続（P.40）

- 本端末上にデータへのアクセス許可を確認する画面が表示された場合は、［拒否］をタップしてください。
- パソコンに本端末のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。
- 本端末上にソフトウェアのインストールを確認する画面が表示された場合は、［スキップ］をタップしてください。

2 ホーム画面で⊞▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［テザリング］

3 「USBテザリング」の をタップ

- パソコンに本端末のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。

❖お知らせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は次のとおりです。
  - Microsoft Windows 10
  - Microsoft Windows 8.1
- USBテザリング中は、パソコンで本端末の内部ストレージおよびmicroSDカードにアクセスすることはできません。

Bluetoothテザリングをオンにする

Bluetooth機器をインターネットに4台まで同時に接続できます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［テザリング］

2 「Bluetoothテザリング」の をタップ

❖お知らせ

- Bluetooth機器から本端末に接続するには、ペア設定（P.196）を行い、Bluetooth機器で本端末との接続方法を設定する必要があります。Bluetooth機器からの操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

イーサネットテザリングをオンにする

有線LANアダプタ（市販品）などを使用して、LANポート搭載機器をインターネットに接続できます。

1 本端末に有線LANアダプタを接続し、LANケーブルで本端末とLANポート搭載機器を接続する

2 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［テザリング］

3 「イーサネットテザリング」の をタップ

❖お知らせ

- 有線LANアダプタのプラグを無理に接続しないでください。無理に接続すると破損の原因となります。

データセーバー

アプリがバックグラウンドで行うモバイルデータ通信を制限し、データ使用量を抑制します。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［データセーバー］

2 「データセーバーを使用」のをタップ

❖お知らせ

- データセーバーでモバイルデータ通信を制限しないアプリを設定するには、手順2で［データ通信を制限しないアプリ］▶設定するアプリのをタップします。
- データセーバーをオンに設定中は、テザリング機能を利用できません。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）を使うと、企業や学校などの保護されたローカルネットワーク内の情報に外部からアクセスできます。

VPNを追加する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［詳細設定］▶［VPN］

2 ＋をタップ

3 ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を入力／設定

4 ［保存］

❖お知らせ

- VPNを編集するには、手順2でVPNの▶各項目を入力／設定▶［保存］をタップします。
- VPNを削除するには、手順2でVPNの▶［削除］をタップします。

VPNに接続する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［詳細設定］▶［VPN］

2 接続するVPNをタップ

3 ［接続］

- VPNに接続すると、ステータスバーにが表示されます。
- VPNの追加時にユーザー名やパスワードを入力していない場合は、必要な認証情報を入力▶［接続］をタップしてください。

❖お知らせ

- VPNを切断するには、手順2で接続中のVPNをタップ▶［切断］をタップします。

機器接続

1 ホーム画面で▶［設定］▶［機器接続］

新しい機器とペア設定する	P.196
接続の設定	P.164

❖お知らせ

- 本端末と他の機器を接続しているときは、「新しい機器とペア設定する」の上に機器情報が表示される場合があります。項目または⚙をタップすると接続方法の変更や、接続の解除などの操作ができます。
- Bluetooth機器とペア設定すると、「新しい機器とペア設定する」の下に「以前接続されていた機器」欄が表示され、ペア設定したBluetooth機器を確認できます。

接続の設定を行う

1 ホーム画面で▶［設定］▶［機器接続］▶［接続の設定］

Bluetooth	Bluetooth機能のオン／オフを切り替えたり、Bluetooth機器とペア設定をしたりします。
Bluetoothで受信したファイル	P.198
Chromebook	本端末とChromebookをリンクします。
ニアバイシェア	付近の対応機器とファイルを共有します。
Android Auto	Android Auto対応機器と接続したり、接続時の動作などを設定したりします。 • アプリの更新画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
キャスト	Google Cast対応機器などに本端末の画面を表示します。
スクリーンミラーリング※	スクリーンミラーリングに対応したテレビやタブレットに接続し、本端末の画面を表示します。
NFC／おサイフケータイ	P.139、P.140、P.141
USB接続設定	**ソフトウェアをインストール**：本端末をパソコンに接続したとき、本端末のコンテンツを管理するソフトウェアのインストール確認画面を表示するかどうかを設定します。
	USB機器自動検出を再開：USB Type-C接続端子に水分を検出すると、USB機器の自動検出が停止します。［USB機器自動検出を再開］をタップすると、自動検出を再開します。
印刷	印刷サービスのアプリをインストールします。

※ 使用環境によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。Wi-Fi機能のアンテナ部付近を手で覆うと、転送する映像の品質に影響を及ぼす場合があります。

外観

1 ホーム画面で▶［設定］▶［外観］

壁紙	P.77、P.83
時計	ロック画面の時計を設定します。

アプリと通知

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アプリと通知］

最近開いたアプリ※1	最近起動したアプリが表示されます。アプリをタップすると、アプリ情報を表示できます。
XX個のアプリをすべて表示※1	P.166
会話	通知を「優先」（P.65）に設定したメッセージアプリの会話などが表示され、設定の確認／変更ができます。
通知の設定	P.168
利用時間	アプリごとの利用時間を確認したり、アプリごとにタイマーを設定して1日の利用時間を制限したりできます。
標準のアプリ※2	標準で使用するアプリの設定を確認／変更します。
権限マネージャ※2	アプリの権限の設定を確認／変更します。
緊急速報メール※2	緊急速報「エリアメール」の設定をします。
特別なアプリアクセス※2	本端末の機能や情報にアクセスするアプリなどの設定を確認／変更します。

※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。

※2［詳細設定］をタップすると表示されます。

アプリ情報

インストールされたアプリの管理やアンインストールができます。また、アプリごとに通知や権限の設定を変更したり、データやキャッシュを削除したりできます。

アプリを管理する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アプリと通知］▶［XX個のアプリをすべて表示］

- ⋮▶［システムアプリを表示］をタップすると、すべてのアプリを表示できます。

2 管理するアプリをタップ

開く	アプリを起動します。
アンインストール／無効にする	P.167
強制停止	P.166
通知	通知の設定を変更します。
許可	アプリの権限の設定を確認／変更します。
ストレージとキャッシュ	データやキャッシュなどを削除します。
モバイルデータとWi-Fi	データ通信の使用状況を確認したり、バックグラウンドでのモバイルデータ通信の制限などを設定したりできます。
利用時間※	利用時間を確認したり、タイマーを設定して1日の利用時間を制限したりできます。
バッテリー※	前回のフル充電からの電池の使用状況を確認したり、バックグラウンドでの使用の制限などを設定したりできます。
デフォルトで開く※	特定の操作で使用するデフォルトのアプリの設定を消去します。
バージョン※	アプリのバージョンが表示されます。

※［詳細設定］をタップすると表示されます。

❖お知らせ

- アプリや使用状況によって、表示される項目が異なる場合や、項目が選択できない場合などがあります。

アプリを強制停止する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アプリと通知］▶［XX個のアプリをすべて表示］

- ⋮▶［システムアプリを表示］をタップすると、すべてのアプリを表示できます。

2 強制停止するアプリをタップ

3 ［強制停止］▶画面の内容を確認して［OK］

アプリをアンインストールする

- アンインストールする前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アプリと通知］▶［XX個のアプリをすべて表示］

2 アンインストールするアプリをタップ

3 ［アンインストール］▶［OK］

❖お知らせ

- プリインストールされているアプリはアンインストールできない場合があります。アンインストールできない一部のアプリは、無効化（P.167）できる場合があります。
- Google Playから入手したアプリはGoogle Playの画面からアンインストール（P.137）することをおすすめします。
- 手順3で⋮▶［アップデートのアンインストール］が表示された場合は、タップするとアプリを初期状態に戻すことができます。

アプリを無効化する

アンインストールできないアプリやサービスは無効化できる場合があります。

- 無効化したアプリはホーム画面などに表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはされません。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アプリと通知］▶［XX個のアプリをすべて表示］

- ⋮▶［システムアプリを表示］をタップすると、すべてのアプリを表示できます。

2 無効化するアプリをタップ

3 ［無効にする］▶画面の内容を確認して［アプリを無効にする］

❖お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効化することで正しく動作します。

アプリの設定をリセットする

アプリの無効化（P.167）やデフォルトのアプリの設定（P.166）、バックグラウンドデータの制限（P.166）、アプリの権限（P.55）などをリセットできます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アプリと通知］▶［XX個のアプリをすべて表示］

2 ⋮▶［アプリの設定をリセット］

3 ［設定リセット］

通知の設定

通知の履歴を確認したり、通知表示のオン／オフを設定したりできます。また、通知LEDの動作や、ロック画面での通知に関する設定を変更することもできます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アプリと通知］▶［通知の設定］

通知履歴	通知履歴を表示するかどうかを設定したり、通知の履歴を確認したりできます。
バブル	フローティングアイコン（バブル）（P.65）の表示を許可するかどうかを設定します。
通知を最近送信したアプリ	最近通知が表示されたアプリが表示され、通知のオン／オフを設定できます。
過去7日間をすべて表示	過去7日間に通知が表示されたアプリの一覧を表示し、通知のオン／オフを設定できます。
ロック画面上の通知	ロック画面に表示する通知の種類を設定します。
機密性の高い通知※1	ロック画面の通知に機密性の高い情報を表示するかどうかを設定します。
通知表示の維持	表示する通知があるとき、ロック画面に通知内容を表示し続けるかどうかを設定します。

ステータスバーにサイレント通知を表示しない※2	「サイレント」（P.65）に設定した通知アイコンを、ステータスバーに表示するかどうかを設定します。
通知のスヌーズを許可※2	通知にスヌーズを設定し、設定した時間に再表示できるようにするかどうかを設定します。スヌーズを設定するには、通知パネルで通知を左右にドラッグし、をタップします。
操作や返信の候補※2	通知に操作や返信の候補を自動的に表示させるかどうかを設定します。
アプリアイコン上の通知ドット※2	アイコンにドット（点）を表示して、アプリの通知を知らせるかどうかを設定します。
通知着信時のLED点滅※2	新着メールなどの通知があったときに通知LED（P.62）の点滅でお知らせするかどうかを設定します。
通知音※2	P.175

サイレントモード※2	**今すぐONにする／今すぐOFFにする**	サイレント モードを手動でオン／オフにします。
	人物	サイレント モードがオンのとき、会話や電話、＋メッセージの通知動作の割り込みを許可する条件を設定します。
	アプリ	サイレント モードがオンのとき、通知動作の割り込みを許可するアプリと条件を設定します。
	アラームとその他の割り込み	サイレント モードがオンのとき、通知動作の割り込みを許可する機能を設定します。
	スケジュール	サイレント モードを自動的にオンにするスケジュールを設定します。
	クイック設定の期間※2	サイレント モードを手動でオンにしたとき、機能をオフにするタイミングを設定します。
	通知の表示オプション※2	サイレント モードがオンのときの通知動作を設定します。

※1「画面のロック」（P.179）を「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定している場合に表示されます。
※2［詳細設定］をタップすると表示されます。

バッテリー

1 ホーム画面で▶［設定］▶［バッテリー］

XX% 残り時間 :XX※	電池残量と残りの使用可能時間（目安）などが表示されます。
アプリは正常に実行されています※	電池使用量の状況などが表示されます。
STAMINAモード	本端末の動作と一部の機能を制限し、電池の消費を抑えることができます。 •「スケジュールの設定」を「残量に基づく」に設定すると、指定した電池残量になったときにSTAMINAモードが自動的に有効になります。 •「充電時にオフにする」をオンにすると、充電中に電池残量が90%になったとき、STAMINAモードが自動的にオフになります。 •［今すぐONにする］／［今すぐOFFにする］をタップすると、STAMINAモードを手動でオン／オフにできます。 •［節電レベル］をタップすると、節電のレベルを設定できます。
緊急省電力モード	P.53
いたわり充電	P.38
自動調整バッテリー	使用頻度の低いアプリの電池使用を制限して電池の消費を抑えます。
電池残量	ステータスバーに電池残量（%）を表示するかどうかを設定します。
前回のフル充電	前回のフル充電から現在までの経過時間が表示されます。
フル充電からの画面使用	前回のフル充電から現在までの画面による電池の使用時間が表示されます。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

❖お知らせ

- 省電力機能では、電池の消費を抑えるためにバックグラウンドでの電池使用を制限します。アプリが省電力機能の影響を受けないように設定するには、対象外アプリとして設定してください。
  対象外アプリに設定するには、ホーム画面で▶［設定］▶［アプリと通知］▶［詳細設定］▶［特別なアプリアクセス］▶［省電力機能］▶［最適化していないアプリ］▶［すべてのアプリ］▶設定するアプリをタップ▶［最適化しない］▶［完了］をタップします。
- ホーム画面で▶［設定］▶［バッテリー］▶⋮▶［電池使用量］をタップすると、フル充電以降に電池を使用したアプリを確認したり、アプリごとにバックグラウンドでの使用の制限などを設定したりできます。
- アプリごとの電池消費量の情報は、本端末をフル充電するとリセットされます。

画面設定

1 ホーム画面で▶［設定］▶［画面設定］

画質設定	**色域とコントラスト**	静止画や動画の表示モードを設定します。
	動画再生時の画質最適化	コントラストや色調を拡張し、鮮明な臨場感のある画質で動画を再生します。
ホワイトバランス		P.172
明るさのレベル		P.172
明るさの自動調節		「明るさのレベル」の設定を基準に、周囲の明るさなどに応じて自動で画面の明るさを調節します。
画面消灯		画面が消灯するまでの時間を設定します。
フォントサイズ		文字サイズを設定します。
表示サイズ		画面に表示されるアイコンなどのサイズを拡大／縮小します。
ダークテーマ		対応する画面や表示にダークテーマを適用します。自動的にオン／オフにするスケジュールを設定することもできます。
画面の自動回転		P.52
ロック画面		P.172
サイドセンス※		P.173
片手モード※		P.73
カバーの選択※		お使いのカバー（市販品）に応じて、画面の明るさを補正するか、画面を消灯するように設定します。
スマートバックライト※		本端末を手に持って使用している間、タッチ操作をしていない状態でも画面を消灯しないように設定します。 • スマートバックライトをオンにして本端末を手に持っていても、端末の静止状態が続くと画面が消灯する場合があります。
ナイトライト※		画面を黄色みがかった色にして、薄明かりの場所でも画面を見やすくします。自動的にオン／オフにするスケジュールを設定することもできます。
スクリーンセーバー※		スクリーンセーバーを設定します。

※［詳細設定］をタップすると表示されます。

ホワイトバランスを調整する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［画面設定］▶［ホワイトバランス］

2 ［暖色］／［中間色］／［寒色］／［カスタム］のいずれかをタップ

- 「カスタム」を選択した場合は、スライダを設定する位置でタップ、または左右にドラッグします。

❖お知らせ

- 手順2でスライダを設定する位置でタップ、または左右にドラッグすると、自動的に「カスタム」に設定されます。

画面の明るさを調節する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［画面設定］▶［明るさのレベル］

2 スライダを設定する位置でタップ、または左右にドラッグ

ロック画面の設定をする

1 ホーム画面で▶［設定］▶［画面設定］▶［ロック画面］

時計	ロック画面の時計を設定します。
ロックダウンオプションの表示※1	電源キーを1秒以上押したときに表示されるメニューに「ロックダウン」を表示します。「ロックダウン」をタップして画面ロックをかけると、Smart Lockや指紋認証によるロック解除を無効にしたり、通知を非表示にしたりできます。
ロック画面からユーザーを追加※1※2	ロック画面のクイック設定パネル（P.66）からゲストやユーザーを追加できるようにするかどうかを設定します。
ロック画面にテキストを追加	ロック画面に表示するテキストを入力します。
通知内容の表示	ロック画面に通知内容を表示するかどうかを設定します。※3
通知表示の維持	表示する通知があるとき、ロック画面に通知内容を表示し続けるかどうかを設定します。

※1 「画面のロック」（P.179）を「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定している場合に表示されます。

※2「複数ユーザー」（P.191）をオンに設定している場合に表示されます。
※3「画面のロック」の設定により表示される項目は異なります。

サイドセンスを設定する

サイドセンス機能（P.48）を利用するための設定を行います。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［画面設定］▶［詳細設定］▶［サイドセンス］

2 をタップ

サイドセンスメニュー設定	サイドセンスメニューに表示するアプリを設定します。
マルチウィンドウメニュー設定	マルチウィンドウメニューに表示するアプリのペア（組み合わせ）を設定します。

サイドセンスバーの操作範囲	**有効にする側面**	サイドセンスバーの有効範囲を「両側」「右側」「左側」から選択します。
	サイドセンスを一時的に無効にする	誤操作を防止するため、タッチスクリーンを操作中は一時的にサイドセンス機能を無効にするかどうかを設定します。
	長さ	サイドセンスバーの長さを設定します。
	透明度	サイドセンスバーの透明度を設定します。
	位置	サイドセンスバーの位置を設定します。 • サイドセンスバーをロングタッチ▶上下にドラッグしても、位置を変更できます。
	スライダーの値をリセット	サイドセンスバーの長さ、透明度、位置の設定を、初期状態に戻します。
サイドセンスバーの感度調整	**ダブルタップの速さ**	サイドセンスバーが認識するダブルタップ操作の速さを調整します。
	スライドの長さ	サイドセンスバーが認識するスライド操作の長さを調整します。
ジェスチャー操作の割り当て※		サイドセンスバーをダブルタップ／上スライド／下スライドしたときの操作（ジェスチャー操作）を割り当てます。

ロック画面でサイドセンスを使用する	ロック画面でサイドセンスメニューを表示できるようにするかどうかを設定します。
ジェスチャー操作を有効にするアプリ	アプリごとにサイドセンス機能の使用を許可するかどうかを設定します。
アプリの予測精度を高める	サイドセンス機能のアプリの予測精度を高めるため、Xperiaインテリジェンスエンジンに位置情報の使用を許可するかどうかを設定します。

※ 項目を選択できない場合は、一度サイドセンスメニューを表示してから操作してください。

音設定

1 ホーム画面で▶［設定］▶［音設定］

オーディオ設定	DSEE HX	P.142
メディアの音量		P.175
通話音量		
着信音と通知音の音量		
アラームの音量		
着信時のバイブレーション		着信中のバイブレーションの動作を設定します。
サイレント モード		P.169
メディア		クイック設定ツール下に表示される音楽などの操作パネルを非表示にしたとき、クイック設定パネルからも非表示にするかどうかを設定します。
着信音		P.175
通知音		
アラーム音		
ダイヤルパッドの操作音※		ダイヤルキーをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロックの音※		電源キーを押して画面ロックをかけたときや、画面ロックを解除したときに音を鳴らすかどうかを設定します。

充電開始音※	充電の開始を音と振動でお知らせするかどうかを設定します。
タッチ操作音※	メニューを選択したときなどに音を鳴らすかどうかを設定します。
タップ操作時のバイブ※	キーアイコンをタップしたときなどに、本端末を振動させるかどうかを設定します。

※［詳細設定］をタップすると表示されます。

❖お知らせ

- マナーモードについては、「マナーモードを設定する」（P.52）をご参照ください。

各種音量を調節する

メディア再生音、通話、着信音と通知音、アラームの音量を調節します。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［音設定］

2 「メディアの音量」／「通話音量」／「着信音と通知音の音量」／「アラームの音量」のスライダを設定する位置でタップ、または左右にドラッグ

❖お知らせ

- メディアの音量は音量キーを押しても調節できます。また、通話中に音量キーを押すと、通話音量を調節できます。
- 着信時に音量キーまたは電源キーを押すと、着信音を消音にすることができます。

着信音／通知音／アラーム音を設定する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［音設定］

2 ［着信音］／［通知音］／［アラーム音］のいずれかをタップ

3 設定する音を選択▶［OK］

❖お知らせ

- 初期状態で登録されている着信音や通知音、アラーム音以外の音を設定する場合は、手順3で［音を追加］／［通知の追加］／［アラームの追加］のいずれかをタップします。
- 手順3で着信音や通知音を選択すると、「着信音と通知音の音量」で設定した音量で鳴ります。ただし、消音にしている場合は鳴りません。

ストレージ

内部ストレージやmicroSDカード、USBストレージの容量を確認したり、microSDカードやUSBストレージを初期化（フォーマット）したりできます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ストレージ］

XX.XXGB **使用中（合計64.00GB）**※	内部ストレージの使用容量および合計容量が表示されます。
内部共有ストレージ※	内部ストレージの使用容量／合計容量が表示されます。
SDカード※	microSDカードの使用容量／合計容量が表示されます。
USBドライブ※	USBストレージの使用容量／合計容量が表示されます。

※ microSDカードやUSBストレージの認識状態により表示される項目は異なります。

❖お知らせ

- ［内部共有ストレージ］▶［ストレージを管理］をタップすると、ファイルやアプリを選択して削除／アンインストールし、内部ストレージの空き容量を増やすことができます。
- ［内部共有ストレージ］▶［ファイル］をタップするか、［SDカード］／［USBドライブ］をタップするとデーター覧画面が表示され、保存されているデータの確認や、データのコピー／移動／削除／共有などの操作ができます（P.194）。
- microSDカード／USBストレージの認識を解除するには、「SDカード」／「USBドライブ」の⏏をタップします。再度認識させる場合は［SDカード］／［USBドライブ］▶［マウント］をタップします。
- microSDカード／USBストレージのフォーマットを行うには、［SDカード］／［USBドライブ］▶⋮▶［ストレージの設定］▶［フォーマット］▶［SDカードをフォーマット］／［USBドライブをフォーマット］をタップします。
  フォーマットを行うと保存されている内容がすべて消去されますのでご注意ください。

プライバシー

1 ホーム画面で▶［設定］▶［プライバシー］

ユーザー補助の使用※1	本端末へのフルアクセスを許可しているアプリの確認・設定をします。
権限マネージャ	アプリの権限の設定を確認／変更します。
パスワードの表示	ロックNo.／パスワードなどの入力画面で、「●」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
通知内容の表示	ロック画面に通知内容を表示するかどうかを設定します。※2
Googleの自動入力サービス※3	保存された情報を確認したり、設定を変更したりします。
Googleロケーション履歴※3	Googleロケーション履歴を利用するかどうかを設定したり、保存されたアクティビティを管理したりします。
アクティビティ管理※3	アクティビティを有効にするかどうかを設定したり、Googleに保存を許可するアクティビティと情報を選択したりします。
広告※3	広告IDをリセットしたり、広告IDを使用しないように設定したりします。
使用状況と診断情報※3	使用状況などをGoogleに送信するかどうかを設定します。

※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。

※2「画面のロック」の設定により表示される項目は異なります。

※3［詳細設定］をタップすると表示されます。ただし、操作状況によっては、［詳細設定］をタップしなくても表示される場合があります。

位置情報

1 ホーム画面で▶［設定］▶［位置情報］

2 「位置情報の使用」のをタップ

3 位置情報の注意文を読んで［同意する］

最近の位置情報リクエスト	最近の位置情報データを使用したアプリやサービスが表示されます。
すべて表示	最近の位置情報データを使用したすべてのアプリやサービスが表示されます。
位置情報へのアプリのアクセス	位置情報を使用するアプリの権限を確認／変更します。
Wi-FiのスキャンとBluetoothのスキャン	Wi-Fi機能やBluetooth機能がオフの場合でも、Wi-Fiネットワーク／Bluetooth機器のスキャンを許可するかどうかを設定します。
Googleロケーション履歴※	Googleロケーション履歴を利用するかどうかを設定したり、保存されたアクティビティを管理したりします。
Google位置情報の精度※	Wi-Fiやモバイルネットワークなどを使用して、位置情報の精度を改善するかどうかを設定します。
Google現在地の共有機能※	現在地の共有機能を利用します。
緊急位置情報サービス※	緊急位置情報サービス（ELS）を利用するかどうかを設定します。

※［詳細設定］をタップすると表示されます。

セキュリティ

1 ホーム画面で▶［設定］▶［セキュリティ］

Google Playプロテクト※1	本端末を定期的にスキャンし、セキュリティ上の脅威を確認するかどうかを設定します。
デバイスを探す※1	「デバイスを探す」機能のオン／オフを設定したり、端末を探す方法を確認したりします。
セキュリティアップデート※1	ソフトウェアアップデートの有無を確認します（P.218）。
Google Playシステムアップデート※1	システムアップデートの有無を確認します。
画面のロック	P.179
指紋設定	P.181
Smart Lock	画面ロックの解除方法を「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定している場合に、自動的にロックを解除する条件を設定します。
デバイス管理アプリ	本端末を管理するアプリを有効にするかどうかを設定します。
SIMカードロック設定※2	P.46

暗号化と認証情報※3	**スマートフォンの暗号化**	内部ストレージはお買い上げ時に暗号化されています。
	ストレージのタイプ	認証情報ストレージ※4のタイプが表示されます。
	信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
	ユーザー認証情報	本端末に保存されているユーザー認証情報を管理します。
	証明書のインストール	証明書をインストールします。
	認証ストレージの消去	認証情報ストレージに保管したすべての証明書や認証情報を削除します。※5
信頼エージェント※3		画面ロックの解除方法を「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定しているとき、信頼エージェントを有効にするかどうかを設定します。
画面のピン留め※3		画面をピン留めできるようにするかどうかを設定します。オンに設定すると、タスクマネージャ（P.67）でサムネイルの上部に表示されるアイコンをタップしたときに、「画面のピン留め」が表示されます。

※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。
※2 ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。
※3 ［詳細設定］をタップすると表示されます。ただし、操作状況によっては、［詳細設定］をタップしなくても表示される場合があります。
※4 認証情報ストレージに証明書や認証情報を保管します。
※5 VPNの設定も削除されます。

画面ロックの解除方法を設定する

本端末の電源を入れたりスリープモードを解除したりしたときに、画面ロックの解除方法（パターン／ロックNo.／パスワード）を入力するように設定できます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［セキュリティ］▶［画面のロック］

2 ［パターン］／［ロックNo.］／［パスワード］のいずれかをタップ

3 画面の指示に従って設定

- 設定が完了すると、設定メニューの「セキュリティ」に戻ります。
- 「ロックNo.」を選択したときは4～16桁の数字、「パスワード」を選択したときは4～16文字の英数字・記号を登録します。

4 必要に応じて「画面のロック」の⚙をタップ

パターンを表示する※	パターン入力時にパターンを表示するかどうかを設定します。
画面消灯後にロック	画面が消灯してから自動で画面ロックがかかるまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにロックする	電源キーを押して画面を消灯したとき、すぐに画面ロックがかかるようにするかどうかを設定します。

※「パターン」に設定したときのみ表示されます。

画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を設定（P.179）した後に、電源キーを押してスリープモードにする、または画面が消灯してから「画面消灯後にロック」で設定した時間が経過すると、画面ロックがかかります。

■ 画面ロックを解除する場合

1 画面ロック中に電源キーを押して画面を点灯▶画面を上にスワイプ（フリック）▶画面ロックの解除方法を入力

■ 画面ロックを無効にする場合

1 ホーム画面で⊞▶［設定］▶［セキュリティ］▶［画面のロック］▶設定したパターン／ロックNo.／パスワードを入力▶［なし］▶［無効にする］

❖お知らせ

- パターン／ロックNo.／パスワードの入力を5回連続して間違えると、画面ロックを解除できなくなります。約30秒経過してから再度画面ロック解除の操作を行ってください。
- 設定したパターン／ロックNo.／パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

指紋認証機能を設定する

本端末には指紋センサー（P.30）が搭載されており、登録した指で触れることで、画面ロックを指紋認証で解除できます。

指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能（指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変えるなどで、認証性能が改善されることがあります。
  - 風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたりしている
  - 指に汗や脂（ハンドクリームなど）が多く付着している
  - 泥や油などで指が汚れている
  - 手荒れしているか、指に損傷（切り傷やただれなど）がある
  - 指が極端に乾燥している
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
  - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋センサー利用時のご注意

- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。また、表面をひっかいたり、先の尖ったものでつついたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。
- 指紋センサーにシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- 指紋センサーが汚れると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。

指紋を登録する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［セキュリティ］▶［指紋設定］

- 指紋を登録済みの場合は画面ロックの解除方法を入力する画面が表示され、解除方法を入力すると指紋設定画面が表示されます。

2 画面ロックの解除方法を選択

- 以降は画面の指示に従って操作してください。登録が終了すると指紋が追加されたことをお知らせする画面が表示されます。［完了］をタップすると登録を終了、［他の指紋を追加］をタップすると他の指紋を登録できます。
- 画面ロックの解除方法は、指紋認証を利用できないときに使用します。
- 画面ロックの解除方法を入力する画面が表示された場合は設定した解除方法を入力し、画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- 指紋設定画面では、次の操作ができます。
  - 指紋の名前を変更するには、登録した指紋をタップ▶名前を入力▶［OK］をタップします。
  - 指紋を削除するには、登録した指紋の🗑▶［削除］をタップします。
  - 他の指紋を登録するには、［指紋を追加］をタップします。

指紋認証を行う

1 ロック画面表示中に、登録した指で指紋センサーに触れる

- ロック画面で画面を上にスワイプ（フリック）すると、設定した画面ロックの解除方法を入力する画面が表示されます。

❖お知らせ

- 指紋認証が5回連続して認識されなかった場合は、指紋認証ができなくなります。しばらくしてから再度指紋認証を行うか、画面を上にスワイプ（フリック）して設定した画面ロックの解除方法を入力してください。
- 指紋認証が20回連続して認識されなかった場合は、指紋認証センサーが無効になります。画面を上にスワイプ（フリック）して設定した画面ロック解除方法を入力してください。

ドコモのサービス／クラウド

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ドコモのサービス／クラウド］

dアカウント設定	ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します（P.44）。また、端末に登録されている生体情報（指紋）を利用したdアカウント認証の設定もできます。
ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定をします。
ドコモアプリデータバックアップ	ドコモアプリのデータを自動的にバックアップ／復元する機能を利用するかどうかを設定したり、データがバックアップされたアプリの一覧を確認したりできます。
ドコモアプリ管理	ドコモアプリの管理をしたり、通知や自動アップデートの設定をしたりします。
おすすめアプリ	おすすめアプリの設定をしたり、過去に受信した通知を確認したりします。
おすすめ使い方ヒント	おすすめ使い方ヒントを表示するかどうかを設定したり、過去に表示されたヒントを確認したりします。
スグアプ設定	スマホを振るなどの直感操作で、スグにアプリの起動や電話の操作ができます（P.69）。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定をします。
端末アプリ情報送信	アプリ情報をドコモが管理するサーバーに送信するかどうかを設定します。
会員情報／プロフィール情報設定	ドコモの各種サービスで利用する会員情報／プロフィール情報の確認や変更ができます。
ドコモ初期設定	P.42
USBデバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定をします。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

❖お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

アカウント

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アカウント］

アカウントを追加	P.184
アプリデータを自動的に同期する	P.184

アカウントを追加する

オンラインサービスのアカウントを追加したり、削除したりできます。

- Googleアカウントの設定について（P.43）
- 自動同期について（P.184）

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アカウント］▶［アカウントを追加］

2 アカウントの種類をタップ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- docomoのアカウントは、お買い上げ時から設定されています。

アカウントを削除する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アカウント］▶削除するアカウントを選択

2 ［アカウントを削除］▶［アカウントを削除］

❖お知らせ

- docomoのアカウントは削除できません。

アカウントの自動同期を設定する

本端末とオンラインサービス上の情報を自動的に同期できます。本端末およびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。

- 自動同期を設定すると、同期するときに通信が発生し、パケット通信料がかかる場合があります。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アカウント］

2 「アプリデータを自動的に同期する」のオフ／オンをタップ▶［OK］

手動同期する

自動同期がオフのとき、登録されたアカウントを同期します。

- アカウントの種類によっては操作できない場合があります。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［アカウント］

2 アカウントを選択▶［アカウントの同期］▶同期する項目を選択

Xperiaアシスト

本端末の使いかたを紹介する「Xperia使いこなしガイド」を確認したり、サポートのページを表示したりできます。また、電池に関する設定をしたり、ストレージとメモリの最適化を行う設定をしたりすることもできます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［Xperiaアシスト］

Xperia使いこなしガイド	Xperia使いこなしガイドを表示して、機能の説明や使いかたなどを確認します。
STAMINAモード	STAMINAモードの設定を行います（P.170）。
いたわり充電	いたわり充電の設定を行います（P.38）。
スマートクリーナー	アプリの利用傾向を分析して、自動でストレージとメモリを最適化するかどうかを設定します。
Xperia Lounge Japan	ソニーの製品やキャンペーン情報などを確認します。
サポート	ソニーのサポートページを表示します。

ユーザー補助

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ユーザー補助］

おすすめ使い方ヒント	おすすめ使い方ヒントサービスを使用するかどうかを設定します。 • あらかじめ使用するための設定が必要です（P.183）。
テキスト読み上げの設定	P.187
フォントサイズ	文字サイズを設定します。
表示サイズ	画面に表示されるアイコンなどの表示サイズを拡大／縮小します。
ダークテーマ	対応する画面や表示にダークテーマを適用します。
拡大操作	拡大操作ができるようにするかどうかを設定します。
色補正	色が区別しにくい場合に色補正します。
色反転	画面の色を反転させるかどうかを設定します。
大きなマウスポインター	マウス（市販品）などを使用時のポインターを大きくするかどうかを設定します。
アニメーションを無効化	画面表示のアニメーション効果をオフにするかどうかを設定します。

マウスポインターが停止したらクリック	マウス（市販品）などを使用時に、ポインターが停止したらクリック操作を行うようにするかどうかを設定します。
電源ボタンで通話を終了※1	電源キーを押して通話を終了できるようにするかどうかを設定します。
画面の自動回転	P.52
長押し感知までの時間	画面をロングタッチして操作するときの反応速度を設定します。
操作までの時間（ユーザー補助タイムアウト）	画面上部に表示される、操作メニューが表示された通知メッセージなどの表示時間を設定します。 • アプリや機能によっては、設定に従って動作しない場合があります。
バイブレーションと触覚フィードバックの強さ	着信や通知があったとき、キーアイコンをタップしたときなどに、本端末を振動させるかどうかを設定します。 • アプリや機能によっては、オフにしても本端末が振動する場合があります。
システムナビゲーション	キーアイコンの操作を、ジェスチャーナビゲーションに変更します。
モノラル音声	音声をモノラル再生するかどうかを設定します。
オーディオバランス	オーディオバランスを設定します。

字幕の設定	字幕を表示するかどうかを設定したり、字幕のサイズやスタイルなどを設定したりします。
高コントラストテキスト	背景色に対して文字をくっきり表示するかどうかを設定します。
ロック画面からのショートカット※2	ロック画面からの音量ボタンのショートカットを使用するかどうかを設定します。

※1「電源ボタンで通話を終了」がオンの状態で、通話中にスリープモードになった場合は、電源キーを押してスリープモードを解除してから電源キーを押すと通話を終了できます。

※2［詳細設定］をタップすると表示されます。

テキスト読み上げを設定する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ユーザー補助］▶［テキスト読み上げの設定］

優先するエンジン	テキスト読み上げエンジンの選択や設定を行います。
言語	テキスト読み上げの言語を設定します。
音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
音の高さ	テキストを読み上げる音声の高さを設定します。
再生	読み上げのサンプルを再生します。
リセット	「音声の速度」「音の高さ」の設定を標準に戻します。

❖お知らせ

- 本機能の設定でテキスト読み上げを行うには、対応するテキスト読み上げアプリをダウンロードする必要があります。

Digital Wellbeingと保護者による使用制限

本端末の利用習慣を確認したり、アプリタイマーなどのツールで利用時間を管理したりして、本端末の使いすぎを防止することができます。また、保護者による使用制限を設定することもできます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［Digital Wellbeingと保護者による使用制限］

2 各項目を確認・設定

Google

Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［Google］

2 各項目を設定

❖お知らせ

- Bluetooth機器を使用して音声検索を行うには、手順2で［アカウントサービス］▶［検索、アシスタントと音声］▶［音声］▶「Bluetoothでの録音」のをタップします。

システム

1 ホーム画面で▶［設定］▶［システム］

言語と入力		P.189
ジェスチャー		P.190
日付と時刻		P.190
バックアップ	Googleドライブへのバックアップ	アプリのデータや本端末の設定などを、Googleドライブにバックアップするかどうかを設定します。
	アカウント※1	Googleドライブにバックアップするアカウントを設定します。 • アカウントを設定すると、バックアップを手動で実行する項目などが表示されます。
リセットオプション※2	ネットワーク設定のリセット	ネットワーク設定をリセットできます。
	アプリの設定をリセット	P.168
	すべてのデータを消去（出荷時リセット）	P.191
複数ユーザー※2		P.191
システムアップデート※2		P.218

アプリケーション更新※2	アプリの更新確認をしたり、自動更新の設定をしたりできます。

※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。
※2 ［詳細設定］をタップすると表示されます。

言語と入力

1 ホーム画面で▶［設定］▶［システム］▶［言語と入力］

言語		P.189
画面上のキーボード	Gboard	P.61
	ドコモ文字編集	
	Google音声入力	
	画面キーボードを管理	文字入力時に切り替えて使用する入力方法を設定します。
物理キーボード	**画面上のキーボードの表示**	本端末にキーボードを接続して文字を入力するとき、ソフトウェアキーボードも表示するかどうかを設定します。
	キーボードショートカット	本端末に接続したキーボードで使用できるショートカットを表示します。
スペルチェック※		スペルチェックを行うかどうかを設定します。
自動入力サービス※		自動入力サービスの選択や設定を行います。
単語リスト※		スペルチェッカーアプリなどで使われる単語を追加できます（P.61）。
ポインタの速度※		マウス（市販品）などを使用時のポインターの速度を設定します。
テキスト読み上げの設定※		P.187

※［詳細設定］をタップすると表示されます。

使用する言語を変更する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［システム］▶［言語と入力］▶［言語］

2 ［言語を追加］▶使用する言語を選択▶必要に応じて国・地域を選択

3 使用する言語の＝を最上段（「1」の位置）までドラッグ

❖お知らせ

- 間違った言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、次のホームページのFAQをご覧ください。
  https://xperia.sony.jp/support/

ジェスチャー

1 ホーム画面で▶［設定］▶［システム］▶［ジェスチャー］

サイドセンス	P.173
片手モード	P.73
スマートバックライト	本端末を手に持って使用している間、タッチ操作をしていない状態でも画面を消灯しないように設定します。 • スマートバックライトをオンにして本端末を手に持っていても、端末の静止状態が続くと画面が消灯する場合があります。
システムナビゲーション	キーアイコンの操作を、ジェスチャーナビゲーションに変更します。
電源メニュー	電源キーを1秒以上押したときに表示されるメニューに、本端末に接続されているスマートホームデバイス（市販品）などのコントロールを表示するかどうかを設定します。
電源キーオプション	電源キーを2回押して起動できるアプリ／機能を設定します。

日付と時刻

• 日付、時刻、タイムゾーン、24時間表示を手動で設定する場合は、「ネットワークの時刻を使用する」「ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する」「言語／地域のデフォルトを使用する」をオフにする必要があります。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［システム］▶［日付と時刻］

ネットワークの時刻を使用する	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正します。
日付	日付を手動で設定します。
時刻	時刻を手動で設定します。
ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正します。
タイムゾーン	タイムゾーンを手動で設定します。
言語／地域のデフォルトを使用する	「言語」（P.189）の設定に従って自動的に24時間表示にするかどうかを設定します。
24時間表示	24時間表示を手動で設定します。

❖お知らせ

• 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。

本端末をリセットする

本端末をリセットすると、端末内のすべてのデータおよびアカウントなどが削除され、本端末は初期状態に戻ります。

- 削除されるデータにはダウンロードしたアプリや内部ストレージ内のデータ（音楽や画像など）も含まれます。
- 必ず本端末の重要なデータをバックアップしてからリセットしてください。
- リセットは充電しながら行うか、電池が十分に充電された状態で行ってください。
- 初期設定について（P.42）

1 ホーム画面で▶［設定］▶［システム］▶［詳細設定］▶［リセットオプション］▶［すべてのデータを消去（出荷時リセット）］

2 ［すべてのデータを消去］

- 必要に応じて画面ロックの解除方法（「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」）を入力します。

3 ［すべてのデータを消去］

❖お知らせ

- プリインストールされているコンテンツによっては再度ダウンロードできます。ダウンロードするには、ホーム画面で▶［Xperia Lounge Japan］▶▶［サポート（ブラウザで開きます）］▶［スマートフォン／タブレット関連（プリインストールコンテンツなどの再ダウンロード）］▶［ドコモ］をタップして表示される画面から本端末を選択してください。

複数ユーザー

ユーザーを追加することで、本端末を複数のユーザーで共有できます（ユーザーやゲストが利用できる機能）。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［システム］▶［詳細設定］▶［複数ユーザー］

2 をタップ

自分（所有者）※1	プロファイル情報の確認や編集ができます。 • 所有者以外が使用中の場合は「所有者」※1と表示され、タップすると所有者に切り替えることができます。

ゲストを追加	ゲストを追加します。ゲストが追加された状態で、ゲスト以外が使用中の場合は「ゲスト」と表示されます。 • 所有者が使用中に［ゲスト］をタップすると、ゲストへの切り替えや、電話の使用許可の設定、ゲストの削除ができます。 • ゲストが使用中の場合は「ゲストを削除」が表示され、タップするとゲストが使用したアプリやデータを削除できます。
ユーザーを追加	ユーザーを追加します。追加したユーザーに初めて切り替えるときは、初期設定が必要になります。画面の指示に従って設定してください。 • 初期設定が完了したユーザーは「(Googleアカウントに設定した名前)」、完了していないユーザーなどは「新しいユーザー」と表示されます。 • 所有者が使用中に追加したユーザーをタップすると、ユーザーへの切り替えや、電話と＋メッセージ（SMS）の使用許可の設定、ユーザーの削除ができます。 • 使用中のユーザーをタップすると、プロファイル情報の確認や編集ができます。
ロック画面からユーザーを追加 ※2	ロック画面のクイック設定パネル（P.66）からゲストやユーザーを追加できるようにするかどうかを設定します。

※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。

※2「画面のロック」（P.179）を「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定し、所有者が使用している場合に表示されます。

❖お知らせ

- 所有者とゲストを合わせて、最大5人のユーザーを登録できます。
- 使用者がユーザー／ゲストの場合は、表示される機能が異なったり、アプリや機能の利用が制限されたりします。

デバイス情報

1 ホーム画面で▶［設定］▶［デバイス情報］

デバイス名	本端末の名前を登録します。
電話番号	自分の電話番号が表示されます。
緊急時情報	緊急時の初期対応で役立つ血液型などの情報や、緊急時の連絡先を登録します。
法的情報	サードパーティライセンスやGoogle利用規約などを確認できます。
認証	P.229
詳細な診断データ	本端末の詳細な診断データを送信するかどうかを設定します。

SIMのステータス	バージョンや各種番号、ドコモnanoUIMカードのステータス、電池性能などを確認できます。
モデル	
IMEI	
IMEIバーコード表示	
Androidバージョン	
電池性能表示	
IPアドレス	
Wi-Fi MACアドレス	
デバイスのWi-Fi MACアドレス	
Bluetoothアドレス	
稼働時間	
ビルド番号	

ファイル管理

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時に、内部ストレージ（/storage/emulated/0）に作成されるフォルダは次のとおりです。

- 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	システムや各種アプリの設定データ、一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画が保存されます。
Download	ウェブブラウザでダウンロードしたデータが保存されます。
Movies	動画（カメラで撮影したものを除く）が保存されます。
Music	音楽データが保存されます。
Notifications	通知音などが保存されます。
Pictures	静止画（カメラで撮影したものを除く）が保存されます。
Podcasts	Podcastのファイルなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

microSDカード（外部ストレージ）

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

- microSDカードの取り付け／取り外しについて（P.35）

ファイル操作

「ファイル」アプリを利用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存されているデータを操作します。

1 ホーム画面で▶［ファイル］

- 最近使用したファイルが表示されます。

2 ≡▶デバイス名をタップ

- 本端末の内部ストレージが表示されます。
- microSDカードを取り付けている場合は、≡をタップするとメニューに表示されます。

3 必要に応じてフォルダをタップ

4 **ファイルをタップ**
- 対応するアプリでデータが表示されます。

❖お知らせ
- データを検索する場合は、手順2で🔍をタップしてファイル名を入力し、ソフトウェアキーボードの🔍をタップします。

■ フォルダを作成する

1 **ホーム画面で⊞▶［ファイル］**
2 **≡▶カテゴリやストレージをタップ**
3 **必要に応じてフォルダをタップ**
4 **⋮▶［新しいフォルダ］**
5 **フォルダ名を入力▶［OK］**

■ フォルダまたはファイルの名前を変更する

1 **ホーム画面で⊞▶［ファイル］**
2 **≡▶カテゴリやストレージをタップ**
3 **必要に応じてフォルダをタップ**
4 **名前を変更するフォルダまたはファイルをロングタッチ**
5 **⋮▶［名前を変更］▶名前を入力▶［OK］**

■ フォルダまたはファイルを削除する

1 **ホーム画面で⊞▶［ファイル］**
2 **≡▶カテゴリやストレージをタップ**
3 **必要に応じてフォルダをタップ**
4 **削除するフォルダまたはファイルをロングタッチ**
5 **🗑▶［OK］**

■ フォルダまたはファイルをコピー／移動する

1 **ホーム画面で⊞▶［ファイル］**
2 **≡▶カテゴリやストレージをタップ**
3 **必要に応じてフォルダをタップ**
4 **コピー／移動するフォルダまたはファイルをロングタッチ**
5 **⋮▶［コピー ...］／［移動...］**
6 **任意の場所で［コピー］／［移動］**

データ通信

Bluetooth機能

Bluetooth機能は、パソコンやハンズフリーヘッドセットなどのBluetooth機器とワイヤレス接続できる技術です。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 対応しているBluetoothプロファイルについて（P.226）

❖お知らせ

- Bluetooth機能のオン／オフの設定は、電源を切っても変更されません。
- 使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth機能をオフにしてください。
- Bluetooth機能のオン／オフを切り替えるには、ホーム画面で▶［設定］▶［機器接続］▶［接続の設定］▶［Bluetooth］▶／をタップします。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth対応機器と無線LAN対応機器は、約10m以上離してください。
- 約10m以内で使用する場合は、Bluetooth対応機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

本端末を検出可能にする

1 ホーム画面で▶［設定］▶［機器接続］

2 ［新しい機器とペア設定する］

- ［機器名］をタップすると他のBluetooth機器に表示される本端末の名前を変更できます。

Bluetooth機器とペア設定する

本端末とBluetooth機器を接続するには、ペア設定が必要です。

- 一度ペア設定を行うと、ペア設定情報は記録されます。
- ペア設定を行うときに、パスコード（PIN）の入力が必要になる場合があります。本端末のパスコード（PIN）は「0000」です。「0000」を入力してもペア設定できない場合は、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- あらかじめペア設定を行う機器側で、Bluetooth機能およびBluetooth検出機能がオンになっていることを確認してください。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［機器接続］▶［新しい機器とペア設定する］

- 「使用可能なデバイス」欄に検出されたBluetooth機器名が表示されます。

2 ペア設定を行うBluetooth機器名をタップ

3 確認画面でBluetoothペア設定コード（パスコード）を確認▶［ペア設定する］

- ペア設定されたBluetooth機器名が表示されます。

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

確認画面でBluetoothペア設定コード（パスコード）を確認し、［ペア設定する］をタップします。

❖お知らせ

- ペア設定されたBluetooth機器名の右側の⚙をタップすると、相手のBluetooth機器の名前を変更したり、使用目的を設定したりできます。
- ペア解除する場合は、解除するBluetooth機器名の右側の⚙▶［削除］▶［このデバイスとのペア設定を解除］をタップします。

Bluetooth機器と接続する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［機器接続］

2 ［すべて表示］▶接続するBluetooth機器名をタップ

Bluetooth機器の接続を解除する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［機器接続］

2 接続中のBluetooth機器名をタップ

- Bluetooth機器名の右側に⚙が表示されている場合は、⚙をタップしてください。

3 ［接続を解除］

- 再接続するときは、［接続］をタップします。

Bluetooth機能でデータを送受信する

あらかじめ、Bluetooth機能をオンにして、相手のBluetooth機器とペア設定を行ってください。

データを送信する

1 各アプリの共有メニューで［Bluetooth］

2 送信する相手のBluetooth機器をタップ

データを受信する

1 相手のBluetooth機器からデータを送信

- ステータスバーにが表示されます。

2 ステータスバーを下にドラッグ▶［着信ファイル］▶［承諾］

❖お知らせ

- 受信したデータはホーム画面で▶［設定］▶［機器接続］▶［接続の設定］▶［Bluetoothで受信したファイル］をタップすると確認できます。

外部機器接続

パソコンとの接続

パソコンに接続すると、内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンとやり取りできます。

❖お知らせ

- 表示される画面はパソコンの動作環境（OS）によって異なる場合があります。
- 著作権で保護された画像や音楽などは操作ができない場合があります。

USBケーブルA to Cでパソコンに接続する

- 以下のオペレーティングシステム（OS）に対応しています。
  - Microsoft Windows 10
  - Microsoft Windows 8.1

1 本端末をUSBケーブル A to C 02（別売品）などでパソコンに接続（P.40）

- パソコンに本端末のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。
- 本端末上にソフトウェアのインストールを確認する画面が表示された場合は、［スキップ］をタップしてください。

2 ［許可］

- パソコン上の画面に本端末がポータブルデバイスとして表示され、本端末の内部ストレージおよびmicroSDカードにアクセスできるようになります。
- ［拒否］をタップすると、本端末の充電のみを行います。

❖お知らせ

- USB接続モードを変更するには、ステータスバーを下にドラッグ▶USB接続モードの通知をタップし、USB接続モードを選択します。

USBケーブル A to Cを安全に取り外す

- データ転送中にUSBケーブル A to Cを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

1 データ転送中でないことを確認し、USBケーブル A to Cを本端末とパソコンから取り外す

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。
国際ローミング（WORLD WING）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/world/roaming/

■ 対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3Gネットワークおよび GSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

❖お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM（GPRS）
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信※	○	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、モバイルネットワーク設定の「データローミング」（P.203）をオンに設定する必要があります。

❖お知らせ

- 海外で＋メッセージアプリをご利用いただくには＋メッセージアプリでの設定が必要です（P.114）。
- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、「クイック設定パネル」（P.66）で確認できます。

海外でご利用になる前に

出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」（P.104）を「開始」に設定する必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます（P.208）。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在先での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者／ネットワークに接続されます。

接続について

「ネットワークを自動的に選択」（P.203）をオンに設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、モバイルネットワーク設定の「データローミング」をオンに設定する必要があります。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［モバイル ネットワーク］

2 「データローミング」の をタップ▶注意文を読んで［OK］

ネットワークの設定

初期状態では、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］▶［モバイル ネットワーク］▶［詳細設定］

2 「ネットワークを自動的に選択」の をタップ

- 注意文が表示された場合は、［OK］をタップします。
- ネットワークの検索を行います。

3 利用可能なネットワークの中から使用するネットワークをタップ

❖お知らせ

- ネットワークを手動で設定した場合、圏外に移動しても、別のネットワークに自動的に接続されません。
- 「ネットワークを自動的に選択」をオンに設定するには、手順2で「ネットワークを自動的に選択」の をタップします。

優先ネットワークの種類の設定

1 **ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］**

2 **［モバイル ネットワーク］▶［優先ネットワークの種類］**

3 **設定する優先ネットワークの種類を選択**

- 「4G/3G/GSM」を選択すると、利用できるネットワークタイプを自動的に切り替えます。

国際ローミング中にVoLTEを利用する

国際ローミング中にVoLTEが利用可能なときはVoLTEを使用できるように設定します。

1 **ホーム画面で▶［設定］▶［ネットワークとインターネット］**

2 **［モバイル ネットワーク］▶「4G回線による通話」のをタップ**

日付と時刻について

「日付と時刻」の「ネットワークの時刻を使用する」、「ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する」がオンの場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻の設定について（P.190）

お問い合わせについて

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在先に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

海外に到着後、本端末の電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。

- 電池の残量および受信レベルが十分であることを確認してください。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されなかったりすることがあります。
  この場合、通話履歴から電話をかけることはできません。
- 接続可能な国・地域および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

滞在先から（日本含む）他の国・地域に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在先から他の国・地域へ電話をかけることができます。

- 先頭に「＋」を付けてから相手先の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国・地域へ簡単に国際電話をかけることができます。

1　ホーム画面で▶をタップ

2　＋（[0]をロングタッチ）▶国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3　をタップ

4　通話が終了したらをタップ

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在先から他の国・地域へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- あらかじめ国際ダイヤルアシストの「自動変換機能」（P.208）をオンに設定する必要があります。
- 地域番号の先頭の「0」があらかじめ設定した国番号に自動的に変換されます。

1　ホーム画面で▶をタップ

2　地域番号（市外局番）、相手先電話番号を入力

3 **をタップ**

- 国際ダイヤルアシスト画面が表示された場合は［発信］をタップします。

4 **通話が終了したら をタップ**

滞在国・地域内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 **ホーム画面で ▶ をタップ**

2 **電話番号を入力**

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力します。

3 **をタップ**

- 国際ダイヤルアシスト画面が表示された場合は［元の番号で発信］をタップします。

4 **通話が終了したら をタップ**

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、同じ国・地域にいる場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先に関わらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じようにダイヤルしてください。
  ＋（［0］をロングタッチ）- 81（日本の国番号）- 先頭の「0」を除いた電話番号

滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

❖お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国・地域からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■ 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、発信元の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

発信元の国際電話アクセス番号 - 81 - 90（または80、70）- XXXX - XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で▶ ⋮ をタップ

2 [設定] ▶ [通話]

3 [ネットワークサービス・海外設定]

- 利用者情報送信の確認画面が表示された場合は、内容を確認して画面の指示に従って操作してください。

4 [海外設定]

ローミング時着信規制	国際ローミング中に着信を規制することができます。
ローミング着信通知	国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合に、SMSでお知らせします。
ローミングガイダンス	国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
ネットワークサービス	P.208

国際ダイヤルアシストの設定

1 ホーム画面で▶ ⋮ をタップ

2 [設定] ▶ [通話]

3 [国際ダイヤルアシスト]

自動変換機能	「国番号」で設定した国番号を自動で追加するかどうかを設定します。
国番号	自動変換機能で使用される国番号を選択します。

ネットワークサービス（海外）の設定

滞在先で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、「遠隔操作設定」（P.104）を「開始」に設定する必要があります。
- 海外から操作した場合は、滞在先から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で▶ ⋮ をタップ

2 [設定] ▶ [通話]

3 [ネットワークサービス・海外設定]

- 利用者情報送信の確認画面が表示された場合は、内容を確認して画面の指示に従って操作してください。

4 [海外設定] ▶ [ネットワークサービス] ▶目的のサービスを選択

遠隔操作（有料）	遠隔操作を開始するかどうかを設定します。
番号通知お願いサービス（有料）	発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に、発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。
ローミング着信通知（有料）	P.207
ローミングガイダンス（有料）	P.207
留守番電話サービス（有料）	電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。 別途お申し込みが必要です。
転送でんわサービス（有料）	かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。 別途お申し込みが必要です。

5 画面の指示に従って操作

6 音声ガイダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■ 海外でパケット通信を利用した場合

「データローミング」（P.203）をオフに設定してください。

■ 帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- 「優先ネットワークの種類」（P.204）を「4G/3G/GSM」に設定してください。
- 「ネットワークを自動的に選択」（P.203）をオンに設定してください。

付録

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。
  詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.218）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

状況	原因と対処
本端末の電源が入らない	電池切れになっていませんか。→P.37
画面が動かない、電源が切れない	画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合は、電源キーと音量キーの上を同時に約9秒間押し、連続して3回振動した後に指を離すと本端末の電源を強制的に切ることができます。 ※ 強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

状況	原因と対処
充電ができない（通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中の表示に変わらない）	• アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリーソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタと本端末が正しく取り付けられていますか。→P.39 • ACアダプタ（別売品）をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末と正しく接続されていますか。→P.39 • USBケーブル A to C 02（別売品）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して通知LEDが消灯する（充電が停止する）、充電が完了しない、または電池残量が減少する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
通知LEDが赤色に点滅し、操作ができない	電池残量が少ない場合は充電してください。→P.37
いたわり充電が開始されない	自動設定の場合、充電の習慣に規則性を見つけられないと学習が完了しないため、いたわり充電は開始されません。手動設定または常時設定にすると、指定した時間帯で充電を開始したり、設定した制限容量になるまで充電を行ったりできます。→P.38
満充電にならない	いたわり充電中に充電器を取り外すと、満充電されていない場合があります。 満充電にするには、通常の充電に切り替えてください。→P.38

■ 端末操作

状況	原因と対処
操作中・充電中に熱くなる	• 通話中に、電波環境や通話時間によっては受話口／スピーカー周辺が熱くなることがありますが、異常ではありません。 • 操作中や充電中、充電しながらアプリや動画撮影などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが熱くなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。 • 本端末の温度が高くなると、通知パネルに本端末の温度が上昇した旨が表示され、テザリングなどいくつかのアプリやサービスが使用できなくなる場合があります。 この場合は、本端末の温度が下がるのを待ってから、再度ご使用ください。

状況	原因と対処
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態になるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外の状態が続く場所では電源を切るか、機内モードに設定してください。→P.41、P.160 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。→P.225 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。 • 複数のアプリを起動していませんか。 使用していないアプリを終了してください。→P.67 • Wi-Fi機能やBluetooth機能を使用していないときは、設定をオフにしてください。→P.153、P.196 • STAMINAモードを設定すると、本端末の動作と一部の機能を制限し、電池の消費を抑えることができます。→P.170

状況	原因と対処
タップしたり、キーを押したりしても動作しない	• 電源が切れていませんか。→P.41 • 画面ロックを設定していませんか。→P.179
タップしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い	本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやり取りしているときなどに起きる場合があります。
ドコモnanoUIMカードを認識しない	ドコモnanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.32
時計がずれる	長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「ネットワークの時刻を使用する」「ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する」「言語／地域のデフォルトを使用する」がオンになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。→P.41、P.190

状況	原因と対処
端末動作が不安定	お買い上げ後に本端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。 セーフモード（初期状態に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 セーフモードを起動するには、電源を切った状態で電源キーを3秒以上押し、docomoロゴが表示されたら音量キーの下を長く押し続けてください。 電源を入れている状態では、電源キーを1秒以上押す▶［電源］▶［電源を切る］をロングタッチ▶［OK］をタップすると、本端末が再起動してセーフモードで起動できます。 セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。 ※ 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ※ アプリやウィジェットによっては非表示になる場合があります。 ※ セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

状況	原因と対処
アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	• 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→P.167 • アプリの権限を許可していますか。→P.55、P.166

■ 通話

状況	原因と対処
をタップしても発信できない	機内モードを設定していませんか。→P.160
着信音が鳴らない	• 「着信音と通知音の音量」を消音にしていませんか。→P.175 • 次の機能を起動していませんか。 – マナーモード→P.52 – 機内モード→P.160 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼び出し時間を「0秒」にしていませんか。→P.104 • 伝言メモの応答時間設定を「0秒」にしていませんか。→P.102 • 着信拒否の設定をしていませんか。→P.103

状況	原因と対処
通話ができない（場所を移動してもの表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを取り付け直してください。→P.32、P.41 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態はを表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 着信拒否の設定をしていませんか。→P.103 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

状況	原因と対処
ディスプレイが暗い	• 「画面消灯」を短い時間で設定していませんか。→P.171 • 画面の明るさを変更していませんか。→P.172 • 「明るさの自動調節」をオンにしている場合は、周囲の明るさに応じて画面の明るさが変わります。→P.171 • 近接／照度センサーをシールなどでふさいでいませんか。→P.30 • 使用中に本端末の温度が高くなるとディスプレイが暗くなる場合がありますが、異常ではありません。

■ 音声

状況	原因と対処
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	通話音量を変更していませんか。→P.100、P.175

■ カメラ

状況	原因と対処
カメラで撮影した写真や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないか、フィルムを貼り付けていないかを確認してください。 • 動画撮影の場合、「ビデオ手ブレ補正」を設定して撮影してください。→P.130
フラッシュ撮影時に写真や動画が白っぽくなる	カメラレンズ周辺に指やカバーがあると、フラッシュの光が反射して撮影した写真や動画に悪影響を与える場合があります。

■ おサイフケータイ

状況	原因と対処
おサイフケータイが使えない	• おまかせロックを設定すると、NFC／おサイフケータイ ロック ON/OFFの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。 • NFC／おサイフケータイ ロック ON/OFFを設定していませんか。→P.140 • 「NFC／おサイフケータイ」をオフにしていませんか。→P.139 • 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P.139

■ 海外利用

状況	原因と対処
海外で本端末が使えない（が表示されている場合）	WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。
海外で本端末が使えない（が表示されている場合）	• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 –「優先ネットワークの種類」を「4G/3G/GSM」に設定してください。→P.204 –「ネットワークを自動的に選択」をオンにしてください。→P.203 • 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P.41
海外でデータ通信ができない	「データローミング」をオンにしてください。→P.203
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	利用停止目安額を超えていませんか。 「国際ローミング（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

状況	原因と対処
海外で電話がかかってこない	「ローミング時着信規制」を「規制開始」に設定していませんか。→P.207
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

状況	原因と対処
データ転送が行われない	USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	microSDカードを取り付け直してください。→P.35
画像を表示しようとすると正しく表示されない	画像データが壊れている場合は黒色の画面が表示されるなどして、画像が正しく表示されません。

■ Bluetooth機能

状況	原因と対処
Bluetooth機器と接続ができない／検索しても見つからない	Bluetooth機器（市販品）側を検出可能な状態にしてから、本端末側からペア設定を行う必要があります。ペア設定済みの機器を解除して再度ペア設定を行う場合には、本端末とBluetooth機器（市販品）の両方でペア設定を解除してから行ってください。→P.196
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 外部機器接続

状況	原因と対処
USBケーブル A to Cなどで接続した外部機器が認識されない	• 外部機器を取り付け直してください。 ただし、機器によっては検出されない場合があります。 • USB Type-C接続端子に水分を検出すると、USB機器の自動検出が無効になり、外部機器は認識されません。 USB Type-C接続端子に水滴が残っていないことを確認してからUSB機器を接続して、表示されているメッセージをタップしてください。→P.164

エラーメッセージ

エラーメッセージ	原因と対処
通信サービスなし／通信サービスはありません	• サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。 • ドコモnanoUIMカードが正しく機能していません。ドコモnanoUIMカードを取り付け直すことで改善する可能性があります。改善しない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。
モバイルネットワークが利用できません	ドコモnanoUIMカードを正しく取り付けて（P.32）、電波の届く場所まで移動してください。
緊急通報以外は発信制限が設定されています	回線の混雑などにより通常通話音声サービスが受けにくい場合に表示されます。
通話の発信制限が設定されています	回線の混雑などにより通常／緊急通話音声サービスが受けにくい場合に表示されます。
音声通話サービス停止	通常通話音声サービスが受けられない場合に表示されます。
音声サービスと緊急通報のブロック	通常／緊急通話音声サービスが受けられない場合に表示されます。
モバイルデータサービスのブロック	データサービスが受けられない場合に表示されます。
SIMカードはロックされています	PINコード（P.45）を正しく入力してください。
SIMカードはPUKでロックされています	PUK（PINロック解除コード）（P.46）を正しく入力してください。
PINロック解除コードがロックされています	PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
空き容量わずか	内部ストレージの空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部の機能やアプリが動作しない場合があります。不要なアプリをアンインストール（P.167）してください。
メモリーがいっぱいです	内部ストレージやmicroSDカードの空き容量がありません。不要なデータを削除（P.195）して容量を確保してください。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデート※とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。
ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

※本端末ではシステムアップデートと表示されます。

- Android OSバージョンアップ
  Android OSおよびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質などが向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。
- 新機能追加
  プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- 品質改善
  プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- セキュリティパッチの更新
  セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性を対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

ご利用条件

- Xi／FOMAでのパケット通信をご利用の場合、モバイルネットワーク設定でアクセスポイントをspモードもしくはmopera Uに設定してください。
- Xi／FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードによる通信料金は発生しません。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続が必要です。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。

ソフトウェアアップデートを行う

更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- 更新をお知らせする通知から
  本端末のステータスバーから通知をタップし、更新を開始します。
- 定期的に表示される画面から
  本端末が更新可能になると、確認画面が表示される場合があります。
  確認画面にて動作を選択し、更新を進めてください。
- 本体設定から
  ホーム画面で▶［設定］▶［システム］▶［詳細設定］▶［システム アップデート］をタップし、更新を開始します。
  アップデートが不要な場合、「お使いのシステムは最新の状態です」と表示されます。

更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に通知もしくは確認画面が表示される場合があります。いずれかが表示された場合は、表示されている手順に従いシステムアップデートを進めてください。

※ 通信料金が発生すると表示される場合がありますが、spモードもしくはmopera Uに設定の場合、通信料金は発生しません。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、通知もしくは確認画面が表示されます。
  ［今すぐ再起動］をタップすると、すぐに本端末が再起動します。
  ［2:00以降に再起動］をタップすると、夜間に自動で再起動します。

※ 再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内に［後で行う］をタップしてください。

3 更新完了の通知

- 更新が完了すると、本端末に完了画面が表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデートには再起動が伴い、その間は電話の発着信を含めすべての機能をご利用いただけません。
- ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口もしくはオンライン修理受付サービスまでご相談ください。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
  - 通話中
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - 必要な電池残量がないとき
  - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
  - 国際ローミング中
- ソフトウェアアップデート中は電源を切らないでください。

- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

パソコンに接続して更新する

パソコンに接続して更新を行う場合は、「ソフトウェア更新」を行うためのソフトウェア（Xperia Companion）をパソコンにインストールする必要があります。
本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02（別売品）などで接続し、本端末の画面の指示に従ってインストールしてください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本端末の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

無料修理規定

① 保証期間内に取扱説明書などの注意に従った使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）

② 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
1. 改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
2. 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイおよび外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
3. 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
4. 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
5. 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
6. ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。
③ 本保証は日本国内においてのみ有効です。
④ 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではございません。
⑤ お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、すべて修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
⑥ 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。
⑦ 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

＜販売元＞
株式会社NTTドコモ
東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.210）をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。
修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

お願い

- **本端末の改造はおやめください。**
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- **各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。**
- **修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。**
- **本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。**
- **本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。**

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をあんしん遠隔サポートセンターのオペレーターと共有することで、端末操作設定やアプリの使いかた、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモnanoUIMカードまたはSIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

あんしん遠隔サポートご契約者様専用のQ&Aサイトのご利用や、LINE、＋メッセージでオペレーターにお問い合わせいただくこともできます。

- LINE、＋メッセージでのお問い合わせでは、画面共有はご利用いただけません。

オペレーターとの画面共有（電話でのお問い合わせ）

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話

ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）15710（無料）

一般電話などからの場合

0120-783-360

受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）

- 本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で▶［遠隔サポート］▶［電話をかける］▶をタップします。

2 ホーム画面で▶［遠隔サポート］

3 ［接続画面に進む］▶［同意する］

4 ドコモからご案内する接続番号を入力▶［開始］

5 接続後、遠隔サポートを開始

Q&Aサイトで調べる

1 ホーム画面で▶［遠隔サポート］

2 ［Q&Aサイト／アプリで調べる］

LINEでのお問い合わせ

1 ホーム画面で▶［遠隔サポート］

2 ［LINE］

＋メッセージでのお問い合わせ

1 ホーム画面で▶［遠隔サポート］

2 ［＋メッセージ］

主な仕様

ソフトウェアアップデートなどにより、変更が生じる場合があります。最新の情報は、ドコモのホームページをご覧ください。

■ 本体

品名		SO-41A
サイズ		高さ：約157mm、幅：約69mm、厚さ：約8.2mm（最厚部：約9.1mm）
重量		約151g
ディスプレイ	サイズ	約6.0インチ
	種類	有機EL トリルミナス®ディスプレイ for mobile
	解像度（ピクセル数　横×縦）	Full HD+（1080×2520）
	発色数	16,777,216色
内蔵メモリ		RAM：4GB ROM：64GB※1
バッテリー容量※2		3600mAh
連続待受時間※3※4	LTE	静止時（自動）：約460時間
連続通話時間※4※5	LTE（VoLTE）	約1660分
	LTE（VoLTE（HD+））	約1490分
充電時間		ACアダプタ 07：約140分

無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠（IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz/5GHz）
	MIMO対応	—
	MU-MIMO（クライアント）対応	○
	MIMO対応規格	—
	MU-MIMO（クライアント）対応規格	IEEE802.11ac
Bluetooth	バージョン	5.0※6
	出力	power class 1
	対応プロファイル／コーデック※7（バージョン）	HFP（1.7）（mSBC：16kHz）、HSP（1.2）、OPP（1.2）、SPP（1.2）、HID（1.0）、A2DP（1.3）（LDAC/aptX Adaptive/aptX HD/aptX/AAC/SBC）、AVRCP（1.6）、PBAP（1.2）、PAN（PAN-NAP（1.0）／PANU（1.0））、HOGP（1.0）、MAP（1.4）
イヤホンマイクジャック	端子径	3.5φイヤホンジャック
	極数※8	4極

カメラ			
	撮像素子	種類	カメラ①：裏面照射型CMOS カメラ②：裏面照射型CMOS カメラ③：裏面照射型CMOS フロントカメラ：裏面照射型CMOS
		サイズ	カメラ①：1/4.0インチ カメラ②：1/2.8インチ カメラ③：1/4.0インチ フロントカメラ：1/4.0インチ
	有効画素数		カメラ①：約800万画素 カメラ②：約1200万画素 カメラ③：約800万画素 フロントカメラ：約800万画素
	記録画素数		カメラ①：約1200万画素 カメラ②：約1200万画素 カメラ③：約1200万画素 フロントカメラ：約800万画素
	記録ファイル形式	動画	MP4
		静止画	JPEG
	動画1件あたりの最大録画時間		約360分※9
	ズーム（デジタル）	動画	カメラ：最大約5.0倍 フロントカメラ：—
		静止画	カメラ：最大約5.0倍 フロントカメラ：—

	ズーム（光学）	動画	カメラ：最大約2.0倍 フロントカメラ：—
		静止画	カメラ：最大約2.0倍 フロントカメラ：—
	ズーム（デジタル×光学）	動画	カメラ：最大約10.0倍 フロントカメラ：—
		静止画	カメラ：最大約10.0倍 フロントカメラ：—
伝言メモ		保存可能件数	制限なし※10
		1件あたりの最大録音可能時間	最大60秒

※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」（P.176）をご参照ください。

※2 連続使用可能時間などの目安となる電池の容量です。

※3 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
連続待受時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※4 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。

※5 連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※6 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやり取りができなかったりする場合があります。

※7 Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

※8 4極ヘッドセットについてはCTIA規格に準拠したものに対応しています。

※9 ビデオサイズが1920×1080（フルHD）の場合の撮影時間です。

※10 最大保存件数は本端末のメモリの空き容量により異なります。

■ ファイル形式（メディア）

本端末は次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種　類	ファイル形式
音	AAC-LC（.mp4、.m4v、.3gp、.3gpp、.3g2、.3gpp2、.ts、.aac、.m4a）、AAC+（.mp4、.3gp、.3gpp、.3g2、.3gpp2、.ts、.aac）、eAAC+（.mp4、.3gp、.3gpp、.3g2、.3gpp2、.ts、.aac）、AAC-ELD（.mp4、.3gp、.3gpp、.3g2、.3gpp2）、AMR-NB（.3gp、.3gpp、.3g2、.3gpp2、.amr）、AMR-WB（.3gp、.3gpp、.3g2、.3gpp2、.awb）、FLAC（.flac）、MP3（.mp3）、MIDI（.mid、.midi、.smf、.xmf、.mxmf、.rtttl、.rtx、.imy）、Vorbis（.mkv、.webm、.mka、.ogg、.oga）、PCM（.wav、.aiff、.aif、.aifc）、Opus（.mkv、.webm、.mka、.ogg、.oga）、ALAC（.m4a）、DSD（.dsf、.dff、.dsd）

種　類	ファイル形式
静止画※	JPEG（.jpg、.jpeg）、GIF（.gif）、PNG（.png）、BMP（.bmp）、WBMP（.wbmp）、HEIF（.heic、.heif）、WebP（.webp）、DNG（.dng）、CR2（.cr2）、NEF（.nef）、NRW（.nrw）、ARW（.arw）、RW2（.rw2）、ORF（.orf）、RAF（.raf）、PEF（.pef）、SRW（.srw）
動画	H.263（.mp4、.3gp、.3gpp、.3g2、.3gpp2）、H.264（.mp4、.m4v、.3gp、.3gpp、.3g2、.3gpp2、.ts、.mkv）、H.265（.mp4、.mkv）、MPEG-2 Video（.ts）、MPEG-4 Video（.mp4、.m4v、.3gp、.3gpp、.3g2、.3gpp2）、VP8（.mkv、.webm）、VP9（.mkv、.webm）、AV1（.mkv、.webm）

※ 本端末でのカメラ撮影時はJPEGで保存されます。

■ 表示言語

ボスニア語／カタルーニャ語／チェコ語／デンマーク語／ドイツ語／エストニア語／英語／スペイン語／フィリピン語／フランス語／クロアチア語／インドネシア語／アイスランド語／イタリア語／ラトビア語／リトアニア語／ハンガリー語／マレー語／オランダ語／ノルウェー語（書籍語）／ポーランド語／ポルトガル語／ルーマニア語／アルバニア語／スロバキア語／スロベニア語／セルビア語／フィンランド語／スウェーデン語／ベトナム語／トルコ語／ギリシャ語／ブルガリア語／カザフ語／マケドニア語／ロシア語／ウクライナ語／ヘブライ語／アラビア語／ペルシャ語（ダリー語）／マラーティー語／ヒンディー語／ベンガル語／タミル語／テルグ語／カンナダ語／マラヤーラム語／タイ語／韓国語／日本語／中国語（簡体）／中国語（繁体）

■ 入力言語

対応言語につきましては、以下のホームページをご覧ください。
https://goo.gl/fMQ85U

認証および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）について確認できます。

1 **ホーム画面で▶［設定］▶［デバイス情報］**

2 **［認証］**

■ VCCIについて

本端末は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、適合マークを画面に電子的に表示しています。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SO-41Aの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.78W/kg※2、身体に装着した場合のSARの最大値は0.65W/kg※3です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
ドコモのホームページ
https://www.docomo.ne.jp/product/sar/
Xperiaオフィシャルサイトのサポートホームページ
https://xperia.sony.jp/product/SAR/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) Information of Mobile Phones

This model SO-41A mobile phone complies with the Japanese technical regulations and the international guidelines regarding human exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves(*1) and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions. The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg.
The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.78 W/kg(*2), and that when worn on the body is 0.65 W/kg(*3). There may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit.
The actual value of SAR of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations and the international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile

phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."
Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.
Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.docomo.ne.jp/english/product/sar/
Support page on Xperia official website:
https://xperia.sony.jp/product/SAR/ (in Japanese only)

※1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.

※2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

※3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

Important Information United States

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
The SO-41A Series mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic

and thorough evaluation of scientific studies.
The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health. The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.
The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 0.40 W/kg*, when worn on the body is 0.46 W/kg* and when WiFi hotspot mode is 0.54 W/kg. For body-worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 15 mm from the body.
For devices which include “WiFi hotspot” functionality, SAR measurements for the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10 mm.
Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.
** Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid after searching on FCC ID PY7-45077R.

Additional information on SAR can be found on the Mobile Manufacturers Forum EMF website at http://www.emfexplained.info/.

* In the United States, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

Europe

This mobile phone model SO-41A has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

SAR data information for residents in countries/regions that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):
For body worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.
The highest SAR value for this model phone when tested by Sony for use at the ear is 0.33 W/kg (10g). In the case where the phone is worn on the body, the highest tested SAR value is 1.00 W/kg (10g).

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference.

(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony may void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、ソニー株式会社（以下「ソニー」といいます）からお客様へのソニー製スマートフォンに付属しまたは組み込まれたソフトウェア、または指定デバイス（2条で定義）でダウンロード可能なソニー製アプリケーション・ソフトウェア（コンピューターソフトウェア、関連データ、マニュアルなどの関連書類および電子文書並びにそれらのアップデート・アップグレード版を含みます）（以下これらを総称して「許諾ソフトウェア」といいます）の使用権の許諾に関する条件を定めるものです。許諾ソフトウェアを使用いただく前に、本契約をお読み下さい。お客様による許諾ソフトウェアの使用開始をもって、本契約にご同意いただいたものとします。

なお、許諾ソフトウェアの中には、ソニー以外のソフトウェアの権利者が定める使用許諾条件（GNU General Public License (GPL)、Lesser/Library General Public License (LGPL)を含みますが、これらに限られるものではありません）を伴うソフトウェア（以下「対象外ソフトウェア」といいます）が含まれている場合があります。対象外ソフトウェアの使用は、各権利者の定める使用許諾条件に従っていただくものとします。

第1条（総則）
許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法令によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーからお客様に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権はお客様に移転いたしません。

第2条（使用権）
ソニーは、許諾ソフトウェアを、お客様がお持ちの許諾ソフトウェアに対応したデバイス（以下「指定デバイス」といいます。なお、許諾ソフトウェアが付属しまたは組み込まれたソニーの製品を含みますがこれらに限られません）上で、本契約の条件及びマニュアル等の指示・注意事項に従って使用する、非独占的かつ譲渡不能な権利をお客様に許諾します。

第3条（権利の制限）
1. お客様は、許諾ソフトウェアの全部または一部を複製、複写、配布、譲渡、販売したり、これに対する修正、追加等の改変をすることはできないものとします。また、許諾ソフトウェアに含まれるトレードマークやその他の権利標記等の表示を削除したり、外観の変更をしてはならないものとします。
2. お客様は、別途明示的に許諾されている場合を除き、許諾ソフトウェアを再使用許諾、

貸与またはリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
3. お客様は、別途明示的に許諾されている場合を除き、許諾ソフトウェアの一部またはその構成部分を許諾ソフトウェアから分離して使用しないものとします。
4. お客様は、許諾ソフトウェアを用いて、ソニーまたは第三者の権利もしくは法律上保護される利益（知的財産権、営業秘密、名誉、プライバシー、肖像権、パブリシティ権、所有権を含みますがこれらに限られません）を侵害し、または法令、裁判所の判決その他公的機関による法的拘束力のある処分もしくは公序良俗に反する行為を行ってはならないものとします。
5. お客様は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
6. 許諾ソフトウェアの使用に伴い、許諾ソフトウェアが自動的に許諾ソフトウェアで用いるためのデータファイルを作成する場合があります。この場合、当該データファイルは許諾ソフトウェアとみなされるものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）
許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、ソニー、ソニーの関係会社またはソニーが本契約に基づきお客様に対して使用許諾を行うための権利をソニーまたはソニーの関係会社に許諾した原権利者（以下「原権利者」といいます）に帰属するものとし、お客様は許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（オープンソースソフトウェア）
1. 対象外ソフトウェアには、①ソースコードの形式でまたは無償で公に入手可能なソフトウェアを含むものまたはその派生物であり、かつ②本契約の規定と異なる定めの適用を受けるソフトウェア（対象となるソフトウェアおよびその派生物をソースコードの形式で開示または頒布する義務、対象となるソフトウェアを任意の第三者に対して自由に使用許諾させる義務等を含みますがこれに限られません。また、これにはGNU General Public License (GPL)やGNU Lesser/Library General Public License (LGPL)に基づいてライセンスされているソフトウェアが含まれますがこれに限られません。）（以下「オープンソースソフトウェア」といいます）が含まれることがあります。
2. ソニーが開示するオープンソースソフトウェアのソースコードは、https://developer.sony.com/develop/open-devices/downloads/open-source-archivesまたはその他ソニーの指定するサイトにてご確認下さい。オープンソースソフトウェアには、それぞれのオープンソースソフトウェアに該当するライセンス条件が、本契約の代わりに適用されます。

第6条（責任の範囲）
1. ソニーは、許諾ソフトウェア上の広告を含む許諾ソフトウェアからのリンクにより遷移可能な第三者のウェブサイトやサービスに関して、内容等の正確性、安全性その他のいかなる事項についても、明示または黙示を問わず何らの保証も行わないものとし、お客様による当該ウェブサイトやサービスの利用に起因する損害その他の結果について一切責任を負わないものとします。
2. ソニーは、許諾ソフトウェアに関して、エラー、バグ等の不具合がないこと、許諾ソフトウェアが中断なく稼動すること、許諾ソフトウェアの使用がお客様および第三者に損害を与えないことならびに第三者の知的財産権を侵害していないことその他のいかなる事項についても、明示または黙示を問わず何らの保証も行いません。ただし、ソニーは、エラー、バグ等の不具合に対応するため、許諾ソフトウェアのアップデートファイル等の提供による許諾ソフトウェアの修正または当該エラー、バグ等についての問い合わせ先の通知を行うことがあります。本項に定めるアップデートファイル等の提供方法または問い合わせ先の通知方法はソニーがその裁量により定めるものとします。
3. 許諾ソフトウェアの動作や機能が依存する可能性のある、許諾ソフトウェア以外の製品、ソフトウェアまたはネットワーク等サービス（当該製品、ソフトウェアまたはサービスは第三者が提供する場合に限られず、ソニーが提供する場合も含みます）は、当該製品、ソフトウェアまたはネットワーク等サービスの提供者の判断により、その機能等の全部または一部が変更され、または提供や稼働が中断もしくは終了する場合があります。ソニーは、許諾ソフトウェアの動作や機能が依存する可能性のあるこれらの製品、ソフトウェアまたはネットワーク等サービスが、変更、中断なく将来に亘って正常に提供され、稼動することを保証いたしません。
4. 許諾ソフトウェアは、指定デバイスがインターネットに接続している場合に、自動的にアップデートされることがあります。また、アップデートを求める通知がなされ、お客様において手動でアップデートを行っていただく場合もあります。アップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更または削除されることがあります。また、お客様が、自動アップデートの機能を用いない旨設定した場合、または、お客様がアップデートを求める通知に従ってアップデートを行わない場合、当該許諾ソフトウェアの全部または一部の機能が使用できない場合があります。ソニーはアップデートによる機能の変更等やお客様によるアップデートの不実施に起因する支障等に関して、何等の責任も負わないものとします。
5. 本契約の他の規定にかかわらず、ソニーは、その債務不履行または不法行為によりお客様に損害が生じた場合、お客様に通常生じ

うる損害の範囲内で、かつ、お客様が許諾ソフトウェア、許諾ソフトウェアが付属しまたは組み込まれたソニーの製品または許諾ソフトウェアを用いて利用するソニーのサービスのために支払った金額の合計額を上限として、これを賠償する責任を負うものとし、特別な事情から生じた損害その他の結果（発生を予見しまたは予見し得た場合を含みます）については一切責任を負わないものとします。ただし、ソニーは、その故意または重大な過失による債務不履行または不法行為に起因してお客様に生じた損害に対する賠償責任については、免責されないものとします。
6. 許諾ソフトウェアや付随するサポート等は、本契約に基づき、ソニーからお客様に対して提供されるものであり、ソニーの関係会社や原権利者は、法令上別段の定めがある場合およびソニーの関係会社や原権利者がお客様と別段の合意をした場合を除き、許諾ソフトウェアや付随するサポート等に関してお客様に対し一切責任を負わないものとします。

第7条（用途の限定）
許諾ソフトウェアは、高度の安全性が要求され、許諾ソフトウェアの不具合や中断が生命、身体への危険、有体物または環境に対する重大な損害に繋がる用途（例えば、原子力発電所を含む核施設の制御、航空機の制御、通信システム、航空管制、生命維持装置または兵器）を想定しては設計されていません。ソニーは、許諾ソフトウェアがこれら高度の安全性が要求される用途に合致することを一切保証いたしません。

第8条（第三者に対する責任）
お客様が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で権利侵害その他の事由により紛争が生じたときは、お客様自身が自らの費用と責任で解決するものとし、ソニー、ソニーの関係会社および原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第9条（知的財産権保護）
お客様は、許諾ソフトウェアの使用に際し、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法令に従うものとします。また、許諾ソフトウェアが著作物等の複製、保存および復元等の機能を有する場合、ソニーは、著作物等に関する知的財産権の保護に必要な範囲で、複製、保存および復元等機能の制限その他必要な措置をとることができるものとします。

第10条（ネットワークサービス）
許諾ソフトウェアは、通信事業者等が提供するネットワークサービスやインターネット接続サービス、その他のネットワークサービス（以下これらを総称して「ネットワークサービス」といいます）の利用を想定している場合があります。ネットワークサービスを利用するにあたっては、当該ネットワークサービ

スの利用条件に従っていただく必要があります。ネットワークサービスを利用されない場合、許諾ソフトウェアの動作や機能は限定的なものとなる場合があります。許諾ソフトウェアの利用に必要なネットワーク環境の整備、セキュリティーおよびその費用についての責任はお客様にあるものとします。なお、許諾ソフトウェアの動作や機能は、ネットワーク環境により限定的なものとなる場合があります。また、ネットワークサービスの内容変更、提供の中断もしくは終了またはネットワーク環境等により、許諾ソフトウェアと共に使用されるコンテンツ等が利用できなくなる場合があります。

第11条（契約の終了）
1. ソニーは、お客様が本契約に定める条項に違反した場合、直ちに本契約を解約し、またはそれによって蒙った損害の賠償をお客様に対し請求できるものとします。
2. 前項またはその他の事由で本契約が終了した場合でも、第4条から第15条の規定は有効に存続するものとします。

第12条（許諾ソフトウェアの削除等）
前条その他の事由により本契約が終了した場合、お客様は、合理的に可能な限り、契約の終了した日から２週間以内に許諾ソフトウェアおよびその複製物を削除するものとし、ソニーが求めるときはその旨を証明する文書をソニーに差し入れるものとします。

第13条（契約の改定）
ソニーは、法令で認められた範囲において、本契約を随時改定することができるものとします。ソニーは、改定後の本契約の適用開始に先立ち、改定内容等に照らしてソニーが合理的と判断する事前告知期間を設定したうえで（ただし、本契約の改定内容がお客様の一般の利益に適合するものである場合は事前告知期間を定めないことができるものとします）、改定後の本契約の条件をお客様が登録した電子メールアドレスへの電子メールの発信、ソニー所定のサイトでの告知又はその他ソニーが適切と判断する方法をもってお客様に周知いたします。

第14条（ユーザー登録の抹消等）
1. お客様が、指定デバイスを譲渡または破棄する場合、または本契約が終了した場合には、お客様は、合理的に可能な限り、指定デバイス内の許諾ソフトウェアを削除し、指定デバイスを通じて取得したアカウントを消去することによりユーザー登録を抹消するものとします。
2. お客様は、指定デバイスを通じて取得したアカウント、ユーザーネーム、パスワードに関する情報の秘密保持について一切の責任を負うものとします。

第15条（その他）
1. 本契約は、日本国法に準拠するものとします。
2. お客様は、許諾ソフトウェアを日本国外に持ち出して使用する場合、適用ある輸出管理規制、法律、命令に従うものとします。
3. 本契約は、消費者契約法を含む消費者保護法規によるお客様の権利を不利益に変更するものではありません。
4. 本契約の一部条項が法令によって無効となった場合でも、当該条項は法令で有効と認められる範囲で依然として有効に存続するものとします。
5. ソニーの関係会社および原権利者は本契約の第三受益者として取り扱われるものとし、関連する本契約上の権利を直接行使しあるいは免責等を援用することができるものとします。
6. 本契約に定めなき事項または本契約の解釈に疑義を生じた場合は、お客様およびソニーは誠意をもって協議し、解決するものとします。お客様とソニーとの間に本契約に関連して訴訟の必要が生じた場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載したりするなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「spモード」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD WING」「WORLD CALL」「おまかせロック」「おサイフケータイ」「公共モード」「エリアメール」「イマドコサーチ」「マチキャラ」「Xi／クロッシィ」「eトリセツ」「dカード」「dメニュー」「dマーケット」「あんしん遠隔サポート」「my daiz」「dフォト」「d払い」「はなして翻訳」「マイマガジン」「スグ電」「ahamo」「おサイフケータイ」ロゴ、「iD」ロゴ、「dカード」ロゴ、「dmenu」ロゴ、「dmarket」ロゴ、「dフォト」ロゴ、「d払い」ロゴ、「地図アプリ」ロゴ、「はなして翻訳」ロゴ、「ドコモ留守電」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

- Wi-Fi®、WPA2™、WPA3™、Wi-Fi Direct®、Wi-Fi Enhanced Open™はWi-Fi Alliance®の商標または登録商標です。



- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「Google」「Google」ロゴ、「Android」「Google Play」「Google Play」ロゴ、「Gmail」「Gmail」ロゴ、「Googleマップ」「Googleマップ」ロゴ、「Google Calendar」「Google Calendar」ロゴ、「YouTube」「YouTube」ロゴ、「Google ドキュメント」「Google ドキュメント」ロゴ、「Google Chrome」「Google Chrome」ロゴ、「Google レンズ」「Google レンズ」ロゴ、「Google Cast」「Google アシスタント」は、Google LLCの商標または登録商標です。
- 「Disney DX」アプリには、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社やその親会社、ならびにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権やその他の知的財産権が含まれます。
  利用条件はディズニーデラックス利用規約をご覧ください。
- TikTok及びTikTok ロゴは、Bytedance Ltdの登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- Amazon、Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標または登録商標です。
- 「Microsoft」「Windows」「Microsoft Excel」「Microsoft PowerPoint」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Microsoft Word」は、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術を本製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または頒布することは禁止されています。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i) MPEG-4ビジュアル標準（以下「MPEG-4ビデオ」）またはAVC規格（以下「AVCビデオ」）に準拠したビデオのエンコード、および/または（ii）商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および／または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, LLCより入手できます（https://www.mpegla.com を参照）。MPEGレイヤー 3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- 「ソニー」および「SONY」、ならびに本書で使用される商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーまたはその関連会社の登録商標または商標です。その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは称号です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 他社のSIMカードを取り付ける

2 本端末の電源を入れる

3 SIMロック解除コードを入力▶[ロック解除]

索引

あ

アカウント ····· 184
アカウントを削除 ····· 184
アカウントを追加 ····· 184
明るさのレベル ····· 172
アクセスポイント
　初期化 ····· 159
　設定 ····· 158
アプリ
　アンインストール（docomo LIVE UX）·· 77
　アンインストール（Playストア）····· 137
　アンインストール（Xperiaホーム）····· 88
　一覧 ····· 89
　検索（docomo LIVE UX）····· 78
　検索（Xperiaホーム）····· 87
　ホーム画面に追加（docomo LIVE UX）·· 76
　ホーム画面に追加（Xperiaホーム）····· 87
　リセット ····· 168
　docomo LIVE UX ····· 78
　Xperiaホーム ····· 87
アプリ画面
　かんたんホーム ····· 84
　docomo LIVE UX ····· 78
　Xperiaホーム ····· 87
アプリ情報 ····· 166
アプリ選択画面 ····· 54
アプリデータを自動的に同期する ····· 184
アプリと通知 ····· 165
アプリの権限 ····· 55
アラーム ····· 147
アラーム音 ····· 175
アラームの音量 ····· 175
暗証番号
　ネットワーク暗証番号 ····· 45
　PINコード ····· 45
　PINロック解除コード（PUKコード）···· 46
あんしんセキュリティ ····· 89
いたわり充電 ····· 38
位置情報 ····· 178
位置情報サービス ····· 143
　オンにする ····· 144
英語ガイダンス ····· 104
エリアメール ····· 117
遠隔サポート ····· 224
遠隔操作設定 ····· 104
応答拒否メッセージ ····· 99
おサイフケータイ ····· 138
　おサイフケータイ対応サービス ····· 140
　設定 ····· 139
　ロック ····· 140
おすすめアプリ ····· 79
音設定 ····· 174
おやすみ時間 ····· 149
音声検索 ····· 73
音量調節 ····· 175

か

海外設定 ····· 207
外観 ····· 165
片手モード ····· 73
壁紙
　docomo LIVE UX ····· 77

Xperiaホーム ····· 83
カメラ ····· 123
画像サイズ ····· 126
起動 ····· 123
撮影画面 ····· 124
撮影モード ····· 125
写真撮影 ····· 127
設定 ····· 129
動画撮影 ····· 128
ビデオサイズ ····· 126
ポートレートセルフィー ····· 134
画面設定 ····· 171
画面の自動回転 ····· 52
画面ロック ····· 180
解除 ····· 42
設定 ····· 179
カレンダー ····· 90
かんたんホーム ····· 84
キーアイコン ····· 51
機器接続 ····· 164
機内モード ····· 160
キャッチホン ····· 104
緊急省電力モード ····· 53
緊急速報「エリアメール」 ····· 117
緊急通報 ····· 96
近接／照度センサー ····· 30
クイック設定パネル ····· 66
クラウドメニュー ····· 107
言語と入力 ····· 189
検索 ····· 73
公共モード（電源OFF）設定 ····· 104
国際電話
滞在先でかける ····· 205
日本からかける ····· 97
国際ローミング ····· 201
故障かな？と思ったら ····· 210

さ

災害用キット ····· 90
サイドセンス ····· 48
サイドセンスメニュー ····· 49
設定 ····· 173
マルチウィンドウメニュー ····· 50
ジェスチャー ····· 190
システム ····· 188
自分のプロフィール
編集 ····· 108
指紋認証機能 ····· 181
登録 ····· 182
認証 ····· 182
写真撮影 ····· 127
充電 ····· 37
パソコンを使って ····· 40
ACアダプタを使って ····· 39
DCアダプタを使って ····· 39
仕様 ····· 225
省電力機能 ····· 170
初期設定 ····· 42
スグアプ ····· 69
スグ電
スグ電設定 ····· 70
スクリーンショット ····· 53
スクリーンレコード ····· 53
スケジュール
作成 ····· 146
表示 ····· 146
ステータスアイコン ····· 63
ステータスバー ····· 62
ストップウォッチ ····· 148

ストレージ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 176
内部ストレージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 194
microSDカード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
スプレッドシート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
スライド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
スリープモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
世界時計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 148
セキュリティ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 178
接続の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 164
設定メニュー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 152
ソフトウェアアップデート ・・・・・・・・・・・・・ 218
ソフトウェアキーボード ・・・・・・・・・・・・・・・・ 56

た

タイマー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 148
タスクマネージャ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
タッチスクリーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
スクロール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
スライド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
スワイプ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
タップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
ドラッグ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
ピンチ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
フリック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
ロングタッチ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
縦画面表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
単語リスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
地図アプリ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
着信音 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175
着信音の音量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175
着信拒否設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 103
着信通知 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 104
通知アイコン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
通知音 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175
通知音の音量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175
通知の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 168
通知パネル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
通知LED ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
通話音量
設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175
通話中 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
通話設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 103
通話履歴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102
電話帳に登録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
通話履歴画面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
データセーバー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 163
データ保管BOX ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
テキスト編集 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
テキスト読み上げの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 187
テザリング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 160
イーサネットテザリング ・・・・・・・・・・・・・・・・ 162
Bluetoothテザリング・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 162
USBテザリング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 161
Wi-Fiテザリング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 160
デバイス情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 193
電源を入れる／切る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
伝言メモ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102
転送でんわサービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 104
電卓・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
電池残量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
電話・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
アプリ起動中 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
受ける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
音声出力先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
かける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
スピーカー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
着信音量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
着信画面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98

着信拒否 …… 99
通話終了 …… 100
通話中画面 …… 100
伝言メモで応答 …… 98
保留 …… 100
ミュート …… 100
電話帳 …… 105
インポート …… 109
エクスポート …… 109
自分のプロフィール（編集） …… 108
新規登録 …… 106
全件データ送信（共有） …… 109
電話をかける …… 106
よく使う連絡先 …… 107
ラベル（グループ）設定 …… 108
連絡先を編集 …… 106
電話帳一覧画面 …… 105
動画撮影 …… 128
ドキュメント …… 90
トグル入力 …… 60
時計 …… 147
ドコモデータコピー …… 149
ドコモのサービス／クラウド …… 183
ドコモへのお問合せ …… 103
ドコモメール …… 110
ドコモ文字編集 …… 61
ドコモnanoUIMカード …… 31
取り扱い上のご注意 …… 20
ドライブ …… 91

な

ニュース …… 91
ネットワークサービス …… 104
ネットワークサービス（海外） …… 208
ネットワークとインターネット …… 153

は

バイブレーション
音設定 …… 174
マナーモード …… 52
発信者番号通知 …… 104
バッテリー …… 170
はなして翻訳 …… 91
番号通知お願いサービス …… 104
比吸収率（SAR） …… 229
非接触型決済 …… 141
日付と時刻 …… 190
ファイル …… 194
フォト …… 135
複数ユーザー …… 191
不在着信 …… 102
ブックマーク …… 121
プライバシー …… 177
フリック入力 …… 59
分割画面 …… 68
防水／防塵性能 …… 24
ホームアプリ
かんたんホーム …… 84
切り替え …… 74
docomo LIVE UX …… 74
Xperiaホーム …… 81
ホーム画面 …… 74
ウィジェット（Xperiaホーム） …… 82
壁紙（docomo LIVE UX） …… 77
壁紙（Xperiaホーム） …… 83
かんたんホーム …… 84
設定（docomo LIVE UX） …… 77
設定（Xperiaホーム） …… 83

フォルダ（Xperiaホーム）・・・・・・・・・・・・・ 82
docomo LIVE UX ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
Xperiaホーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
ホワイトバランス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 172

ま

マイマガジン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
マクドナルド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
マナーモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
マルチウィンドウスイッチ ・・・・・・・・・・・・・・ 68
ミュージック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 142
再生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 142
迷惑電話ストップサービス ・・・・・・・・・・・・・ 104
メディアの音量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175
メモ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
文字入力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
ツールアイコン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
入力方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
編集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
モバイル ネットワーク・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157

や

ユーザー補助 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 185
ユーザーやゲストが利用できる機能 ・・・・・・ 191
優先ネットワークの種類 ・・・・・・・・・・・・・・ 204
横画面表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52

ら

リセット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 191
留守番電話サービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 104
レンズ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
ローソン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
ロック画面の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 172

英数字・記号

ahamoプランをご契約のお客様向け・・・・・・A-1
Amazonショッピング・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
Android 12による変更点 ・・・・・・・・・・・・・・・ S-1
Bluetooth ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 196
機器名の変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 196
受信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 198
送信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 198
ペア設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 196
Chrome ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 119
シークレットタブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 119
設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 120
タブの追加 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 119
テキストの検索・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 120
ブックマーク ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 121
履歴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122
リンク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 121
dアカウント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
d払い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
dフォト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
dポイント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
dマーケット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 136
dメニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 136
dcard ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
Digital Wellbeingと保護者による使用制限
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 187
Disney DX ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
Duo・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
Facebook・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
Files・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
FMラジオ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
Gboard・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
Gmail ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
Google・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 188

Googleアカウント ····· 43
Google音声検索 ····· 73
Google検索 ····· 73
Googleマップ ····· 144
　経路検索 ····· 145
　現在地検出 ····· 144
　検索 ····· 145
　情報の表示 ····· 145
　ストリートビュー ····· 145
Google Pay ····· 93
Google TV ····· 93
GPS機能 ····· 143
　オンにする ····· 144
iDアプリ ····· 141
Imaging Edge ····· 93
Kindle ····· 93
LinkedIn ····· 93
microSDカード ····· 34
　フォーマット ····· 176
　マウント解除 ····· 176
my daiz ····· 93
my daiz NOW ····· 80
My docomo ····· 93
NFC ····· 138
PINコード ····· 45
PINロック解除コード（PUKコード） ····· 46
Playストア ····· 137
　アンインストール ····· 137
　インストール ····· 137
PS App ····· 93
QWERTY ····· 57
Reader by Sony ····· 93
SIMカードロック設定 ····· 46
SIMロック解除 ····· 245
SMS ····· 114
Specific Absorption Rate (SAR) ····· 231
STAMINAモード ····· 170
TikTok ····· 93
USBストレージ ····· 176
USB接続 ····· 199
Video & TV SideView ····· 93
VPN ····· 163
Wi-Fi ····· 153
Wi-Fi Direct ····· 156
WORLD CALL ····· 97
WORLD WING ····· 201
Xperiaアシスト ····· 185
Xperiaガイド ····· 94
Xperiaカバー ····· 94
Xperia Lounge Japan ····· 94
YouTube ····· 94
YT Music ····· 94
12キー ····· 57
4G回線による通話 ····· 204
＋メッセージ ····· 110
　公式アカウント ····· 116
　受信 ····· 114
　スレッドの削除 ····· 115
　設定 ····· 115
　送信 ····· 112
　転送 ····· 114
　メッセージの削除 ····· 115

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から　dメニュー▶［My docomo］
パソコンから　My docomo（https://www.docomo.ne.jp/mydocomo/）
※ システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
※「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「d アカウントの ID ／パスワード」が必要です。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

【マナーモード】（P.52）
着信音や操作音など、本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

【公共モード（電源OFF）】（P.104）
電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

【バイブレーション】（P.174）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

【伝言メモ】（P.102）
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

その他にも、留守番電話サービス（P.104）、転送でんわサービス（P.104）などのオプションサービスが利用できます。



ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151　（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ・
修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113　（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

●オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。

ドコモのホームページ https://www.docomo.ne.jp/

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示　-81-3-6832-6600（無料）

（「+」は「0」をロングタッチします。）

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

受付時間　24時間（年中無休）

一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号　-81-3-6832-6600（有料）

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

ahamoプランをご契約のお客様

■故障等のお問い合わせ
ahamoのホームページ
https://ahamo.com/

危険です、歩きスマホ。

キケン！水ぬれ充電

あぶない！電池への衝撃

Li-ion 00

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　ソニー株式会社
’22.6（3版）F-012-100-13（1）

SONY